

会長のページ 医療事故調査制度のその後	河野 雅行	3
日州医談 健康サポート薬局について	吉田 建世	4
医療機関に退蔵されている 水銀血圧計等の回収事業について	立元 祐保	6
エコー・リレー(495)	福留 理恵, 中原 浩	8
メディアの目 リオから東京へ! 県内アスリートへの期待	馬登 貴	15
国立病院だより(国民健康保険高原病院)	莫根 隆一	20
宮崎大学医学部だより(宮崎大学医学部附属病院手術部)	白阪 哲朗	22
部会だより(学校医部会)	高村 一志	23
ニューメンバー	染矢 晋佑, 山田 達夫	45
診療メモ 正しい歯磨きについて	錦井 英資	72
会員投稿 高額薬剤についての考察	大西 雄二	74

表彰・祝賀	10
宮崎県感染症発生動向	12
あなたできますか?(平成27年度医師国家試験問題より)	14
各都市医師会だより(南那珂医師会, 西諸医師会)	16
各種委員会(医学会誌編集委員会)	24
九州医師会連合会第358回常任委員会	25
第1回各都市医師会長協議会	26
全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会 第66回定例総会・平成28年度第1回運営委員会	28
平成28年度「宮崎内視鏡外科アニマルラボセミナーin佐土原」開催報告	30
日医インターネットニュースから	34
薬事情報センターだより(354) 基礎的医薬品	36
理事会日誌	38
ベストセラー	43
県医の動き	44
会員の異動・変更報告	46
ドクターバンク情報	47
行事予定	53
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	55
宮大医学部学生のページ	76
あ と が き	80

~~~~~

|                              |    |
|------------------------------|----|
| お知らせ 医療事故調査制度 相談窓口 .....     | 7  |
| 「新春随想」原稿募集 .....             | 9  |
| 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ .....    | 24 |
| 宮崎県医師会メーリングリストのご案内 .....     | 27 |
| 宮崎県医師会医療情報コーナー .....         | 29 |
| 宮崎県医療勤務環境改善支援センター .....      | 37 |
| 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています ..... | 51 |
| 郡市医師会への送付文書 .....            | 78 |

## 医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年 3月12日制定)

〔表紙作品：油絵〕

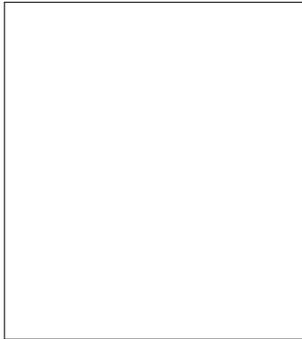
### 今年の柿

庭の片隅に、小さな柿の木があります。  
毎年、秋の到来を教えてくれますが、甘く熟する頃には、ほとんどカラスに食べられてしまいます。  
わずかに残った柿を家族で楽しみます。  
収穫できた貴重な柿に感謝。

宮崎市 おし かわ ちかこ  
押 川 千賀子

## 会長のページ

## 医療事故調査制度のその後

かわ の まさ ゆき  
河 野 雅 行

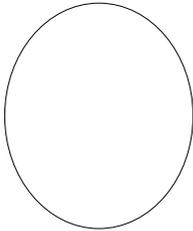
医療事故調査制度が始まって1年が過ぎました。様々な見直しが問われている中で宮崎県では如何だったでしょうか。制度開始までに県医師会では濱田副会長を中心に様々な場面を想定して準備しました。宮崎東病院の比嘉先生に委員長を、県内各地の病院長・副院長の先生方に副委員長を、各地区医師会・分科医会・諸団体からの推薦者に委員就任を依頼し、打合せ会や研修会等に参加して準備万端で臨みました。制度開始後3か月は殆ど症例もなく、拍子抜けしつつも安堵していたものの、年が新まった途端に次々に報告事例が発生しました。全国的な統計によると8月までに356件で、予測された年間1,000件程度よりも大幅に少ない報告数です。一方、全国の1%の10件程度と見込まれていた宮崎県では8月までに既に10件対処し、現在でも数件相談中です。予測よりも多発しており、準備した支援委員数では対応が厳しくなってきました。これは宮崎県民の真面目な性格から、制度を正しく理解して・実施している証ではないかと自画自賛的な解釈をしております。全国の報告例数が少ない理由の一因として、予期せぬ死亡事故の原因究明を目的とした医療事故調査制度の「医療事故」の文言が、医療側に落ち度があったかの様な印象を与えるので報告されない例があるのではないとも言われています。去る3月の日医代議員会では、宮崎県医師会から濱田副会長が名称変更についての質問と提言を行いました。他県では予想よりも少ない報告件数から業を煮やした市民団体が窓口を設けて、遺族からの相談に応じる動きも出ているようです。この「医療事故調査制度」は医療界自体の自浄作用とも見做されており、確実な運用が求められています。しかし本当に発生例数が少ないのかも知れません。左様であれば大いに結構なことです。

実際の調査は誠に労多い作業です。事例が報告されれば、登録者の中から数名の担当を選定・チームを編成し、直ちに初動調査に入ります。現場に出向き直接担当者から説明を受けたり、カルテや諸検査結果・解剖所見等を精査したりと煩雑な作業が求められます。委員会を開催し、最後に報告書をまとめることとなります。注意すべきは、この報告書はその時々的情勢により様々な使われ方がされ、多くの人の眼に触れることもあり得ますので、どの方面から見ても公正な検証と、誤解を招く恐れのない文言での文書作成が求められています。誠に労多い作業であり、お忙しい自分の仕事以外にご協力いただいている委員の先生方のご苦勞に感謝申し上げます。

しかし、当初の理念通りに医療現場での特定できない死亡事故について医学的な検証を真摯に行うことは、地域医療・医学発展のためには重要なことです。この制度が理念通りに機能することを願っております。

(平成28年10月24日)

## 日州医談



## 健康サポート薬局について

常任理事 吉 田 建 世

最近の国の医療施策の中には、医療現場において、混乱を招く、課題の多いものが多々見受けられる。その中に、平成26、27年度事業としての「薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点の推進事業」がある。前期の日本医師会の公衆衛生委員会でも問題点が挙げられた。羽鳥日医常任理事の尽力で日本薬剤師会との協議も持たれ、新しく『健康サポート薬局』との名称となり、平成28年4月より制度が開始されることになり、この10月から『健康サポート薬局』の届け出が始まった。

その経過などを述べると、まず、国は経済再生を我が国最大の課題とし、「日本再興戦略」においてそのための様々な施策を取りまとめた。その一つとして、健康長寿社会の実現に向けた方策を打ち出し、その中で予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくりとして、「薬局を地域に密着した健康情報の拠点として、一般用医薬品等の適正な使用に関する助言や健康に関する相談、情報提供等を行う等、セルフメディケーションの推進のために薬局・薬剤師の活用を促進する」ことが明記された。

従来、地域住民の健康の保持増進に関しては、地域の三師会が様々な関係事業団体と協力しながら、地域の健康推進に資する協議会を設置するなどして取り組んできた経緯がある。それにもかかわらず、「グローバル市場の成長が期待」でき、「一定の戦略分野が見込めるテーマ」として、「国民の健康寿命の延伸」が掲げら

れ、それを基にして経済原理を中心とした様々な規制改革が行われ始めたのである。

この取組みの一つに、利用者が自ら採取した血液について、薬局等の事業者が検査を行う事業、いわゆる『検体測定事業』がある。当該事業は、自己健康管理の一助とされているが、地域医療に携わる医師の視点で考えた場合、いくつかの問題点が浮かび上がっている。すなわち、セルフメディケーションの一環として、自己採血し、その結果を返した後に、健康に関する相談・情報提供を薬局がすることは問題が多い。本来、検査データにより診断、治療、健康指導を行うのは、医師の職責である。また、当初よりショックや感染の問題、感染性の産業廃棄物の問題、測定用機械器具の不備など、その安全性等について問題視する意見は多い。さらに、検査結果を活用し、一般市販薬や健康食品の販売につなげていく経済原理的な狙いがみられる点も問題である。

日本医師会は当該事業の開始当初より、厚生労働省に対しこうした懸念を払拭すべく早急に対策を講じるよう働きかけてきた。その結果、平成26年4月に厚生労働省医政局により、「検体測定室に関するガイドライン」が作成されるに至った。ただし、ガイドラインの遵守のポイントとして、1つ目は、検査精度管理が重要であり、年に1回以上外部精度管理調査に参加することとされているが、現実的にまだこれらに対応する精度管理調査がない。2つ目のポイン

トは、検査の穿刺器具についてであるが、穿刺器具は薬事法に基づき承認されたものを使用し、穿刺器具販売には管理医療機器販売届を都道府県に出す必要がある。3つ目のポイントは、研修の必要性であるが、なかなか実施されていない。検体検査室の届け出が増えている一方で、ガイドラインを遵守していない例も散見され、現場でガイドラインが守られるかどうかの担保が全くないことも問題である。

事業そのものに対してだけでなく、ガイドラインの遵守とその管理体制に対する懸念が尽きない中で、日本医師会は日本薬剤師会との間でこの問題に対する協議を行い、その結果、日本薬剤師会は、地域医師会や地域の医師の指導の下に協力して実施していくことで合意に至った。

また、このような問題を考える上で大切なのは、一概に「薬局」と言っても、「かかりつけ薬剤師」を持つ薬局のように医師会事業と密接な関係で行われる事業と、産業としてのドラッグチェーンのような薬局が行う事業を分けて考える必要がある。すなわち、地域の中で医師会員と地元の薬局が情報共有のための仕組みを作っていくのとは別に、ドラッグチェーンやスーパーの薬局が、薬剤師会の考えとは違う方向で進んでいく危険性がある。ドラッグチェーンのような薬局が単独で事業を行う場合、健康情報が産業データとして扱われ、健康食品、機能性食品やサプリメント、健康検査キットなどを販売するために利用され、さらにはそれがデータ商品として他に分散化されていく可能性がある。結果として、医療機関に繋がれることなくそうしたデータが利用され、保健・医療・介護の連続性は失われてしまい、医療が必要な人が適切な受診につながらない、医療へのアクセスの障害の要因となる危険性があり、総合的な地

域の健康の保持増進の妨げとなる危険性も有している。

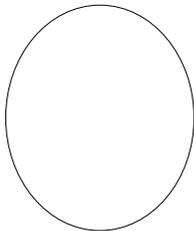
このような危険性を払拭するためにも、地域の中で「かかりつけ薬剤師」を持つ薬局が、医療機関などと情報を共有し連携していくことは、地域住民にとって有益なことであり、また地域包括ケアを進めるためにも重要なことと思われる。なぜなら、認知症やメンタルヘルス等の健康相談を薬局単独で行うのはとても困難であり、保健、医療、介護等関連職種が連携し、連続的、総合的にかかわる必要があるからである。

その様な経過で、平成27年9月に厚生労働省より「健康サポート薬局のあり方について」の報告書が出され、

1. かかりつけ薬剤師・薬局の基本機能について
  - ①服薬情報の一元的把握とそれに基づく薬学的管理指導
  - ②24時間対応、在宅対応
  - ③かかりつけ医をはじめとした医療機関等との連携強化
2. 健康サポート体制について
  - ①地域における連携体制の強化
  - ②薬剤師の資質確保
  - ③薬局の設備、表示
  - ④要指導医薬品等の取り扱い
  - ⑤健康相談・健康サポート等について提言がなされた。

最後に、医師会として、薬局がこれから『健康サポート薬局』事業を単独で行っていくのではなく、医師会ならびに保健所などの関係機関と協力・連携を行い、その地域の実情に合った連携のルール作りをしていくことによって、地域住民の健康増進を図られることを期待したいものである。

## 日州医談



## 医療機関に退蔵されている水銀血圧計等の回収事業について

常任理事 立元祐保

### はじめに

水銀に関する水俣条約は2020年に発効予定である、発効後は水銀製品の輸出入や水銀血圧計等の製造が原則禁止される。一方、医療機関には使用されなくなった水銀血圧計等(水銀体温計、水銀血圧計、充填用の水銀など)が廃棄されずに退蔵されている。医療機関の退蔵水銀は産業廃棄物であり、開設者には廃棄物処理法によって排出事業者責任が課せられる。排出事業者はその廃棄物を自らの責任において処理せねばならず、これを業者に委託する場合はその回収・運搬から最終処分まで適正に行われたことを確認する責任がある。

2020年以降はこれらの退蔵水銀の処理は益々難しくなるものと思われる。これらの問題については本誌平成28年2月号「日州医談」に詳しく述べているのでご参照いただきたい。現在、国内の水銀リサイクル処理企業は北海道のN興産のみである。本県からN興産まで適切に運ぶには4つの業者を経由しなければならない。このために処理費用も高額になることが予想されるが、九州各県医師会が足並みをそろえて回収事業を行うことで費用を抑えられる。

県医師会では郡市医師会と協議を重ね、協力しながらこれらの水銀の回収事業を行うことになった。業者が回収する時期は来年2月頃の予定だが、この機会を逃すと次はいつ回収できるか不明である。時機をみて再度行いたいと考えているが、九州各県との足並みがそろえるか？そ

の際、N興産や収集運搬業者が対応してくれるか？など不確定要素もあり、費用が高くなることが懸念される。できればこの機会に廃棄されることをお勧めしたい。

### 郡市医師会の役割

郡市医師会は、排出責任者でも取扱業者でもない。大変面倒な作業ではあるが、会員福祉のために契約の代行と一時保管をお願いすることになる。去る10月13日の郡市医師会との協議会には最初の運搬事業者であるT社の担当者出席のもと環境省のマニュアルに沿った回収事業の説明を行った。その席上、郡市医師会の役割として以下のことが確認された。すなわち、契約書やマニフェストの確認・受け渡し、保管場所の提供、廃棄物の量の確認、廃棄物が安全な形で持ち込まれていることの確認、集まった血圧計などの梱包作業等である。

このうち、契約書については最終処分業者を含め5社が介在するので5通必要となる。郡市医師会では、これらの書類に不備がないか確認し、それぞれ5社へ送り押印の上返却されてから廃棄物の持ち込みが始まる。

### 回収にあたっての注意

廃棄する水銀血圧計等は、医療機関が直接当該郡市医師会に持ち込まなければならない。体温計は破損していない物はそのまま、血圧計は箱型の物は箱のまま、スタンド型の物はキャスターを取り除いて持ち込む。また破損して水銀が漏れている場合の水銀は容器に入れて持っ

てくる。この際の容器であるがペットボトルやアルミ缶などは不可、蓋のできるガラス瓶(ドレッシングの瓶や栄養ドリンクの瓶)は可である。よくある事例として、箱型の血圧計を開けたら中に体温計が入っていたということもあるそうだが申告の内容と違えば受け付けられないので、必ず中も確認していただきたい。漏れ出た水銀は搬送途中でこぼれたり、ガス化して途中の業者の健康を害さないように注意が必要である。破損した体温計とこぼれた水銀を一つの瓶に入れて持ち込むのが良い。また郡市医師会の保管場で水銀の詰め替えを行うことは出来ない。医療機関から密閉した状態で持ち込まなければならない。

## 終わりに

郡市医師会における作業と業者の回収開始までの流れは以下のとおりである。

【11月中】①医療機関への回収事業参加意向調査

【12月中】②5社との契約締結及び

③参加医療機関へ持ち込みに関する留意事項案内

【1月中】④医療機関から郡市医師会に持ち込み

【2月中】⑤収集運搬業者回収

11月から意向調査のアンケートが始まるので、早めに退蔵水銀の量を確認していただき、この事業がスムーズに進むようご協力いただきたい。なお、水俣条約発効後も使用中の水銀血圧計等を引き続き使用することは問題ない。

## 医療事故調査制度

### 宮崎県医師会 相談窓口

宮崎県医師会は支援団体として、県内の医療機関をサポートいたします。

医療事故の判断に迷った時、また、医療事故と判断した時は、宮崎県医師会までご連絡ください。

**宮崎県医師会 電話 0985-22-5118**

#### 【受付時間】

平日の8時30分から18時、土曜日8時30分から12時30分の時間帯は、県医師会事務局の代表電話(0985-22-5118)で対応いたします。

時間外または日曜祝祭日等県医師会が対応できない場合は、国が指定した東京の医療事故調査・支援センター相談専門電話(03-3434-1110)にご連絡ください。

#### 【その他】

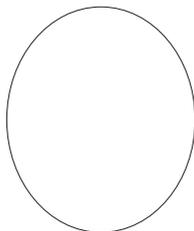
この制度は、医療事故の再発防止により医療の安全を確保することを目的にした制度です。対象事案を報告するか否かについては、医療機関の管理者が組織として判断することになっており、ご遺族から医療事故調査・支援センターに直接報告や調査依頼をする仕組みではありません。

# エコー・リレー

(495回)

(南から北へ北から南へ)

## 年賀状

宮崎市 ふくどめクリニック <sup>ふく</sup>福 <sup>どめ</sup>留 <sup>り</sup>理 <sup>え</sup>恵

11月になるとそろそろ年賀状のことが気になり始める。まず、自分で作るか、業者に頼むか。宛名は？パソコンの調子は大丈夫か？何枚準備すればいいか等々である。毎年のことながら微妙な枚数で悩む。昨年は余ったから、今年はやや少な目で、または昨年は足りずにたくさん追加したから、今年は多めに等。結局毎年同じぐらい購入し、足りないことが多いような気がする。

毎年、気がかりな相手が2名いる。

一人は中学の頃の担任の先生だ。もう約30年間年賀状のやりとりをしている。今年の正月は立派な筆跡の年賀状が届いたが、いったい何歳になられているのだろう。年賀状が無事届くとホッとする。

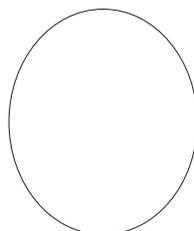
もう一人は臨床実習で初めて受け持った患者さんだ。その方は当時60代前半だった。元看護師だったこともあり、学生の私を温かく見守ってくれていた。それから毎年年賀状のやりとりをおこなっている。国家試験に合格した時、研修医になった時、とつても喜んでくださった。もう20年も会っていない。本当に年賀状だけのやりとりである。一度だけ年賀状が届かない年があった。おひとり暮らしだったので高齢でもあると、心配になり、一度だけ電話をしてみた。その年は年賀状を書くのがおっくうだったらしい。翌年からは印刷の年賀状に一言添えた形になっていた。

今度の正月はお二人から届くだろうか。一年に一回年賀状だけのやりとりの方がたくさんいらっしゃるが、52円でつながっていられる年賀状は本当に素晴らしい文化だと思う。

今年は年賀状ではなく、喪中はがきとなった。しかし、ひとりひとり出すときの気持ちは同じである。

[次回は、延岡市の西 桂子先生にお願いします]

## ポリクリ

宮崎市 プレストピア宮崎病院 <sup>なか</sup>中 <sup>はら</sup>原 <sup>ひろし</sup>浩

宮崎大学医学部5年生のポリクリに通って15年目になる。学生さん達の雰囲気は徐々に変わっているが、概ね、皆真面目である。

例えば、自分の学生時代はそうでもなかった。先輩格のTさんは「ちょっと実家に帰ってくるけん」といって、某科のポリクリを週末の前後2日欠席するも、お咎めなし。更に先輩格のNさんも、「まだ婚前旅行に行っていないから(当たり前である)行ってくるわ」といって、同様に欠席するも、お咎めなし。

これらは先輩から情報を得て、計画的に行われた犯行だったのかもしれない。当時は、ポリクリ→卒試→国試→入局という流れで、ポリクリは入局勧誘期間でもあり、「学生様は神様です(入局するまでは)」的な雰囲気も多少あった様に思う。

自分には縁の無い事と思っていたが、一度だけ、同様の機会が巡ってきた。当時流行っていたF1グランプリである。O君とN君が、愛車カローラ・バンに目をつけたのである。

F1の記憶は鮮明である。サーキットの数キロ手前から、車群の轟音が響いてくる。会場では、大きなマネキン人形が動き出したかと思うと、南米のモデルさんで驚いた。予選が終わると、計画的に最後尾で会場を後にし、出た瞬間から決勝にむけて座り込みが始まる。バンの後方で休みながら交互に一晩座り込み、人気の第1コーナーで楽しく観戦できた。

ポリクリに戻ってくると、どういう訳か、2日分のレポートを提出させられた。情報の重要性を再認識させられた旅でもあった。

[次回は、宮崎市の中田 博先生にお願いします]

## 「新春随想」原稿募集

平成29年1, 2月号に恒例になりました「新春随想」欄を企画いたしております。  
この欄は大変好評ですので、奮ってご投稿をお願いいたします。

**題 材** 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句等なんでも結構です。  
本文に関連した写真・イラスト等(1枚程度, カラー印刷はできません)  
も掲載できます。

**字 数** 800字以内(字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがあります)  
ますのでご了承ください)

**締 切** 平成28年12月10日(土)

**宛 先** 宮崎県医師会広報委員会

- ◎ 原稿には「新春随想」と明記してください。
- ◎ 掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載はおひとり、1編とさせていただきます。
- ◎ ご投稿の原稿が他紙に掲載、または投稿中の場合はその旨お知らせください。
- ◎ 原則として、原稿はお返しいたしません。返却を希望される方はその旨ご指示ください。
- ◎ 日州医事は、会員以外(マスコミ・行政・図書館等)にも配付しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し、日州医事原稿専用アドレス(genko@miyazaki.med.or.jp)宛にお送りください。もちろん、それ以外の方法(FAX, 郵便等)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は、他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」  
である旨とタイトル、ご氏名を明記の上お送りください。

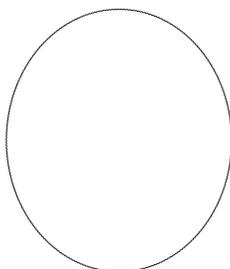
表彰・祝賀

救急医療功勞により厚生労働大臣表彰

あい ざわ きよし  
相 澤 潔 先生(西 都)

平成28年9月9日、救急医療功勞により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



相澤 先生

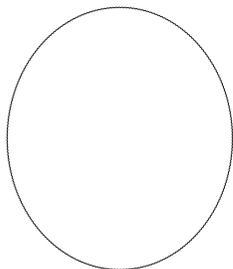
救急医療功勞により県知事表彰

はま すな しげ ひと  
濱 砂 重 仁 先生(宮 崎)

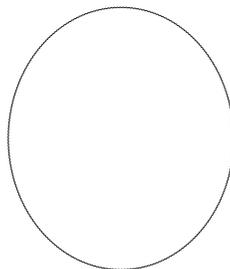
たか み ひろ あき  
高 見 博 昭 先生(延 岡)

いまきいれ さとる  
今給黎 承 先生(日 向)

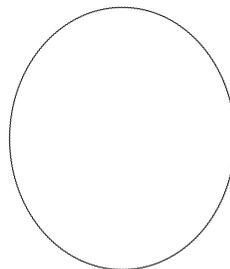
平成28年9月5日、救急医療功勞により県知事表彰をお受けになりました。  
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



濱砂 先生



高見 先生



今給黎 先生

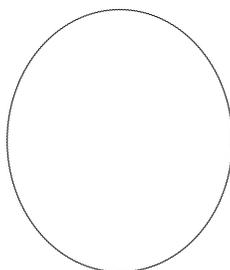
## 表彰・祝賀

## 産科医療功労により厚生労働大臣表彰

いの うえ ひろし  
井 上 博 先生(延 岡)

平成28年9月9日、産科医療功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



井上 先生



## 宮崎県感染症発生動向 ～ 9 月 ～

平成28年 8 月 29 日～平成28年10月2日(第35週～第39週)

### ■全数報告の感染症

- 1 類：報告なし。
- 2 類：○結核22例：保健所別報告数を【図1】に示した。患者が14例、無症状病原体保有者が7例、疑似症が1例であった【表1】。患者は肺結核が10例、肺結核及びその他の結核(粟粒結核)が1例、その他の結核(結核性胸膜炎、皮膚結核、骨髄炎)が3例であった。性別は男性8例・女性14例で、年齢別報告数を【表2】に示した。
- 3 類：腸管出血性大腸菌感染症2例：都城、日向(各1例)保健所管内で報告があった。無症状病原体保有者が2例で、年齢別では20歳代、40歳代が各1例ずつであった。原因菌のO血清型はO157(VT2産生)、O91(VT1産生)が各1例ずつであった。
- 4 類：重症熱性血小板減少症候群(SFTS)1例：宮崎市保健所管内から報告があった。70歳代で、主な症状として発熱、下痢、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少がみられ、ダニの刺し口は不明、海外渡航歴はなかった。
- デング熱1例：日向保健所管内で報告があった。30歳代で、病型はデング熱であった。主な症状として2日以上続く発熱、頭痛、血小板減少、白血球減少がみられた。海外渡航歴があった。
  - 日本紅斑熱1例：宮崎市保健所管内で報告があった。80歳代で、主な症状として発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常がみられた。
- 5 類：○アメーバ赤痢1例：宮崎市保健所管内から報告があった。50歳代男性で、病型は腸管アメーバ症であった。主な症状として大腸粘膜異常所見、便潜血陽性がみられた。
- ウイルス性肝炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。50歳代男性でB型であった。主な症状として全身倦怠感、肝機能異常、黄疸がみられた。
  - カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：都城保健所管内から報告があった。90歳代で、主な症状として肺炎がみられた。原因菌は肺炎桿菌(ESBL産生菌)であった。
  - 急性脳炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。80歳代で病原体は単純ヘルペスウイルスであった。主な症状として発熱、頭痛、嘔吐、項部硬直、意識障害、髄液細胞数の増加がみられた。
  - 後天性免疫不全症候群1例：中央保健所管内から報告があった。20歳代男性で無症候性キャリアであった。
  - 水痘(入院例)1例：宮崎市保健所管内から報告があった。0～4歳で、主な症状として発疹がみられた。水痘ワクチンの接種歴はなかった。
  - 梅毒2例：宮崎市保健所管内から報告があった。
    - ・0～4歳男児で、病型が先天梅毒であった。主な症状はなかった。
    - ・40歳代男性で、病型が早期顕彰梅毒(I期)であった。主な症状は初期硬結、硬性下疳であった。

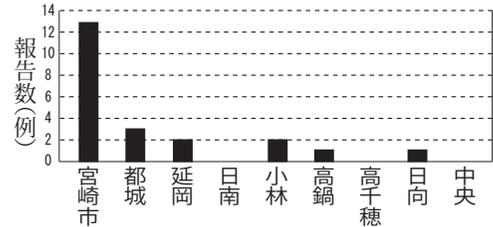


図1 結核 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 肺結核                     | 10 |
| 肺結核及びその他の結核(粟粒結核)       | 1  |
| その他の結核(結核性胸膜炎、皮膚結核、骨髄炎) | 3  |
| 無症状病原体保有者               | 7  |
| 疑似症患者                   | 1  |

表2 結核 年齢別報告

| 年 齢  | 報告数(人) |
|------|--------|
| 0～4歳 | 1      |
| 10歳代 | 1      |
| 40歳代 | 2      |
| 50歳代 | 2      |
| 60歳代 | 4      |
| 70歳代 | 2      |
| 80歳代 | 6      |
| 90歳代 | 4      |

前月との比較

|                | 2016年9月 |          | 2016年8月 |          | 例年との比較 |
|----------------|---------|----------|---------|----------|--------|
|                | 報告数(人)  | 定点当たり(人) | 報告数(人)  | 定点当たり(人) |        |
| インフルエンザ        | 4       | 0.1      | 0       | 0.0      |        |
| RSウイルス感染症      | 426     | 11.8     | 167     | 4.6      |        |
| 咽頭結膜熱          | 102     | 2.8      | 67      | 1.9      |        |
| ※溶レン菌咽頭炎       | 184     | 5.1      | 185     | 5.1      |        |
| 感染性胃腸炎         | 1,023   | 28.4     | 803     | 22.3     |        |
| 水痘             | 69      | 1.9      | 69      | 1.9      |        |
| 手足口病           | 363     | 10.1     | 168     | 4.7      |        |
| 伝染性紅斑          | 160     | 4.4      | 141     | 3.9      | ★      |
| 突発性発しん         | 175     | 4.9      | 120     | 3.3      |        |
| 百日咳            | 3       | 0.1      | 2       | 0.1      |        |
| ヘルパンギーナ        | 191     | 5.3      | 298     | 8.3      |        |
| 流行性耳下腺炎        | 305     | 8.5      | 319     | 8.9      | ★      |
| 急性出血性結膜炎       | 0       | 0.0      | 0       | 0.0      |        |
| 流行性角結膜炎        | 107     | 17.8     | 46      | 7.7      |        |
| 細菌性髄膜炎         | 0       | 0.0      | 0       | 0.0      |        |
| 無菌性髄膜炎         | 2       | 0.3      | 0       | 0.0      |        |
| マイコプラズマ肺炎      | 46      | 6.6      | 25      | 3.6      | ★      |
| クラミジア肺炎        | 0       | 0.0      | 0       | 0.0      |        |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | 0       | 0.0      | 0       | 0.0      |        |

★ 例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い  
 ※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

### ■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は3,160人(定点あたり108.1)で、

前月比142%と増加した。また、例年の104%とほぼ横ばいであった。

前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病で、減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は、伝染性紅斑、流行性耳下腺炎、マイコプラズマ肺炎であった。

伝染性紅斑の報告数は160人(4.4)で前月の約1.1倍、例年の約5.6倍であった。日向(12.3)、小林(7.0)、延岡(5.3)保健所からの報告が多く、年齢別では3～5歳が全体の約6割を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は305人(8.5)で前月の約1.0倍、例年の約4.7倍であった。高千穂(34.0)、日向(17.5)、小林(15.7)保健所からの報告が多く、年齢別では4～5歳が全体の約4割を占めた。

マイコプラズマ肺炎の報告数は46人(6.6)で前月の約1.8倍、例年の約35倍であった。宮崎市(16.0)、延岡(14.0)、日向(9.0)保健所からの報告が多く、年齢別では9歳以下が全体の約7割を占めた。

### ■月報告対象疾患の発生動向

〈2016年9月〉

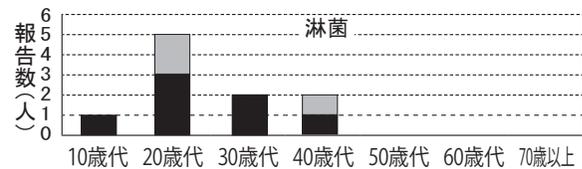
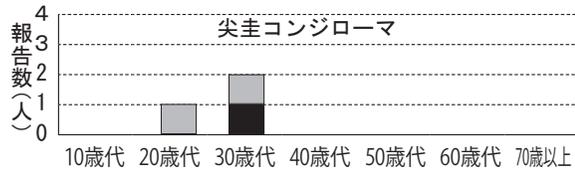
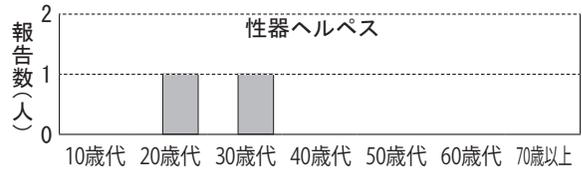
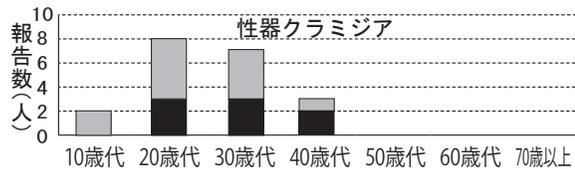
#### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は35人(2.7)で、前月比106%と増加した。また、昨年9月(1.5)の約1.8倍であった。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数20人(1.5)で、前月(1.6)の1.0倍、昨年9月(0.7)の約2.2倍であった。20歳代が全体の4割を占めた(男性8人・女性12人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数2(0.15)で、前月(0.15)の1.0倍、昨年9月(0.31)の約0.5倍であった(女性2人)。
- 尖圭コンジローマ：報告数3人(0.23)で、前月及び昨年9月(0.08)の約3.0倍であった(男性1人、女性2人)。
- 淋菌感染症：報告数10人(0.77)で、前月(0.69)の約1.1倍、昨年9月(0.38)の約2.0倍であった(男性7人、女性3人)。



■男 ■女

#### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は12人(1.7)で前月比92%と減少した。また、昨年9月(2.7)の約0.6倍であった。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数12人(1.7)で、前月の約1.1倍、昨年9月(2.7)の約0.6倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

### ■病原体検出情報(微生物部)

|    | 検出病原体                                   | 件  |
|----|-----------------------------------------|----|
| ウ  | エコーウイルス6型                               | 1  |
|    | エコーウイルス18型                              | 1  |
|    | エコーウイルス25型                              | 1  |
|    | コクサッキーウイルスA 16型                         | 3  |
| イ  | コクサッキーウイルスB 5型                          | 3  |
|    | デングウイルス3型                               | 1  |
|    | パラインフルエンザウイルス1型                         | 2  |
| ル  | パラインフルエンザウイルス3型                         | 9  |
|    | パレコウイルス1型                               | 1  |
|    | パレコウイルス3型                               | 3  |
|    | ムンプスウイルス                                | 1  |
| ス  | ライノウイルス                                 | 6  |
|    | RSウイルス                                  | 1  |
|    | <i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)      | 14 |
| 細菌 | <i>Salmonella</i> Albany(08:z4,z24:-)   | 1  |
|    | <i>Salmonella</i> Enteritidis(09:g,m:-) | 1  |
|    | <i>Salmonella</i> Typhimurium(04:i:-)   | 1  |
|    | EAggEC(0111:H21)                        | 1  |



## あなたできますか？

—平成27年度 医師国家試験問題より—

(解答は43ページ)

1 非結核性肺抗酸菌症では頻度が低く、肺結核症で頻度が高い所見はどれか。

- a 血 痰
- b CRP上昇
- c 空洞性肺結節
- d 喀痰塗抹Ziehl-Neelsen染色陽性
- e 全血インターフェロノン $\gamma$ 遊離測定法(IGRA)陽性

2 乳児における高張性脱水の特徴はどれか。

- a 口腔粘膜湿潤
- b 大泉門膨隆
- c 腱反射減弱
- d 徐 脈
- e 興 奮

3 21歳の男性。左眼瞼の腫れと痛みとを主訴に救急外来を受診した。野球の試合中、打球が左眼部に直撃したという。左の眼瞼の腫脹と皮下出血とを認める。眼球結膜下出血を認める。眼窩部CTで左眼窩底骨折と同部への眼窩脂肪組織の嵌頓とを認めるが眼球像には異常を認めない。

この患者にみられる視機能異常はどれか。

- a 変 視
- b 複 視
- c 半 盲
- d 不同視
- e 中心暗点

4 異常がなければ高い確率で肺血栓塞栓症を否定できる検査はどれか。2つ選べ。

- a 心電図
- b 血清LD値
- c 血中Dダイマー
- d 胸部エックス線撮影
- e 肺泡気-動脈血酸素分圧較差(A-aDO<sub>2</sub>)

5 頸髄損傷によって第6頸髄レベル以下の機能が完全に障害されている患者のリハビリテーションで正しいのはどれか。

- a 自己導尿の方法を指導する。
- b ズボンの脱衣動作法を指導する。
- c 長下肢装具を用いて歩行訓練を行う。
- d 食事動作のための自助具の使用訓練を行う。
- e プッシュアップによる車椅子移乗訓練を行う。

6 せん妄の症状でないのはどれか。

- a 幻 覚
- b 興 奮
- c 錯 覚
- d 知能低下
- e 意識障害

7 血液培養の検体採取方法で適切なのはどれか。

- a 動脈採血を第一選択とする。
- b 複数部位より採取する。
- c 血液量はなるべく少量とする。
- d ボトルに分注する前に針を交換する。
- e 好気用ボトルに先に分注する。

8 腎盂腎炎から全身性炎症反応症候群(SIRS)となった成人患者に補液と抗菌薬投与を開始した。治療開始から2日後の白血球数は6,600であった。

この時点のバイタルサインでSIRSから脱出できたと判断できるのはどれか。

|   | 体温<br>(°C) | 脈拍<br>(/分) | 血圧<br>(mm Hg) | 呼吸数<br>(/分) |
|---|------------|------------|---------------|-------------|
| a | 35.0       | 72         | 94/66         | 28          |
| b | 37.0       | 112        | 94/66         | 28          |
| c | 37.0       | 112        | 120/72        | 14          |
| d | 39.0       | 72         | 120/72        | 28          |
| e | 39.0       | 112        | 94/66         | 14          |

9 光線過敏がみられるのはどれか。2つ選べ。

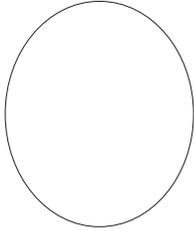
- a ペラグラ
- b 扁平苔癬
- c Darier病
- d Gibertばら色秕糠疹
- e 全身性エリテマトーデス(SLE)

10 32歳の女性。1回経産婦。妊娠中の血糖管理のため紹介されて来院した。自宅近くの産婦人科医院で妊娠の管理中であったが、妊娠26週に測定された血糖が172mg/dLであり、75g経口ブドウ糖負荷試験を施行され妊娠糖尿病と診断された。既往歴に特記すべきことはない。家族歴は母が2型糖尿病で治療中である。妊娠前から飲酒歴と喫煙歴はない。身長160cm、体重71kg(非妊時68kg)。身体所見に異常を認めない。腹部超音波検査で胎児に異常を認めない。初診時、HbA1c6.9%(基準4.6~6.2)。この患者に対して1,700Kcalの食事療法と無理のない程度で体を動かすことを指導して血糖の推移をみた。2週後の来院時で空腹時血糖118mg/dL、食後2時間血糖186mg/dLであった。

この患者に対する最も適切な対応はどれか。

- a インスリン注射を考慮する。
- b DPP-4阻害薬投与を考慮する。
- c ビグアナイド薬投与を考慮する。
- d 毎日の運動量を400Kcal増やす。
- e 食事エネルギー量を200Kcal減量する。

## メディアの目



## リオから東京へ！県内アスリートへの期待

MRT宮崎放送 報道部長

ま のぼり たかし  
馬 登 貴

日本中が熱狂したリオデジャネイロオリンピックから2か月が過ぎた。日本とブラジルとの時差は約12時間…深夜から未明にかけての競技も多かったが、連日のメダルラッシュに、次の日の仕事のことを忘れてテレビに釘付けになった17日間だった。

そのリオオリンピックで日本は、過去最多の41個(金12個・銀8個・銅21個)のメダルを獲得し、国別メダルランキングでも6位につけた。県関係選手も7競技に過去最多タイの11人が出場。柔道の<sup>大野将平</sup>選手、<sup>永瀬貴規</sup>選手、<sup>羽賀龍之介</sup>選手と競泳の<sup>松田丈志</sup>選手の4人がメダルを獲得した。また、県関係では、男子柔道を復活へと導いた<sup>井上康生</sup>監督にも注目が集まった。前回ロンドンオリンピックで金メダル「0」に終わった男子柔道の再建を託された<sup>井上</sup>監督は、リオで「全階級メダル獲得」という快挙を成し遂げた。この4年間のプレッシャーは計り知れなかったと思うが、見事結果を残した<sup>井上</sup>監督に心から敬意を表したい。

さて、次は4年後の東京オリンピック。日本中が大いに盛り上がるであろう一大イベントに、県関係選手も多数出場して、ぜひメダル

を獲得してほしいと早くも期待しているところだ。

そのオリンピックなどを見据えて、面白いプロジェクトが宮崎でもスタートしている。県は、「宮崎から世界へ！」をキーワードに、オリンピックや国際大会、そして平成38年に開催が予定されている宮崎国体で活躍する選手を育成しようと、「宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト」をスタートさせ、第1期生(中学1年生26人と小学5年生25人の計51人)がトレーニングに励んでいる。もともと優れたスポーツの素質を持った“逸材たち”。プロジェクトで心と体を鍛えて、世界へと旅立つトップアスリートに成長してほしいと思う。

先月行われた岩手国体で、宮崎県の天皇杯成績(総合順位)は39位に終わった。去年は42位。2巡目の国体開催に向け、競技力向上と選手育成が大きな課題である。そのためには、我々メディアの役割も重要だ。

東京オリンピックまであと4年、宮崎国体まであと10年…地元メディアの一員として、ニュースや番組等で最大限協力し、宮崎のスポーツを盛り上げていきたい。

## 各都市医師会だより

## 南 那 珂 医 師 会

しま だ まさ ひろ  
会 長 島 田 雅 弘

2期目の会長職です。地区担当理事の先生方に若干の変更がありましたが、多くの役員の先生方には留任していただきました。どの地区も地域医療構想会議の行方と地域包括ケアシステムの構築が問題となっていくことと思います。今回は身近にとらえられる地域包括ケアシステムの中核をなす日南市の在宅医療の近況についてご報告いたします。

- 在宅ケア研究会：医師を始め、医療介護関係者約70名が、毎月集まりテーマを決めて勉強会を行っています。発足後250回を超え、既に顔見せは済んでいます。
- ICTシステムの導入：県のモデル事業として、今年1月より本格稼働しており、医療介護施設間での情報の共有が進みました。度重なる面会の手間が省け、また例えば褥瘡の写真をアップすることにより、視覚的に病状の理解が可能となりました。
- 後方支援病院：日南市立中部病院が、急変時の入院、及び患者家族の負担を減らすレスパイト入院を受け入れることになりました。
- 地域医療啓発活動：市の取組みとして、講師が市内各地に出向き、地域医療に関する出前講座を行っています。また一般市民を対象に定期的にシリーズ形式の勉強会を行い、地域医療に対するリーダーの育成を目指す「日南塾」を毎年開催しています。
- 入退院調整コンセンサスブック：県のモデル事業として日南市、串間市で行われるもので今年3月に出来上がりました。在宅の患者さんの入退院に際して、病院とケアマネが確実に情報共有を図るためのルールをまとめたもので、双方向のスムーズな移行が期待されます。
- 在宅医の会：非定期ですが、在宅医が集まり、問題点を話し合います。

以上、日南市では、在宅医療を行う環境が整ってまいりましたが、患者家族、在宅医の負担が問題です。私も癌末期の在宅患者さんを先日まで診療していましたが、訪問看護が週末も含めて1日3回入り、呼び出しにも応じてくれるので、私も助かりましたし、家族も安心して夜を迎えられたそうです。先日の医師会での講演会で、佐久総合病院の北澤先生が言われた「訪問看護が充実すると訪問看護が楽になり、訪問看護が充実すると在宅医が楽になる」は本当だな。やはり最後は人だなと思いました。在宅医療に力を入れていきます。なお一層のご指導をよろしくお願いいたします。

## 役員等名簿 (任期 平成28年6月10日定時総会終結後～平成30年6月定時総会終結時)

| 役職名 | 氏名    | 診療科                            | 所属医療機関              | 担当業務                      |                 |
|-----|-------|--------------------------------|---------------------|---------------------------|-----------------|
| 会長  | 島田 雅弘 | 内科, 消化器科<br>胃腸科, 呼吸器科<br>循環器科  | 島田内科胃腸科             | 総括                        |                 |
| 副会長 | 中村 彰伸 | 眼科                             | 中村眼科                | 総括補佐, 学術・生涯教育<br>病診連携, 保険 |                 |
| 〃   | 川越 勝秀 | 整形外科<br>リハビリテーション科             | 川越整形外科              | 総括補佐, 医事紛争, 救急医療          |                 |
| 理事  | 内村 利博 | 産婦人科                           | 産科・婦人科<br>うちむらクリニック | 会計, 労務・福祉・給与委員会<br>園医     |                 |
| *   | 〃     | 井藤 健                           | 耳鼻咽喉科               | 総務, 介護保険<br>日南在宅ケア研究会     |                 |
| 〃   | 黒木 和男 | 内科, 消化器科                       | 串間市民病院              | 病診連携                      |                 |
| 〃   | 竹中 晃司 | 外科                             | 日南市立<br>中部病院        | 病診連携                      |                 |
| 〃   | 河野 秀一 | 内科, 呼吸器科<br>消化器科, 放射線科         | 河野医院                | 急病センター<br>学校検診(心臓・腎臓)     |                 |
| 〃   | 江良 幸三 | 形成外科, 皮膚科                      | 江良形成外科<br>皮膚科       | 学校医, 医師国保                 |                 |
| 〃   | 峰松 俊夫 | 内科,<br>基礎医学(ウイルス学)             | 愛泉会日南病院             | 宮崎県医師会理事, 感染症<br>医療情報システム |                 |
| 〃   | 木佐貫 篤 | 病理診断科                          | 宮崎県立<br>日南病院        | 病診連携                      |                 |
| 〃   | 川西 昭人 | 脳神経外科, 神経内科                    | かわにし脳神経<br>外科       | 日南市認知症初期集中支援チーム検<br>討委員会  |                 |
| *   | 〃     | 山元美智子                          | 内科                  | 産業医                       |                 |
| *   | 〃     | 岡村 武志                          | 整形外科<br>リハビリテーション科  | 岡村クリニック                   | 串間在宅ケア研究会, 医師国保 |
| 監事  | 長鶴 和美 | 精神科, 心療内科                      | 長鶴医院                |                           |                 |
| 〃   | 満留 武宣 | 眼科                             | みつとめ眼科              |                           |                 |
| 議長  | 津曲 俊郎 | 小児科<br>アレルギー科                  | 津曲小児科医院             |                           |                 |
| 副議長 | 河野 清秀 | 内科, 循環器科<br>消化器科, 呼吸器科<br>神経内科 | きよひで内科<br>クリニック     |                           |                 |

\*は新任

## 各郡市医師会だより

## 西 諸 医 師 会

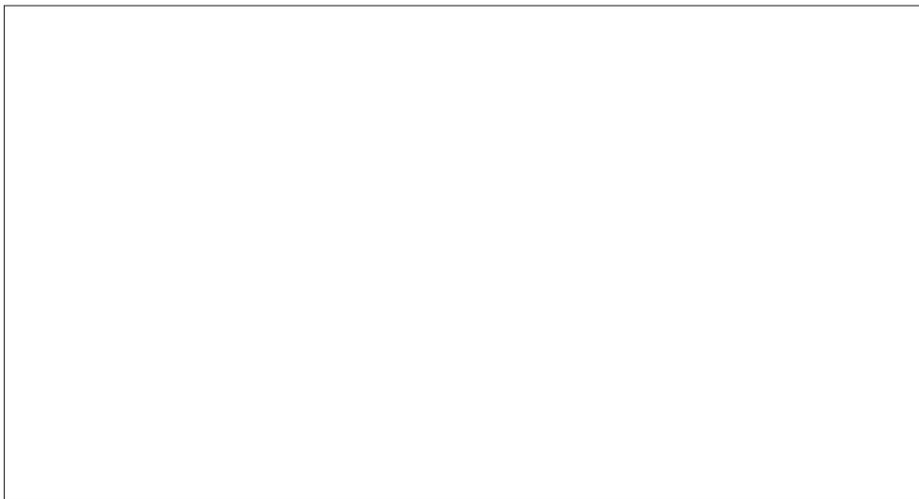
会長 うち内 むら村 だい大 すけ介

平成28年6月24日に開催されました定時総会にて、高崎直哉先生の後任として会長に就任させていただくことになりました。前執行部より、理事では池井義彦先生・立山洋司先生・杉原純次先生、監事では吉永一春先生が退任されました。新たに、副会長に園田定彦先生、理事に前田和伸先生・堀英昭先生・吉村雄樹先生が就任され、高崎直哉先生には監事として引き続き執行部に残っていただき、新執行部体制がスタートいたしました。理事の平均年齢は4歳ほど若くなり53歳となりました。これまでに、高崎前会長をはじめ、諸先輩方が築かれてこられた当医師会の伝統を引き継ぎながら、新執行部一同が一丸となって医師会活動を進めて参りたいと考えております。

現在、当医師会におきましては、西諸2市1町からの依頼を受けて「地域包括ケア」構築のために、各首長をはじめ、当地域の医療・介護に携わる様々な職種の方々にお集まりいただいて西諸地域在宅医療介護連携推進協議会を平成28年1月に設置いたしました。これまでに協議会を2回開催しており、西諸地域在宅医療介護連携支援センター（仮称）の設置・運営に向けた検討を行っているところでございます。協議会の下には、園田定彦副会長が統括する「サービス提供体制構築部会」「情報共有システム構築部会」「スキルアップ広報部会」が設置され具体的な検討が行われております。今後西諸地域在宅医療介護連携支援センターの設置に向け、建設も含めてスピーディな協議が必要となってくるものと思われ、2市1町の首長の皆様に可能な限りの協力を惜しまずにさせていただきたいと考えております。

また、昭和48年に建設され老朽化が進んだ当医師会館及び小林准看護学校の新築問題、西諸地域に存在する3つの自治体立病院支援における課題、小林看護医療専門学校のはぐくみ奨学金に関する問題などの解決も私に課せられた責務ではないかと考えております。

最後に、皆様方には、これまで同様に当医師会に対しますご支援ご協力を今後も賜りますようよろしくお願い申し上げます。



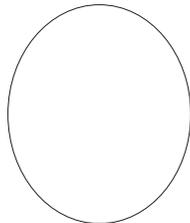
## 役員等名簿 (任期 平成28年6月24日第5回定時総会終結後～平成30年6月第7回定時総会終結時)

| 役職名   | 氏名    | 診療科                       | 所属医療機関             | 担当業務                                                    |
|-------|-------|---------------------------|--------------------|---------------------------------------------------------|
| * 会長  | 内村 大介 | 精神科, 診療内科                 | 内村病院               | 総括                                                      |
| * 副会長 | 園田 定彦 | 内科, 外科<br>腎臓内科            | 野尻中央病院             | 准看護学校の管理・運営<br>医療事故・医療紛争<br>在宅医療・介護<br>〔教務委員会〕〔医師連盟委員会〕 |
| 〃     | 矢野 裕士 | 消化器科, 外科<br>循環器科          | 前田内科医院             | 保健予防, 学校保健, 医師国保<br>税務〔心臓・腎臓検診委員会〕<br>〔学校医部会〕           |
| 理事    | 花田 武浩 | 耳鼻科, 咽喉科<br>アレルギー科        | 花田耳鼻咽喉科            | 総務, 広報, 会員福祉・厚生<br>医師年金〔県医師会理事〕<br>〔医師協同組合〕             |
| 〃     | 莫根 隆一 | 外科                        | 国民健康保険<br>高原病院     | 生涯教育                                                    |
| 〃     | 坪内 斉志 | 外科, 消化器外科<br>麻酔科          | 小林市立病院             | 訪問看護, 保険医療                                              |
| 〃     | 丸山 賢幸 | 外科, 消化器科<br>胃腸科           | 園田病院               | 救急医療, 地域医療                                              |
| 〃     | 井尻 裕司 | 眼科                        | 井尻眼科医院             | 会計全般                                                    |
| 〃     | 河内 謙介 | 外科                        | えびの市立病院            | 労災医, 自賠責<br>〔勤務医部会〕〔労災医部会〕                              |
| * 〃   | 前田 和伸 | 内科, 消化器科<br>胃腸科           | 前田医院               | 学術〔内科医会〕                                                |
| * 〃   | 堀 英昭  | 消化器科, 消化器外科               | 堀胃腸科外科<br>医院       | 時間外急病診療, 厚生, 労務<br>〔有床診療所協議会〕                           |
| * 〃   | 吉村 雄樹 | 内科, 循環器内科<br>放射線科         | よしむら循環器<br>内科クリニック | 産業医〔産業医部会〕                                              |
| * 監事  | 高崎 直哉 | 皮膚科                       | 高崎皮膚科医院            |                                                         |
| 〃     | 丹 光明  | 内科, 外科<br>皮膚科             | 丹医院                |                                                         |
| 議長    | 志戸本宗徳 | 内科, 呼吸器科<br>消化器科          | 京町共立病院             |                                                         |
| 副議長   | 槇 健一郎 | 糖尿病内科<br>呼吸器内科, 消化<br>器内科 | 槇内視鏡内科<br>病院       |                                                         |

\*は新任

## 国公立病院だより

### 国民健康保険高原病院



あぐね りゆういち  
莫根 隆一 院長

人口減少と急速な少子高齢化の進展，生活習慣病の増加による疾病構造の変化など医療を取り巻く環境が大きく変化している中で，当院は西諸医療圏の中核的病院として，地域医療の確保に努めています。

一次医療圏である高原町内には，1つの病院と3つの一般診療所及び3つの歯科診療所があり，当院が町内唯一の病院として各診療所との連携を図りながら地域医療を担っています。

#### 1 国民健康保険高原病院の理念

「心豊かな地域医療の実践」という病院理念を基に，平成28年度の目標として「患者様から信頼される病院を目指す」を掲げ，6つの視点で考え実践しています。

- ①高齢化率の高い当地域において，高齢者も受診しやすい雰囲気をつくり，継続して治療を受けたいと思われるようなコミュニケーション技術を身につける。
- ②医師・看護師・検査技師・レントゲン技師その他全てのスタッフが目的と情報を共有し，患者の状況に的確に，かつ，迅速に対応する「チーム医療」を実践する。
- ③安全な医療の実践のため，業務の効率向上，ミス・事故防止，スペースの有効活用を目的とした5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）活動に取り組む。
- ④医療と看護の質の向上に取り組む。
- ⑤消化器，循環器，呼吸器，肝臓の専門医療と在宅医療の推進。
- ⑥地域と家族を念頭におき，患者さんと長く

付き合える総合医療の実践。

#### 2 人間ドック事業の推進

平成元年より開始した人間ドック事業は，順調に経過し毎年2,200人前後施行しています。平成23年から平成28年までの5年間で発見した食道癌は4例，胃癌は14例でした。食道癌4例中3例はESD（内視鏡的粘膜下層剥離術），1例は手術されStage0，胃癌14例中進行癌は1例で早期癌13例に対し，ESDが8例，手術は5例に施行されました。

人間ドックで発見される場合は，早期癌がほとんどであり，食道も胃もESDの割合が高くなっています。食道癌や胃癌と診断された場合，ESDで根治治療ができた例では，患者さんへの利益は計り知れないものがあります。

本報告での食道癌のESDは九州大学・宮崎大学・鹿児島大学の附属病院でそれぞれ施行していただきましたが，切除後のきれいな癒痕を観察するたびに医療技術の進歩に驚いております。

今後も人間ドックの症例数を維持し，食道癌と胃癌の早期発見に努めたいと思います。

#### 3 在宅医療の推進

平成元年に開始しました在宅医療は，平成10年には対象者が100名と増加しました。しかし，平成12年に介護保険制度が開始された

頃より特別養護老人ホーム、老人保健施設、デイケア・デイサービスを希望する患者さんが増え続け、現在対象者は16名と減少しています。

当院では、24時間体制でのバックアップが可能であり今後も在宅医療は継続していきたいと考えております。

#### 4 学習会・朝会の実施

積極的な病院運営を目指して平成元年より医師、看護師、事務職、理学療法士、検査技師等を交えての全員参加の学習会を現在も毎月2回開催しています。この学習会において事務連絡、各種委員会と研修会の報告、各種の講習会、全国地域医療学会及び宮崎県国保医療学会研究発表の予行などを行っており大変有意義な学習会となっております。

また、毎週月曜日に院内全体の朝会を開催し、業務のリズムづくり、コミュニケーション・チームワークづくり、モチベーションアップ、情報の共有化の場としています。

#### 5 経営改善への取り組み

全国の多くの自治体病院が経営困難な状況にある中で国は、「公立病院が今後とも地域

において必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくためには、抜本的な改革がさげられない」とし、平成19年に「公立病院改革ガイドライン」を作成し、これを受けて当院も公立病院改革プランを策定し、経営改革に総合的に取り組んでまいりました。

更に、国は平成27年3月に新たな公立病院改革ガイドラインを策定し、平成28年度以降の公立病院改革に取り組むよう通知し、平成28年度中に全国すべての公立病院に「新公立病院改革プラン」の策定を求めるに至ったところでもあります。

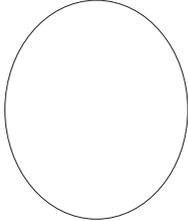
このような中、当院において、病院長を委員長とし各部署のスタッフから構成する「高原病院経営・管理会議」を平成28年2月に設置し毎月1回開催しております。

国のガイドラインの趣旨に則り、経営改革を通じ、町民に必要な医療提供体制を確保するとともに、町民の病院として持続可能な病院経営を目指すために「新国民健康保険高原病院改革プラン」の策定に取り組んでまいります。

## 宮崎大学医学部だより

### 宮崎大学医学部附属病院

#### －手術部－



つねよし いまお 教授  
恒吉 勇男 教授

#### 手術室の現状

手術室では、麻酔科医師17名、看護師44名、麻酔科研修医若干名、技能補佐員5名が働いております。手術件数は、年間6,000件前後で推移していましたが、最近増加傾向にあり、平成27年度は6,512件でした。手術内容も医療の高度化、専門化により難易度がさらに高くなり、時間を要する手術も増えています。平成27年4月から形成外科が新設され、形成手術も徐々に増加しています。

当院の手術室は12室あります。緊急手術用の部屋を除き、毎日10～11室で手術を行っています。患者の手術室搬入は、月曜日から木曜日は午前8時00分から、金曜日は午前8時30分より始まります。麻酔科医は、午前7時前には手術室に到着し手術の準備と7時半から行われる術前カンファレンスに備えます。夕方は手術の内容により異なりますが、午後7時前後には大方の手術は終了します。麻酔を終えて帰宅するときの満足感はひとしおです。最近では定例手術に加え、緊急手術も増加しています。ドクターヘリが遠方より、交通外傷、火傷、転落などの重症患者を運んできますので、入室とともに手術室は一気に緊迫したムードになります。麻酔科医は、いかなる状況でもクールに立居振る舞えるように日々鍛錬しています。麻酔医4,5年目になるといかなる手術もどんと来いと思えるほどの自信がつかます。

当麻酔科医局員は、大学病院の手術麻酔だけでなく、地域医療のニーズに答えるために、国

立病院機構、県立病院、医師会病院や個人病院の手術麻酔も行います。手術を必要としている患者のニーズは限りなく、麻酔科医の責務は果てることはありません。未明まで麻酔して、そのままその日の手術麻酔を行うことも間々あります。このため体調を壊す者もいて、医局員の体調を把握して毎日の麻酔の割り当てに注意を払わねばなりません。ワークライフバランスが大切ですので、適度に息抜きができるように配慮しています。

昨年末よりハイブリッド手術室が稼働し、心臓・血管外科手術をメインに使用しています。当院には臨床工学士が12名おり、人工心肺やセルセーバーの操作など必要に応じて手術室業務をサポートしてくれます。また本年度から、ハイブリッド手術室の稼働に合わせて放射線技師も配置され、大変助かっています。

宮崎大学附属病院手術室にはハード、ソフト面において他の大学病院に引けを取らない設備投資が行われています。今後さらに安全な手術に向け、職員一丸となって業務改善に努めていきたいと思っております。

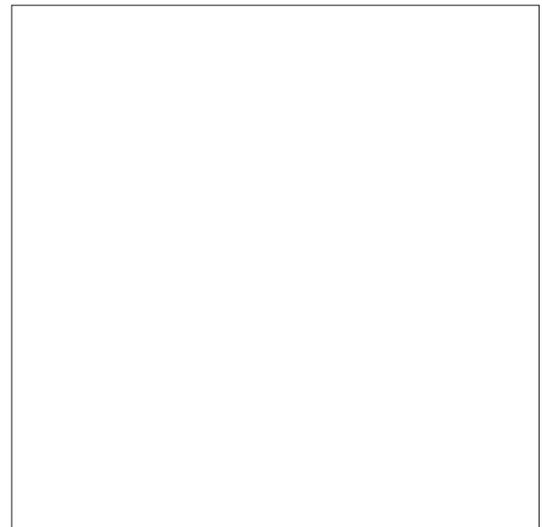
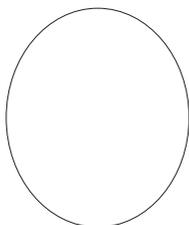


図 手術件数の推移

(医局長 白阪哲朗)

## 部会だより

## 学 校 医 部 会

かわの まさゆき  
河野 雅行 部会長

宮崎県医師会学校医部会は514名の会員からなり、県医師会長の河野会長が部会長として本年6月に再任しています。その活動は児童生徒の健康診断、心臓・腎臓・生活習慣病健診、

運動器検診、精神保健などの学校保健に関する様々な業務であり、県医師会と一体となり精力的に取り組んでおります。

平成27年度の主な事業として10月に総会・医学会を開催し、特別講演として「小児の肥満」と題し、宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野講師 澤田浩武先生に「インターネット依存の実態と対応」と題し、独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 三原聡子先生(臨床心理士・精神保健福祉士)にそれぞれご講演いただきました。学校医や養護教諭など、93名にご参加いただきました。

8月1日・2日の両日、長崎県において、九州ブロック学校保健・学校医大会関連行事が開催され、メインテーマを「子どものいのちを守り すこやかに育む環境づくりのために」と掲げ、心臓・腎臓・小児生活習慣病の部門ごとの教育講演や眼科・耳鼻科・運動器の各分科会が行われました。また、「子どもを育む～更なる機関協働に向けて～」、「ネット・スマホ社会の子ども達～小児科医と考えるメディアリテラシー～」と題して2つの基調講演が行われました。

12月には全国学校保健・学校医大会が愛媛県にて開催され、メインテーマ「みんなで見守る子どもの成長」について、分科会及びシンポジウム等が行われました。

児童・生徒の心臓・腎臓・小児生活習慣病健診事業への協力としては、各郡市医師会単位で、小・中・高校生に対する心臓検診、小・中学生に対する腎臓検診を実施していただいています。8月に長崎県、11月に福岡県において開催された九州学校検診協議会専門委員会では、心臓・腎臓・小児生活習慣病専門委員会の3部門に分かれ、各々協議が行われ健診集計の標準化に取り組んでおります。

また、昨年度は、学校保健安全法施行規則改正に伴う平成28年度からの新たな学校健診、特に「運動器検診」実施について、宮大整形外科及び県教育委員会等と協議を行うとともに、3月に学校医向けに「学校健診についての研修会」を開催しました。テレビ会議で各地区に同時放映し、232名にご参加いただき、学校医が行う運動器検診についてのご理解と、ご協力をお願いしました。整形外科医以外の学校医が運動器検診を行うことについては様々な意見があり、運動器検診のあり方については今後検証がなされることと思います。

学校保健は児童生徒の健康管理において重大な部分を担っています。今後とも先生方のお力添えをよろしくお願いいたします。

(理事 高村 一志)

## — 各種委員会 —

## 医 学 会 誌 編 集 委 員 会

と き 平成28年 9月28日(水)

と ころ 県医師会館

嶋本理事の司会により開会、河野会長の挨拶に続き、協議が行われた。

掲載論文17編からなる第40巻第2号のカテゴリの検討が行われ、総説2編、臨床研究3編、症例3編、診療7編、地域医療1編、クリニカルカンファレンス1編と、編集後記担当者を決定した。

第41巻第1号総説の執筆依頼については、候補者の中から最終的な依頼先を委員長が選定することが承認された。

前期より引き続きの検討事項である投稿規程

改訂について、第41巻第1号から改訂できるようさらに検討していくこととなった。

出席者—松岡委員長、河野副委員長、  
長友・中谷・黒川・黒岩・大西・  
中馬・松浦・武田・松本・稲津・  
阿南委員

(県医) 河野会長、嶋本担当理事、  
小牧・岩村副担当理事、牧野課長、  
川端主事

## 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ



宮崎県医師会では、県医師会館で開催される講演会・研修会に参加される医師(医師会員でなくても可)のお子様を対象に本会館1階に臨時の無料託児ルームを設置いたします。県医師会が契約した保育士が対応いたします。

ご利用の場合は、事前の予約が必要となりますので、ご希望の方は開催日の2週間前までに県医師会までご連絡ください。

お問合せ先

宮崎県医師会

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

担当 畠中・久永

## 九州医師会連合会第358回常任委員会

と き 平成28年10月1日(土)

ところ ホテル日航熊本

### 1 九州医師会連合会長あいさつ

熊本県医師会長 福田 稔

### 2 報 告

#### 1) 第116回九州医師会医学会分科会の出題並びに記念行事の参加申込状況について

(熊本)

出題並びに記念行事の参加状況について報告があり、追加も可能なので積極的に参加いただくよう再度の依頼があった。

#### 2) その他

### 3 協 議

#### 1) 九州医師会連合会第359回常任委員会(11月9日(水)北九州市)の開催について(熊本)

#### 2) 九州医師会連合会第360回常任委員会並びに第112回臨時委員総会(11月18日(金)熊本市)の開催について(熊本)

#### 3) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会(11月19日(土)熊本市)における日本医師会に対する質問・要望事項について(熊本)

1)から3)については、原案どおり承認された。

#### 4) 第116回九州医師会連合会総会における宣言・決議案について(熊本)

各県からの修正意見を基に協議され、宣言については文言の一部修正を行い、決議案については、提案どおり承認された。

#### 5) 九州各県医師会救急・災害医療担当理事連絡協議会並びに九州医師会連合会第1回ブロック災害医療研修会(平成29年1月7

#### 日(土)・8日(日)熊本市)の開催について(熊本)

日程については、原案どおり了承された。また、研修会は、1県当たり6名以内の参加をお願いしたいとのことであった。

#### 6) 九州医師会連合会第361回常任委員会並びに第2回各種協議会(平成29年2月4日(土)熊本市)の開催について(熊本)

日程については、原案通り了承された。また、各種協議会の開催種目については、後日各県に照会するとのことであった。

#### 7) 第14回福岡県医師会「卒後臨床研修指導医ワークショップ」開催に関する周知依頼について(福岡)

昨年は、定員40名で参加は福岡県内のみで20名。各県会員への周知依頼があった。

#### 8) 台風10号(北海道・岩手県 各医師会)への対応について(熊本)

これまでの九医連災害見舞金に関する申し合わせどおり、各県5万円、九医連から10万円を加えた計50万円を北海道、岩手県に各25万円送ることが決定された。

#### 9) 九州医師会連合会第12回事務局長連絡協議会(11月25日(金)熊本市)の開催について(熊本)

11月25日に熊本県で開催することが了承された。

#### 10) その他

出席者一河野会長、山内事務局長

## 第1回各郡市医師会長協議会

と き 平成28年9月27日(火)

ところ 県医師会館

立元常任理事の司会進行で定刻に開会した。

### 報告及び協議

#### 1 9/20(火)(日医)都道府県医師会長協議会について

河野会長が、各都道府県医師会から提出された10題の協議事項について要点をまとめ報告を行った。

- ①認知症疾患医療センターの設置要件について(秋田県)
- ②かかりつけ医以外を受診した場合の受診時定額負担について(山口県)
- ③データヘルス計画実施事業について(三重県)
- ④日本医師会認定医療秘書資格取得者の、医師事務作業補助体制加算算定のための院内研修時間の緩和について(滋賀県)
- ⑤地域医療構想調整会議のあり方について(鹿児島県)
- ⑥骨太の方針2016について(奈良県)
- ⑦定期予防接種の安全実施に向けた予防接種スケジュールの見直しについて(兵庫県)
- ⑧新規個別指導について(福岡県)
- ⑨至近の中医協高額医薬品対応の動向について(岡山県)
- ⑩勤務医の医賠償保険料について(広島県)

#### 2 県立病院の経営について(都城市北諸県郡医師会から)

飯田会長から、県病院が平成27年度黒字の見込みとの報道を目にしたが、実際は一般会計等から繰入れがされており、県民が誤解す

るのではないかとの問題提起が行われた。

これに対して、河野会長が、県立病院事業評価委員会で出された資料を基に、関係者の努力により年々減少はしているものの、国の地方公営企業法という法律で認められた一定の基準に基づく繰入金ではあるが、現在も多くの繰入れが行われていると説明。また富田副会長が、黒字のみをアピールするのではなく、県立病院が不採算部門といわれる事業にどう取り組んでいるかを主張すべきである。その点を要望していきたいと回答した。

#### 3 県立延岡病院の看護学校生徒の実習受入問題について(延岡市医師会から)

吉田会長から、近年、延岡市以外の民間の看護師養成施設等の影響もあり、看護学校の実習時間が削減される状況である。会員施設での受入にも限界があり、できれば地元を優先していただきたいが、他の地域はどうかとの質問が行われた。

延岡市を除く、宮崎市郡、都城市北諸県郡、日向市東臼杵郡、児湯、西諸医師会の現状を確認したところ、今のところ大きな問題となっている地域はないが、協力施設の減少等を踏まえ今後検討すべき課題との回答であった。

これに対して、佐藤理事が、県内の状況をまとめ、11月初旬に県福祉保健部との意見交換会が行われるので、その場に県全体の要望として提出したいと回答した。

#### 4 地域医療介護総合確保基金(医療分)の平成28年度内示及び平成29年度の状況について

富田副会長から、平成28年度は、総額12億5千万円の内示で、昨年より約4億円の大幅増額であった。しかし在宅や医療従事者確保関係の事業に対しては計画額より少ない内示額のため、新規事業を中心に事業中止や削減で対応する必要がある。

平成29年度以降もこれらの事業の増額の見込みは少ないため、各事業の事業費を精査する必要があると考えている。特に医療従事者確保事業の厳しい状況を説明するために、10月中旬に医師会立看護学校担当理事連絡協議会を開催しご意見を伺いたいとの説明が行われた。

#### 5 水銀血圧計等回収事業について

立元常任理事から、今までの経過と他県の状況説明に引き続き、収集運搬・処分費を抑えるため、環境省が作成した回収マニュアルにそって、県医師会を事業実施単位、郡市区医師会を回収単位とした回収事業を実施したい旨の提案が行われた。

その結果、その方向性について各郡市医師会長の理解を得るとともに、10月中旬に医療廃棄物担当理事連絡協議会を開催し、委託予定事業者から回収に対する留意事項等の説明を受けることが承認された。

#### 出席者

##### 各郡市医師会

川名(宮崎)・飯田(都城)・吉田(延岡)・渡邊(日向)・永友(児湯)・松本(西都)・島田(南那珂)・内村(西諸)・佐藤(西臼杵) 会長, 東野(宮大医) 理事

##### 県医師会

河野会長, 富田・濱田副会長, 立元・吉田・小牧・荒木・池井・金丸・佐々木(幸)・高村・石川常任理事, 峰松・川野・佐藤・佐々木(究)・岩村・米澤・糸数・花田・帖佐・嶋本理事

##### 事務局

山内事務局長, 竹崎次長, 久永・松本・牧野課長, 小川医協事務長, 杉田医師国保事務長心得

### 宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「会員交流用メーリングリスト」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

#### ◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供(各種通知文書、研修会の案内等)

対象：会員本人、医療機関代表のアドレスなど

#### ◆会員交流用メーリングリスト

目的：会員同士の意見交換、会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

災害が発生した場合、情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 学術広報課  
TEL 0985-22-5118

# 全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会 第66回定例総会・平成28年度第1回運営委員会

と き 平成28年9月24日(土)

ところ ホテルポストプラザ草津びわ湖  
(滋賀県)

平成28年度の全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会は、滋賀県医師会の担当で開催された。

## 協議会長挨拶 滋賀県医師会長 猪飼 剛

学院卒業生の雇用拡大と待遇改善とともにクオリティの高い人材を輩出したいという希望を持っている。各病院でたくさんの人材を採用していただいているが、処遇が悪く医療職以外に就職する人も滋賀県にいる。せっかく学んでいただいたので、しっかり医療機関に就職していただけるようにしたいと思う。医師事務補助算定加算でライセンスを持って入っても、6か月間はトレーニングを受けないと算定できないという問題があるので、日医に頑張ってもらいたい。また、診療所でも算定できるようにしていただきたい。

## 来賓祝辞

### 横倉日医会長(釜范日医常任理事代読)

今年度は2月5日に第37回日本医師会医療秘書認定試験を予定している。宮崎県医師会副会長の富田雄二委員長をはじめとする医療秘書認定試験委員会の先生方には試験の円滑な実施に向けてご尽力いただいている。日本医師会ではかかりつけ医を中心とした町作り、変革期をを担う人材育成の視点にたった人づくり、そして医療政策をリードし続ける強い医師会への組織作りの3つを基本方針に掲げているが、医療秘書の養成はまさに人作りである。医療から介護までの多職種連携が求められる時代において、

事務職の専門として、医師患者間、医療関係職種間の円滑なコミュニケーションの要となり、現場のニーズに的確に対応する医療秘書の活躍が期待されます。そして、かかりつけ医である医師の補佐役として業務の一役を担うことが地域住民が安心して暮らせる町作りに繋がることと確信している。昭和56年に養成を開始して以来、現在までに9,670名もの方々を日本医師会認定医療秘書として世の中に送り出している。養成校も13県15校と少しずつ増えているが、全国から見れば1/4程度であるので、本会としても全国拡大へ向けて努力していきたい。歴史ある日本医師会認定医療秘書を引き続きご支援いただきたい。

## 報告

### 1 日本医師会医療秘書認定試験委員会について 日医医療秘書認定試験委員会 富田雄二委員長

新たな委員で既に試験問題作成にとりかかっている。昨年一昨年については、教科書改訂の関係で、新課程、旧課程の2種類の試験問題で実施したが、本年度は新課程1種類のみでの実施となる。ただし、教科書の第1巻「健康とは、疾病とは」については、発刊が遅れた関係で、新しい教科書で勉強された生徒と、古い教科書で勉強された生徒がいることを考慮し、この部分にのみ、新しい教科書からの問題と古い教科書からの問題の2つのコースを設けることとしている。受験者は当日、どちらで回答するかを個々に選択して回

答することになる。試験は2月5日(日)、合格発表は2月24日(金)とする。

## 2 各学院の現況調査結果について

医療秘書養成を行っている13県から、現況調査結果に基づき報告があった。

就職率が低い学院もあり、今後の課題として、診療所等へ診療報酬上の評価の拡大を求め、日医認定医療秘書のさらなる認知と普及にあたる必要があると意見が出された。

宮崎県同様、静岡県でも地域医療介護総合確保基金を利用し、医師クランク研修会を開催している旨の報告があった。

## 3 医療保険請求事務実技試験委員会について

### 越智常任委員

先ほど行われた平成28年度第1回医療保険請求事務実技試験委員会では、具体的な試験問題について検討が行われ、適正なものとして承認されたとの報告があった。

## 協 議

堀地常任委員から平成27年度収支決算、越智常任委員から平成28年度事業計画(案)・収支予算(案)について報告があり、原案通り承認された。次期当番県は広島県医師会に内定していることが報告され、承認された。

## 総 括

### 釜 蒔 日 医 常 任 理 事

現在、本協議会は13県15校で構成されているが、もっと増やしていかななくてはならない。また、現在加入の県においても、医療機関で採用していただけるよう広報を図っていただきたい。日医認定医療秘書試験は内容が多岐にわたっており、とても難しい。その試験を合格された方はかなりの技能と知識を身につけているということである。自信を持って医療機関への広報を行っていただきたい。

## 次期当番県医師会挨拶

### 広 島 県 医 師 会 副 会 長 豊 田 秀 三

来年の定例総会は、平成29年9月23日(土)に広島県のプリンスホテルにて開催する予定である。

出席者－富田副会長、牧野課長

## 宮崎県医師会医療情報コーナー

県医師会館1階の「医療情報コーナー」では、分かりやすい医療や介護の本、闘病記のほか、難病・認知症・健康増進や子育てに役立つ本・雑誌・DVDなどを幅広く取り揃えています。県民の皆様への貸出もしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。パソコン情報検索、ビデオ・DVDの視聴もできます。

開室時間：月～金曜日 10：00～19：00、土曜日 10：00～18：00

休 館 日：日曜・祝日、12月29日～1月3日、8月14日～15日、特別整理期間(3日間)

〒 880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地

TEL 0985-22-5118 E-mail : tosho @ miyazaki.med.or.jp

# 平成28年度「宮崎内視鏡外科アニマルラボセミナー in佐土原」 開催報告

と き 平成28年9月17日(土), 18日(日)

ところ ボストン・サイエンティフィック・  
インスティテュート・アドバンシン  
グ・サイエンス宮崎(宮崎市佐土原町)

宮崎県地域医療支援機構(専属医師)

宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会(副会長)

宮崎大学医学部医療人育成支援センター(教授)

宮崎大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター(センター長)

こ まつ ひろ ゆき  
小 松 弘 幸

## はじめに

平成28年9月17日と18日の2日間、宮崎県宮崎市佐土原町のボストン・サイエンティフィック・インスティテュート・アドバンシング・サイエンス宮崎において、宮崎県地域医療支援機構主催(宮崎大学医学部共催)の「平成28年度宮崎内視鏡外科アニマルラボセミナー in佐土原」が開催された。本セミナーは、研修医や医学生がアニマルラボで高度な外科手技を主体的かつ実践的に学習できる全国でもあまり例を見ない先進的な教育企画である。今回、宮崎県初の取り組みとなった本企画のねらいと実施体制、実習内容について報告する。

## セミナーのねらいと実施体制

医療安全への国民的関心が高まる中、医学生や研修医の技能教育は年々重要性を増し、現在全国80大学医学部のほぼ全てでシミュレーションセンター(スキルスラボ)が設置されている。宮崎大学医学部でも2009年に臨床技術トレーニングセンターを開設し、静脈採血や尿道カテーテル留置といった基本手技から消化管内視鏡、血管IVRといった高度専門手技まで約40種類のシミュレータを有し、技能習得や教育目的で年間延べ約4,500名に利用されている。しかし、これらの技能教育はシミュレータの種類や性能によってある程度規定され、複雑な判

断や技術を要する手術手技の多くは現在でも実際の患者でのon the job trainingが主体である。一方で、多領域を短期間ずつローテートする2年間の臨床研修の中で、研修医が執刀医として主体的に手術を担当する機会は極めて限られている。本企画の第一の目的は、研修医や医学生に高度な手術手技とその一連の流れを執刀医として主体的に経験する場を提供することで、外科領域の醍醐味と奥深さを存分に体感してもらい、その後の臨床研修の動機付けをより高めてもらうことである。現在、高度な設備を要求されるアニマルラボトレーニング施設は国内で拠点化しており、外科領域専門医のトレーニングで用いられることがあっても、研修医が参加できる機会は極めて限られている。宮崎県の佐土原テクノロジーサーチパーク内にあるボストン・サイエンティフィック・インスティテュート・アドバンシング・サイエンス宮崎は、国内でも有数のアニマルラボ施設であり、毎年全国各地から医療者が訪れている。本企画の第二の目的は、この全国に誇る施設を活用して「宮崎発の全国レベルの教育企画」を実施し、本県の教育活動の目玉として県内の研修医や医学生に質の高い教育環境と内容を提供することである。

この2つのねらいを実現するため、今回は宮崎大学外科学講座の七島篤志教授を中心に、長崎大学よりアニマルラボ教育経験の豊富な日高重和先生をお招きし、宮崎大学より池田拓人先生、河野文彰先生、田代耕盛先生、西田卓弘先生、中尾大伸先生、県立宮崎病院より日高秀樹先生、潤和会記念病院より佛坂正幸先生、なかしま外科・内科院長の中島真也先生の計10名をお迎えし、強力なインストラクターチームを構成した。当日コーディネータは、実務責任者の七島先生、西田先生のサポートをいただきながら、宮崎県地域医療支援機構、宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会、宮崎大学医学部医療人育成支援センター全てに関与する筆者が務めた。

参加者募集は、講習+実技経験者10名と講習+実技見学者10名の計20名を定員とし、宮崎県地域医療支援機構HP掲載や県内7基幹型臨床研修病院の研修医、宮崎大学医学部学生への案内を行った。その結果、宮崎大学医学部附属病院研修医10名(2年次5名、1年次5名)、宮崎大学医学部5年生1名の計11名から応募があった。1および2年次研修医1名ずつが都合により欠席となったため、セミナー当日は9名が受講生として参加した。

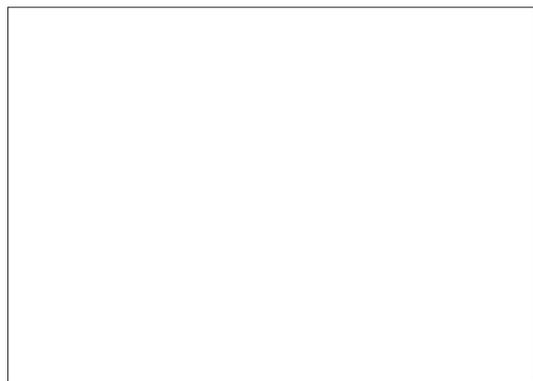


図1. セミナーの日程と内容

## セミナーの内容

2日間のセミナーの日程を図1に示す。以下、それぞれの内容について簡潔に述べる。

### 1. 講習(写真1)

講習は4名の講師が4つのテーマについてそれぞれ30分ずつ担当した。①「内視鏡外科の特性とトレーニング」では、一般手術との違いとその修練方法やアニマルラボで行えるトレーニングの内容について、②「手術で使用する器具・デバイス」では、一般的な手術器具に加え、電気メス、超音波凝固切開装置、自動縫合器・吻合器それぞれの特徴について、③「ブタの腹腔内解剖～ヒトとブタの違い～」では、ヒトと比較したブタの特徴的な胃周囲の血管走行やリンパ節分布、腹腔鏡下幽門側胃切除術時のトロッカー挿入から胃切除における注意点について、④「外科学のススメ～地方病院での外科～」では、外科医の経験症例内容やキャリアディベロップメントにおける心得について、それぞれの担当講師のご経験を踏まえながら、わかりやすい解説がされた。

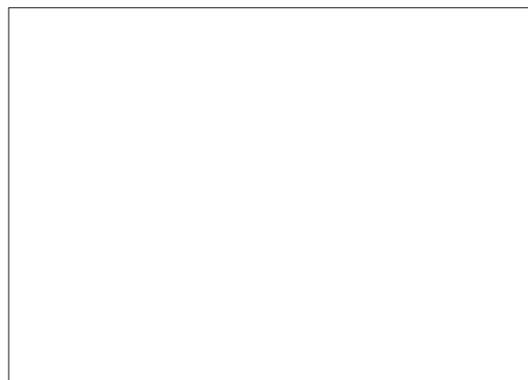


写真1. 講習風景

### 2. 腹腔鏡シミュレータ(ドライBox)手技トレーニング(写真2)

講習にて知識を整理した後、腹腔鏡シミュレータ(ドライBox)が設置されたトレーニ

ングルームへ移った。9名の受講者は4つのドライBoxゾーンに分かれ、外科インストラクターよりマンツーマンで操作指導を受けた。腹腔鏡で使用されるポートの特徴や鉗子の基本操作をはじめ、鉗子を使ってビーズを左から右、右から左へ正確に移す手技や、ピンに固定された輪ゴムを取り外し再固定する手技の中で、二次モニター画面における三次元空間把握(鉗子先端部の位置把握や把持方法など)や、手と目の協調運動(Hand-eye coordination)の感覚を磨き、縫合結紮手技の中で体腔内での針糸の操作を学んだ。丁寧に指導を受ける中で、受講生は短時間ながらその操作がより正確にできるようになっていた。

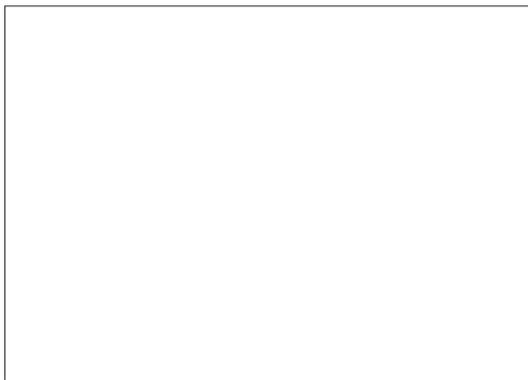


写真2. 腹腔鏡シミュレータ(ドライBOX) 実習風景

### 3. 外科医師キャリアセミナー・懇親会

腹腔鏡シミュレータ操作訓練後は、受講者とインストラクター全員でバスに搭乗し、宿泊地であるフェニックスシーガイアリゾート(コテージ・ヒムカ)へ移動した。外科キャリアセミナーは懇親会と同時並行で進められ、新臨床研修制度を経験した若手～中堅医師、市中の第一線で活躍するベテラン医師、宮崎の外科医療をリードする教授など、様々なキャリアを有する医師と、現在臨床研修や臨床実習の真っ只中で研鑽に励む研修医・医

学生が本音で語り合う貴重な場となっていた。懇親会後は、インストラクターが用意したアニマルラボ手術やヒトの手術動画を見ながら手術操作のポイントを解説し、翌日のアニマルラボに向けてイメージトレーニングも行われた。

### 4. アニマルラボ実習(写真3)

第2日目は、終日アニマルラボでの実習となった。倫理的配慮が十分にされた状況下で、2つの手術台に獣医により全身麻酔管理されたブタが仰向けでセットされ、敷布の間から露出した術野はかなりの臨場感を有していた。1つの手術台を4～5名の研修医と医学生が担当し、インストラクターのアシストを受けながら、小腸・大腸切除、胃切除、開腹操作、再建、直腸切除・再建、閉腹操作を順に行っていった。執刀医・第1助手・第2助手(スコピスト)・器械出しの4役を、血管処理や自動縫合器を用いた腸管・胃切除などの各重要ポイント毎にローテーションすることで、研修生全員が重要操作を経験した。

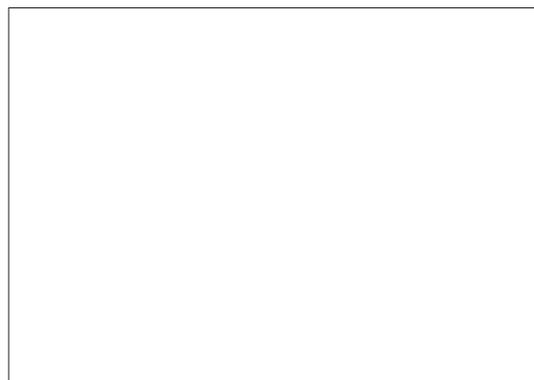


写真3. アニマルラボ実習風景

### 受講者の実習後アンケート結果

本セミナー終了後の受講生アンケート結果(図2)では、座学の講習よりも腹腔鏡シミュレータやアニマルラボでの実習満足度が高く、特にアニマルラボにおける胃切除や小腸・大腸

切除実習は、受講者9名中8名が「とても満足」と回答した。また、受講者全員が、本セミナーが今後の臨床研修や臨床実習に役立つと思うと回答した。



図2. 受講者の実習後アンケート(n=9)

#### おわりに

今回は、宮崎県地域医療支援機構と宮崎大学医学部(外科学講座と医療人育成支援センター)、そして宮崎県医師会が三位一体となって、従来にはない新しい視点と高いクオリティーの教育セミナーを実施することができた。今回は外科領域をターゲットとしてアニマルラボを用い、受講者からも高い満足度が得られた。この経験が受講生の今後の臨床研修や臨床実習のみならず、宮崎での医師キャリア形成への意欲に繋がれば、企画開催が一定の意義を持つのではないかと考える。

今回の開催フォーマットを活かして、今後、アニマルラボの継続開催を視野に入れれば、経皮的冠動脈血管形成術(PCI)などの血管内治療や内視鏡的逆行性胆道膵管造影(ERCP)などの内視鏡手技をターゲットとし、外科系のみならず内科系の教育企画も可能になると思われる。また、このようなハイクオリティーな教育企画は、研修医や医学生が宮崎県を臨床研修の場と考える上での一つの魅力となる可能性も秘めている。一方でハイクオリティーな教育企画には常に実施運営上の課題(インストラクターの確保、適正なコストパフォーマンスなど)が付いてくる。「宮崎の臨床研修の魅力と満足度を高める」ことを念頭に置きながら、現実的課題を踏まえつつ、今後も県、大学、医師会が緊密に連携して、新たな取組みを継続していく必要がある。

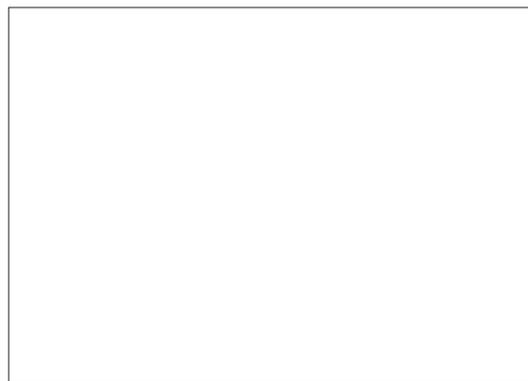


写真4. 受講者・インストラクター集合写真

## 日医インターネットニュースから

### ■ 14年度国民医療費、40兆8071億円 － 厚労省 －

厚生労働省は9月28日、2014年度の国民医療費の概況を公表した。総額は40兆8071億円(前年度比1.9%増)で過去最高額を更新した。厚労省は伸び率の要因について、14年度診療報酬改定の影響が0.1%分、高齢化・人口減の影響が1.0%分程度、医療の高度化などの影響が0.7%分程度と分析している。国民1人当たり医療費は32万1100円(2.0%増)だった。

診療種類別で見ると、内科診療医療費は29兆2506億円(1.8%増)、歯科診療医療費は2兆7900億円(1.9%増)、薬局調剤医療費7兆2846億円(2.4%増)。内科診療医療費のうち、入院医療費は15兆2641億円(2.0%増)、入院外医療費は13兆9865億円(1.5%増)。入院医療費を病院・一般診療所別に見ると、病院は14兆8483億円(2.0%増)、一般診療所は4158億円(0.3%増)。入院外医療費を病院・一般診療所別に見ると、病院は5兆6956億円(1.9%増)、一般診療所は8兆2909億円(1.2%増)だった。

財源別では、公費が15兆8525億円(2.1%増)、保険料が19兆8740億円(1.8%増)、その他(患者負担など)が5兆806億円(1.5%増)。公費のうち国庫負担分は10兆5369億円(1.7%増)、地方負担分は5兆3157億円(2.9%増)。保険料のうち事業主負担は8兆3292億円(2.5%増)、被保険者負担は11兆5448億円(1.3%増)となった。国民医療費全体に占める各財源別の割合は公費38.8%(国庫25.8%、地方13.0%)、保険料48.7%、その他12.5%となっている。

1人当たり国民医療費を年齢階級別に見ると、65歳未満は17万9600円に対し、65歳以上では72万4400円で約4倍の差があった。内科診療医療費では、65歳未満が12万3000円、65歳以上が53万5700円だった。

3年ごとに公表している都道府県別の1人当たり国民医療費が最も高かったのは高知の42万1700円で、長崎の39万6600円、鹿児島の39

万600円が続いた。最も低かったのは埼玉の27万8100円で、千葉の27万9700円、神奈川の28万5700円の順となっている。

(平成28年9月30日)

### ■ 調剤料伸びの差「次期改定で問題視」 － 中川副会長 －

中川俊男副会長は10月6日、第60回社会保険指導者講習会で、薬局と内科の調剤料に言及した。中川副会長は、厚生労働省の2009年以降のデータを示しつつ「薬局の処方箋1枚当たりの調剤料・加算料は上昇しているが、内科の処方1回当たりの調剤料は横ばいだ」と分析。この原因について「薬局の調剤料は、処方日数31日以上は一定だが、処方日数が長くなるほど段階的に高くなる仕組み。しかし内科の院内処方にはこのような仕組みはないためだ」と指摘した上で「このような問題点は次の改定でも問題視していきたい」と強調。高額薬剤を巡る問題にも言及し、高コレステロール血症治療薬「レパーサ」の例を取り上げ「現行の仕組みでは、薬事承認の時に決まった効能・効果を薬価収載の時に変更できない。薬事承認の時点では、その医薬品がどのぐらい薬価が付いて、どの程度売れて、医療保険に経済的にどのぐらい影響を及ぼすのか考えていない。それを根本的に見直そうと私たちは強く要求している」と説明した。

「レパーサ」の効能・効果は「家族性高コレステロール血症と高コレステロール血症。ただし、心血管イベントの発現リスクが高く、スタチン製剤で効果不十分な場合に限る」。効能・効果通りに使用したとしても、ピーク時予測の売上高は492億円に達する。こうした点を念頭に、レパーサのような生活習慣病治療薬について、中川副会長は「従来型治療で効果の少ない患者に(対象を)限るべきではないか」と問題提起した。

(平成28年10月14日)

## ■塩崎厚労相「今後も皆保険は堅持」

### — TPP審議入りで —

環太平洋連携協定(TPP)の承認案と関連法案が10月14日、衆院の特別委員会で審議入りした。塩崎恭久厚生労働相は「民間医療保険の参入や混合診療の解禁など、わが国の公的医療保険制度に変更を生じさせる内容は含まれていない」とし、あらためて国民皆保険が堅持されることを説明した。また公的医療保険制度を含む日本の社会保障制度について「将来の制度変更が妨げられるものではない」とも述べた。大西宏幸氏(自民)の質問に対する答弁。

(平成28年10月18日)

## ■かかりつけ医以外受診の定額負担反対

### — 自民・政策懇で日医 —

自民党は10月20日、「予算・税制等に関する政策懇談会」を開き、日本医師会など17の医療団体から意見聴取した。日医からは今村聡副会長が参加し、▽社会保障の充実による経済成長▽受診時定額負担への反対▽医療等にかかる消費税の解決▽地域医療確保のための医業継続にかかる税制措置一を要望した。

日医は、政府の経済・財政再生計画改革工程表で2016年までに検討し結論を得るとされている「かかりつけ医以外を受診した場合の定額負担の導入」について、自己負担を上げるとは受診抑制につながると主張。「日本の医療における外来アクセスの良さは、病気の早期発見・早期治療に寄与している」として、受診時定額負担ではなく、所得の多寡に応じた負担を検討すべきとした。

予算に関する要望では、▽地域医療介護総合確保基金▽医療等分野専用のネットワークの整

備▽メディカルウイング(ドクタージェット)の導入支援▽より多くのワクチンの定期接種化一などへの十分な予算確保を盛り込んだ。

また、四病院団体協議会は税制改正要望として▽診療報酬等の非課税に伴う控除対象外消費税問題の解消▽事業税における社会保険診療報酬に対する非課税、自由診療収入等に対する軽減税率の恒久的な存続▽持分のある医療法人が持分のない医療法人に移行する際の移行税制の創設一などを求めた。

日本産婦人科医会からは、出産一時金として1分娩につき100万円の支給や、若い世代に対して出生数が1人増えるごとに消費税・所得税を5%減税するといった税制優遇策の検討も要望された。(平成28年10月25日)

## ■横倉会長が世界医師会次期会長に就任

台湾の台北市で開催されていた世界医師会台北総会において、10月22日、会長選挙が行われ、横倉義武会長が世界医師会次期会長に就任することになった。

当日は、複数の立候補者があったため選挙が行われ、横倉会長が世界医師会次期会長に選出された。今回選出されたことを受けて、横倉会長は、「世界医師会次期会長に指名されたことは日本医師会にとって大変名誉なことである」とした上で、「世界医師会の活動がより広く認知され、多くの成果がもたらされるよう今後とも努力していく」と述べた。

なお、横倉会長が世界医師会会長に就任するのは、2017年10月にアメリカのシカゴで行われる世界医師会シカゴ総会となる(任期は2017年10月～2018年10月までの1年間)。

(平成28年10月25日)

日医インターネットニュースは日本医師会ホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) > メンバーズ > 日医インターネットニュース

### メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザー ID : 会員ID番号(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード : 生年月日の「西暦2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字(半角)

## 薬事情報センターだより(354)

### 基礎的医薬品

平成27年9月4日、厚生労働省から「医薬品産業強化総合戦略～グローバル展開を見据えた創薬～」が公表されました。その基本理念の1つである「質の高い効率的な医療の実現」のために必要な施策を講ずることとされたもののなかに、基礎的医薬品の安定供給のための薬価上の措置がありました。

長期間にわたり医療現場で使用され、有効性、安全性プロファイルが明確な品目の内、臨床上の必要性が高く将来にわたり継続的に製造販売されることが求められる医薬品があります。しかし、長期間にわたり薬価収載されており、累次に渡る薬価改定を受け、価格水準が相対的に低くなっているものもあり、今後更に過度の価格下落が続けば、市場への継続的な供給を行うことが困難となることも予想されます。そのため、継続的な市場への安定供給を確保するため、最低薬価では供給の維持(製造設備の改修を含む)が困難な品目や以前に不採算品再算定を受けた品目も含め、基礎的医薬品の要件を明確にした上で、薬価上必要な措置などについて検討することとされました。その結果、現行の不採算品再算定、最低薬価になる前の薬価を下支えする制度として、平成28年度薬価制度改革において、基礎的医薬品が試行的に導入されました。

基礎的医薬品は、下記の要件全てを満たす医薬品を対象とし、年間販売額が最も大きい銘柄

に価格を集約して、その薬価を維持することとされました。

- イ 医療上の位置付けが確立し、広く臨床現場で使用されていることが明らかであること
- ロ 当該既収載品並びに組成及び剤形区分が同一である全ての類似薬のうち、薬価収載の日から25年を経過しているものがあること
- ハ 当該既収載品と組成及び剤形区分が同一である類似薬がある場合には、当該既収載品を含む類似薬の平均乖離率が、全ての既収載品の平均乖離率を超えないこと
- ニ 当該既収載品の市場実勢価格の薬価に対する乖離率が、全ての既収載品の平均乖離率を超えないこと

平成28年度薬価改定においては、過去に不採算品再算定が適用された有効成分を含有する既収載品、病原生物に対する医薬品及び医療用麻薬に限定され、134成分439品目(下表)が対象とされました。

#### 〈参考資料〉

薬価算定の基準について(平成28年2月10日保発0210第1号)

平成28年度診療報酬改定説明会(平成28年3月4日)資料

医薬品産業強化総合戦略～グローバル展開を見据えた創薬～

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

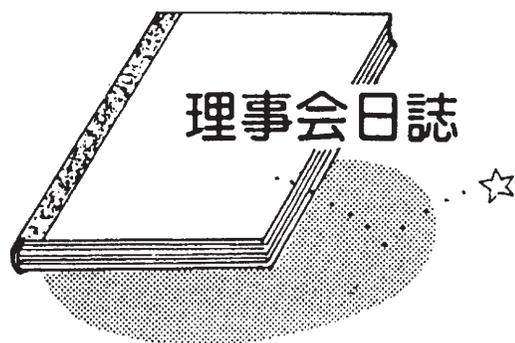
永井克史)

平成28年度薬価制度改革における基礎的医薬品対象品目

| 区分   | 成分数<br>(品目数) | 品目(例示)                                                    | 主な効能効果                                                               |
|------|--------------|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 病原生物 | 51(160)      | アモリン細粒<br>エプトール錠<br>レトロビルカプセル<br>アラセナーA点滴静注用              | 各種感染症<br>肺結核等<br>HIV感染症<br>単純ヘルペス脳炎等                                 |
| 麻薬   | 6(15)        | MSコンチン錠<br>モルヒネ塩酸塩注射液                                     | 激しい疼痛を伴う各種癌における鎮痛<br>激しい疼痛時における鎮痛・鎮静等                                |
| 不採算  | 77(264)      | フェニトイン散<br>チラーゼンS散<br>経口用エンドキサン原末<br>パム静注<br>ソルデム3輸液(維持液) | てんかんのけいれん発作<br>乳幼児甲状腺機能低下症<br>多発性骨髄腫等<br>有機リン剤の中毒<br>経口摂取不能な場合の水分補給等 |

※重複する場合には不採算として集計

医療勤務環境改善支援センターを



平成28年9月6日(火)第16回常任理事協議会

### 医師会関係 (議決事項)

#### 1. 10/1(土)(熊本)九州医師会連合会第358回常任委員会の提案事項について

第1回目の各種協議会と同日に開催される常任委員会で、提案事項等については、河野会長に一任することが承認された。

#### 2. 11/19(土)(熊本)九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会(11月19日(土))における横倉日医会長講演「中央情勢報告」への要望事項等について

横倉日医会長のご講演に対する質問事項等の照会で、締切りまで時間があることから、役員で要望事項等がある場合には事務局を経由して河野会長に届けることが承認された。

#### 3. 本会外の役員等の推薦について

##### ①宮崎県医療介護推進協議会委員の推薦について

→多職種協働により医療・介護を一体的に提供できる体制を構築することを目的に設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、河野会長及び富田副会長を推薦することが承認された。

#### 4. 平成28年度公衆衛生事業功労者表彰(厚生労働大臣表彰)候補者の推薦について

公衆衛生事業に関する功績により県知事

または日本公衆衛生協会会長等の表彰を受け、かつ健康増進、疾病予防、生活衛生、衛生教育等の諸事業における功績が顕著な方に贈られる表彰で、3名の先生を推薦することが承認された。

#### 5. 9/29(木)(JA-AZM)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導等の実施に係る立会いについて

4つの医療機関を対象に行われる新規の個別指導で、小牧常任理事を立会人として派遣することが承認された。

#### 6. 10/3(月)(県庁)社会保険医療担当者の監査の実施に係る立会いについて

1医療機関を対象に行われる監査で、担当役員で調整の上、立会人を派遣することが承認された。

#### 7. 平成29年度地域医療介護総合確保基金に係る事業提案(医療関係)について

県から「地域医療構想の達成に向けた事業(区分1)」の提出依頼があり、郡市医師会、専門分科医会、病院部会、精神科病院協会、有床診療所協議会に対して、9月末を締切りに照会することが承認された。また、同時に「病床機能等分化・連携促進基盤整備事業」の意向調査(募集)取りまとめを郡市医師会にお願いすることとなった。

#### 8. 11/26(土)(福岡)平成28年度九州学校検診協議会第2回専門委員会の開催について

本会から、高村常任理事・高木純一先生(心臓部門)、宮田純一先生(腎臓部門)、澤田浩武先生(小児生活習慣病部門)が出席することが承認された。

#### 9. 11/26(土)(福岡)九州各県医師会学校保健担当者会の開催について

九州学校検診協議会専門委員会に引き続き開催される担当理事者会で、高村常任理

事が出席することが承認された。

#### (報告事項)

1. 8月末日現在の会員数について
2. 8/31(水)(県庁)県立病院事業評価委員会について
3. 9/3(土)(県医)県医師会医学会について
4. 9/6(火)(県医)治験審査委員会について
5. 9/1(木)(JA-AZM)社会保険医療担当者の新規個別指導について
6. 9/5(月)(県医)在宅医療研修会企画小委員会について

#### 医師連盟関係

#### (議決事項)

1. 清山知憲後援会 法人賛助会員の口数追加について

清山知憲県議会議員を、今後も最重点候補として包括的に支援するために、後援会の口数(法人賛助会員1口年48,000円)を2口から10口に増やすことが承認された。

平成28年9月13日(火)第17回常任理事協議会

#### (議決事項)

1. 11/17(木)(福岡)医療安全に関するワークショップの開催について

医療機関の安全管理者の資質向上を図ることを目的に「施行一年の医療事故調査制度とこれからの医療安全」をテーマに開催されるワークショップで、濱田副会長が出席することが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎産業保健総合支援センター運営協議会委員の推薦について

→産業保健総合支援センターの効率的・効果的な運営のために設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き佐々木(幸)常任理事と川野理事

を推薦することが承認された。

②平成28年度文部科学省委託事業「地域包括ケアを担う医療・保健・福祉の多職種連携教育コーディネーター養成プログラム開発」事業における実行委員の推薦のお願いについて

→団塊の世代が後期高齢者になる2025年を見据え、地域包括ケアシステムの円滑な構築・運営に資する人材を養成することを目的に実施される事業で、金丸常任理事を推薦することが承認された。

3. 日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会から、医療IT委員会の委員に荒木常任理事を委嘱したいとの依頼があり、本会として了承することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

①11/17(木)・18(金)(福岡)「九州ホスピタルショー2016」後援名義使用のお願いについて

→明日の医療・介護・福祉のための基盤作りを促進することを目的に、医療機器、設備等の展示を中心に開催されるイベントで、名義後援を行うことが承認された。

②11/19(土)(宮崎市民文化ホール)平成28年度日本肝臓学会肝がん撲滅運動市民公開講座への後援のお願いについて

→ウイルス性肝炎及び肝がんを撲滅することを目的に「知っておきたい肝臓病の新知識」をテーマに開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

③H29.1/14(土)・15(日)第13回宮崎県作業療法学会の名義後援(ご依頼)について

→日本作業療法士協会設立50周年企画と合わせ「足跡～進化を興す作業療法道」をテーマに開催される学会で、名義後援を

行うことが承認された。

**(報告事項)**

1. 9/8(木)(宮崎市男女共同参画センターパレット)みやざき子育てサポートセンターサポート会員養成講座について
2. 9/9(金)(わらしべ)土曜会(報道機関支局長の会)との意見交換会について
3. 9/12(月)(県医)県糖尿病対策推進会議幹事会について
4. 9/10(土)(県医)産業医研修会(前期)について
5. その他
  - ・麻しん患者の発生状況について(情報提供)

**医師連盟関係**

**(議決事項)**

1. 10/8(土)(宮観ホテル)講演会・懇親会のご案内について
 

宮崎県出身の椎葉茂樹厚労省大臣官房審議官を講師に招き開催される講演会で、河野委員長及び富田常任執行委員が出席することが承認された。
2. 11/20(日)(都城)衆議院議員古川禎久第9回特別セミナーについて
 

「今後の社会保障制度について」と題し、前厚労大臣の田村慶久衆議院議員を講師に招き開催されるセミナーで、協力することが承認された。

**(報告事項)**

1. 9/7(水)(宮観ホテル)三師会懇談会について

平成28年9月20日(火)第18回常任理事協議会

**(議決事項)**

1. 本会外の役員等の推薦について
  - ①地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会の委員の推薦について
 

→地方公務員に対する災害補償の審査会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引

き続き吉田常任理事を推薦することが承認された。

- ②公務災害補償等認定委員会及び公務災害補償等審査会の委員の推薦について
 

→議会議員等の非常勤職員に対する災害補償の審査会等で、再任の方向で現職の意向を確認し了承が得られれば、認定委員会の委員に杜若幸子先生、審査会の委員に河野会長を推薦することが承認された。
2. 9/27(火)(県医)各都市医師会長協議会について

進行等の最終確認が行われ、都道府県医師会長協議会の報告に加え、地域医療介護総合確保基金関連を富田副会長、水銀血圧計等回収事業関連を立元常任理事が説明することとなった。また都城市北諸県郡医師会から提案される「県立病院の経営について」は、河野会長が回答することが承認された。

3. 宮崎大学医学部教授等と県医師会役員等との懇談会について
 

地域医療の諸問題について意見交換を行うための懇談会で、10月25日(火)に開催すること及び宮大学長をはじめとする大学関係者に案内することが承認された。
4. 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会について

11月8日(火)に開催することが決定し、その後のスケジュール確認が行われた。県に対する要望は各都市医師会及び役員からの意見を確認した上で、後日開催される全理事協議会等で再協議することが承認された。

5. 第116回九州医師会連合会総会における「宣言・決議(案)」について
 

九医連担当の熊本県医師会が作成した案

に対し、特に修正等の意見はなく、原案を承認することとなった。

#### 6. 10/13(木)(JA-AZM)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施に係る立会について

4 医療機関を対象に行われる個別指導で、嶋本理事を立会人として派遣することが承認された。

#### 7. 10/16(日)平成28年度宮崎県総合防災訓練の参加について

防災体制や大規模災害時の対応能力の向上を目的に開催される防災訓練で、関係機関に案内すると共に小牧・佐々木(幸)常任理事が参加することが承認された。

#### 8. 11/16(水)2016年度「首都直下地震を想定した衛星利用実証実験(防災訓練)」について

宇宙航空研究開発機構(JAXA)等の協力を得て、超高速インターネット衛星「きずな」を用いて実施される実証実験(防災訓練)で、各郡市医師会に案内すると共に本会でTV会議システムを使って参加することが承認された。

#### 9. 12/1(木)(日医)平成28年度都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会の開催について

日医医賠責保険の運営及び都道府県医師会の紛争対策等の報告が行われる協議会で、立元常任理事が出席することが承認された。

#### 10. 業務委託について

##### ①平成28年度救急医療施設医師研修事業の業務委託契約について

→救急医療を担当する医師の知識と技能向上を図ることを目的に、ICLS指導者養成ワークショップとACLS研修会等を開催する事業で、委託契約を締結することが承認された。

##### ②医療勤務環境改善支援センター事業に関する業務の委託契約について

→医師・看護師等の定着促進等を通じて医療安全に資することを目的に実施される事業で、契約を締結することが承認された。

##### ③平成28年度広域予防接種業務委託契約の変更について

→既に市町村と締結している平成28年度の契約について、予防接種法施行令等の改正に伴い、B型肝炎ワクチン(8,054円)の追加、変更等を行った上で、新たに契約の締結を依頼することが承認された。

##### ④平成28年度高齢者インフルエンザ定期予防接種に係る広域契約について

→県内の高齢者が当該市町村以外での予防接種が可能となるよう契約するもので、委託料4,224円から各市町村の自己負担額を除いた額、事務手数料予診票1件200円で、市町村に契約締結を依頼することが承認された。

#### (報告事項)

##### 1. 週間報告について

##### 2. 9/18(日)(佐土原)宮崎内視鏡外科アニマルラボセミナーについて

##### 3. 9/15(木)(県医)広報委員会について

##### 4. 9/17(土)(県医)人体シミュレーターを用いた在宅医療研修会について

#### 医師連盟関係

#### (議決事項)

##### 1. 9/24(土)(宮観ホテル)「山口那津男党代表との懇談会」のご案内について

公明党代表の山口那津男参議院議員が来県し開催される懇談会で、河野委員長が出席することが承認された。

**平成28年9月27日(火)第6回全理事協議会****医師会関係****(議決事項)****1. 地域医療介護総合確保基金(医療分)の平成28年度内示及び平成29年度の状況について**

各都市医師会と関係があることから、本日の各都市医師会長協議会で現在の状況と今後の見通しについて説明することが承認された。

**2. 10/16(日)(高鍋町)宮崎県総合防災訓練における死体検案訓練への参加依頼について**

南海トラフ巨大地震・津波を想定した防災訓練の中で行われる死体検案訓練で、県医師会から立元常任理事が出席すると共に児湯地区の県警察医会会員にも出席要請することが承認された。

**3. 日本医師会の委員会委員の委嘱について**

日本医師会から、医師会将来ビジョン委員会の委員に清山知憲先生、定款・諸規程検討委員会の委員に立元常任理事を委嘱したいとの依頼があり、本会として了承することが承認された。

**4. 10/29(土)(潤和リハビリテーション振興財団)第7回宮崎県訪問リハビリテーション実務者研修会の講師依頼について**

県の「地域づくりによる介護予防推進事業」の一環として開催される研修会で、石川常任理事に人選をお願いすることが承認された。

**5. 後援・共催名義等使用許可について**

11/27(日)(日向市中央公民館)第23回宮崎県理学療法学会の名義後援について

『「未来に繋ぐ」～専門性の追求～』をテーマに開催される学会で、名義後援を行うことが承認された。

**6. 会費減免申請について**

在籍20年以上で満80歳(県医)及び満83歳(日医)に達する高齢による会費減免1名が承認された。

**7. 10・11月の行事予定について**

10月の追加行事について確認が行われた。

**(報告事項)**

1. 9/14(水)(支払基金)支払基金幹事会について
2. 9/20(火)(日医)都道府県医師会長協議会について
3. 9/24(土)(滋賀)全医秘協常任委員会・定例総会・運営委員会について
4. 9/24(土)(宮崎東病院)医療事故調査制度(担当者養成)研修会について
5. 9/27(火)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
6. 9/27(火)(県庁)県准看護師試験問題調整委員会について
7. 9/24(土)・25(日)(日医)都道府県災害医療コーディネート研修について
8. 9/23(金)(県医)女性医師保育支援講座について
9. 9/23(金)(県医)広報委員会について
10. 9/24(土)(JA-AZM)県プライマリ・ケア研究会総会・研修会について
11. 9/24(土)(県医)園医部会総会・研修会について
12. 8/31(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について
13. 8/31(水)(県医)県口コモティブシンドローム対策協議会について
14. 9/15(木)(JA-AZM)社会保険医療担当者の集団的個別指導について
15. 9/24(土)(県医)県有床診療所協議会総会・講演会について
16. 9/21(水)(日医)都道府県医師会JMAT担当理事連絡協議会について

17. 9/23(金)(宮大医学部)宮大医学部医の倫理委員会について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会  
(報告事項)

1. 9/20(火)(県医)医協理事会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 10/6(木)(JA-AZM)太田前国土交通大臣講演会・意見交換会の開催について

本県における幅広い社会資本の早期整備の実現に向けた機運醸成を目的に開催される企画で、意見交換会に河野委員長が出席すると共に、講演会への参加を希望する役員は事務局に申し出ることが承認された。

(報告事項)

1. 9/24(土)(宮観ホテル)山口那津男公明党代表との懇談会について

10月のベストセラー(宮崎県)

集計：2016年10月1日～10月25日

|    |                                  |           |          |
|----|----------------------------------|-----------|----------|
| 1  | 小説君の名は。                          | 新 海 誠     | KADOKAWA |
| 2  | 九十歳。何がめでたい                       | 佐 藤 愛 子   | 小 学 館    |
| 3  | どんなに体がかたい人でもベターッと開脚できるようになるすごい方法 | E i k o   | サンマーク出版  |
| 4  | 流鶯                               | 佐 伯 泰 英   | 光 文 社    |
| 5  | 鋼のメンタル                           | 百 田 尚 樹   | 新 潮 社    |
| 6  | 成功している人は、なぜ神社に行くのか?              | 八 木 龍 平   | サンマーク出版  |
| 7  | コンビニ人間                           | 村 田 沙 耶 香 | 文 藝 春 秋  |
| 8  | はじめての人のための3000円投資生活              | 横 山 光 昭   | ア ス コ ム  |
| 9  | 女のいない男たち                         | 村 上 春 樹   | 文 藝 春 秋  |
| 10 | 君の臍臓をたべたい                        | 住 野 よ る   | 双 葉 社    |

明林堂書店調べ 提供：本郷店(宮崎市大字本郷北方) ☎(0985)56-0868

あなたできますか?(解答)

|   |   |   |      |   |   |   |   |      |    |
|---|---|---|------|---|---|---|---|------|----|
| 1 | 2 | 3 | 4    | 5 | 6 | 7 | 8 | 9    | 10 |
| e | e | b | c, e | d | d | b | c | a, e | a  |

# 県 医 の 動 き

(10月)

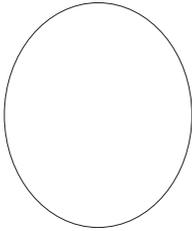
|    |                                                                                                                                                                        |    |                                                                                                    |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 県警察医会総会・学術講演会<br>(熊本)九医連常任委員会(会長)<br>(熊本)九医連第1回各種協議会(富田副会長他)<br>(熊本)各種協議会報告会(会長他)                                                                                      | 17 | 感染症対策に関する宮崎行政評価事務局ヒアリング(高村常任理事他)                                                                   |
| 3  | みやざき愛の献血運動推進県民大会(会長)<br>(日医)日医医療秘書認定試験委員会<br>(富田副会長)<br>宮大医学部5年生未来の医療を語る全員交流会<br>(会長他)<br>在宅医療研修会企画小委員会(石川常任理事)                                                        | 18 | 地域医療における働きやすい環境を考える会<br>学生向けセミナー(荒木常任理事他)<br>医協打合せ会(立元副理事長)<br>第21回常任理事協議会(会長他)                    |
| 4  | 治験審査委員会(富田副会長他)<br>第19回常任理事協議会(会長他)                                                                                                                                    | 19 | (福岡)九州地方社会保険医療協議会総会<br>(富田副会長)<br>宮崎市郡医師会10月例会並びにしのめ医学会<br>特別講演会(会長)                               |
| 5  | (日医)日医社会保険指導者講習会<br>女性医師保育支援講座(荒木常任理事他)                                                                                                                                | 20 | 自殺対策うつ病研修会(TV会議)(会長他)<br>医療現場のワークライフバランスセミナー<br>医師国保組合理事会(秦理事長他)                                   |
| 6  | (日医)日医社会保険指導者講習会<br>小児救急医療電話相談事業運営協議会<br>(高村常任理事他)<br>太田前国土交通大臣意見交換会(河野委員長)<br>県産婦人科医会献金委員会(濱田副会長)                                                                     | 21 | 県総合計画審議会及び県地方創生推進懇話会<br>(会長)<br>県訪問看護ステーション連絡協議会役員会<br>(池井常任理事)<br>県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会<br>(金丸常任理事) |
| 7  | 健康スポーツ医学委員会(会長他)                                                                                                                                                       | 22 | 保育支援事業全体顔合わせ会(荒木常任理事他)<br>県整形外科医会自賠責研修会(川野理事)<br>(沖縄)九州医師協同組合連合会通常総会<br>(富田理事長)                    |
| 8  | (都城ウェルネスプラザ)アイバンクサポーター<br>講習会人体シミュレータを用いた在宅医療研<br>修会<br>養護教諭のための性教育研修会(濱田副会長)<br>椎葉茂樹厚生労働省審議官講演会<br>(河野委員長他)<br>(福岡)eレジフェア(金丸常任理事)                                     | 23 | (沖縄)九州医師協同組合連合会通常総会<br>(富田理事長)<br>(都城)医師クラーク育成・スキルアップ研修会                                           |
| 11 | 県社会福祉審議会児童福祉専門分科会(会長)<br>第20回常任理事協議会(会長他)                                                                                                                              | 24 | 県医療審議会(会長)<br>広報委員会(荒木常任理事他)<br>県内科医会学術委員会(小牧常任理事)<br>医師会立看護学校担当理事連絡協議会(会長他)                       |
| 12 | 宮大医学部医の倫理委員会(※数理事)<br>支払基金幹事会(会長)                                                                                                                                      | 25 | 医協理事会(富田理事長他)<br>第7回全理事協議会(会長他)<br>医協理事・運営委員合同協議会(会長他)<br>宮崎大学医学部教授等と県医師会役員等との懇<br>談会(会長他)         |
| 13 | (日医)産業保健活動推進全国会議<br>(佐々木常任理事)<br>社会保険医療担当者の個別指導(嶋本理事)<br>(日医)日医医療情報システム協議会運営委員<br>会(富田副会長)<br>各都市医師会医療廃棄物担当理事連絡協議会<br>(水銀血圧計等回収事業に係る業者説明会)<br>(立元常任理事)<br>県産婦人科医会常任理事会 | 26 | 労災診療指導委員会<br>県ロコモティブシンドローム対策協議会<br>(川野理事他)                                                         |
| 14 | (山梨)全国医師国保組合連合会代表者会・全体<br>協議会(秦理事長他)<br>医療機関経営セミナー(会長他)                                                                                                                | 27 | 社会保険医療担当者の個別指導(立元常任理事)<br>(日医)日医医療秘書認定試験委員会<br>(富田副会長)                                             |
| 15 | 在宅医療研修会企画委員会(石川常任理事)<br>宮崎の地域医療を考えるつどい<br>(池井常任理事)                                                                                                                     | 28 | 地域医療現場における働きやすい環境を考える<br>会検討会(荒木常任理事)<br>九州地方社会保険医療協議会宮崎部会<br>(濱田副会長)<br>治験セミナー(TV会議)              |
| 16 | (県内各会場)県総合防災訓練<br>(小牧常任理事他)<br>(高鍋町)県総合防災訓練における死体検案訓<br>練(立元常任理事)<br>県小児科医会役員会(※数理事)<br>県小児科医会秋季講演会(※数理事)<br>(東京)東京都医師会新会館内覧会及び落成記念<br>祝賀会(会長)                         | 29 | ICLS指導者養成ワークショップ<br>(北海道)全国学校保健・学校医大会<br>(高村常任理事)<br>産業医研修会(実地)(佐々木常任理事)                           |
| 17 | 県がん診療連携協議会(会長)<br>市町村との妊婦健康診査に関する打合せ会<br>(濱田副会長)<br>広報委員会(富田副会長他)                                                                                                      | 30 | ACLS研修会                                                                                            |
|    |                                                                                                                                                                        | 31 | 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事<br>会(金丸常任理事)<br>県産業保健連絡協議会等(濱田副会長他)<br>県内科医会会誌編集委員会(小牧常任理事)                  |

## ニューメンバー

新入会員と新規開業会員をご紹介します。

延岡市  
大崎整形外科

そめ や しん すけ  
染 矢 晋 佑



住 所

延岡市

専門科目

整形外科

膝関節外科

日本体育協会スポーツ

ドクター

略 歴

平成8年 県立延岡西高校卒業

平成14年 佐賀大学医学部卒業

同 年 佐賀大学医学部整形外科

入局

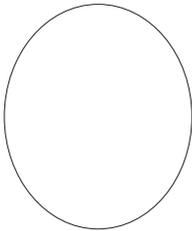
平成28年 大崎整形外科副院長

自己紹介

平成28年4月より延岡市の大崎整形外科に就職し勤務しております。佐賀大学整形外科では変形性膝関節症に対する骨切り術や人工関節置換術を経験しましたので、当院でも行わせていただいております。またスポーツに関しての診療なども積極的に取り組んでいきたいです。地域の皆様により良い医療を提供できるよう頑張ります。今後ともよろしくお願ひします。

都城市  
豊栄クリニック

やま だ たつ お  
山 田 達 夫



住 所

都城市

専門科目

神経内科, 内科

精神科

略 歴

山梨県出身

昭和49年 東京医科歯科大学医学部  
卒業

昭和53年 千葉大学 神経内科

平成9年 福岡大学医学部神経内科  
学教室教授

平成25年 順天堂大学医学部客員  
教授

平成28年 豊栄クリニック認知症  
(物忘れ) 専門外来常勤  
担当医・医学博士

自己紹介

認知症やパーキンソン病の治療・研究を専門とし、TV番組「たけしの健康エンターテイメント! みんなの家庭の医学」や「ためしてガッテン」又、「夢の扉+」、新聞等多数のメディアにも登場しています。

## ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成28年10月14日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報がよせられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

## 1. 求職者登録数 4人

## 1) 男性医師求職登録数 3人 (人)

| 希望診療科目 | 求職数 | 常勤 | 非常勤 |
|--------|-----|----|-----|
| 内科     | 1   | 0  | 1   |
| 老健     | 2   | 1  | 1   |

## 2) 女性医師求職登録数 1人 (人)

| 希望診療科目 | 求職数 | 常勤 | 非常勤 |
|--------|-----|----|-----|
| 検診     | 1   | 0  | 1   |

## 2. 斡旋成立件数 54人 (人)

|            | 男性医師 | 女性医師 | 合計 |
|------------|------|------|----|
| 平成28年度     | 3    | 0    | 3  |
| 平成16年度から累計 | 40   | 14   | 54 |

## 3. 求人登録 95件 330人 (人)

| 募集診療科目     | 求人数 | 常勤  | 非常勤 |
|------------|-----|-----|-----|
| 内科         | 118 | 88  | 30  |
| 外科         | 28  | 24  | 4   |
| 整形外科       | 25  | 22  | 3   |
| 精神科        | 18  | 16  | 2   |
| 循環器科       | 7   | 6   | 1   |
| 脳神経外科      | 12  | 9   | 3   |
| 消化器内科      | 11  | 9   | 2   |
| 麻酔科        | 10  | 8   | 2   |
| 眼科         | 6   | 5   | 1   |
| 放射線科       | 10  | 9   | 1   |
| 小児科        | 1   | 0   | 1   |
| 呼吸器内科      | 11  | 10  | 1   |
| リハビリテーション科 | 5   | 4   | 1   |
| 総合診療科・内科   | 7   | 6   | 1   |
| 神経内科       | 7   | 6   | 1   |
| 救命救急科      | 7   | 7   | 0   |
| 健診         | 3   | 1   | 2   |
| 産婦人科       | 1   | 1   | 0   |
| 泌尿器科       | 1   | 0   | 1   |
| 検診         | 4   | 2   | 2   |
| 皮膚科        | 3   | 2   | 1   |
| 人工透析       | 4   | 4   | 0   |
| 在宅担当医      | 1   | 1   | 0   |
| その他        | 30  | 26  | 4   |
| 合計         | 330 | 266 | 64  |

## 求 人 登 録 者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

| 登録番号   | 施設名                        | 所在地 | 募集診療科                                 | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|----------------------------|-----|---------------------------------------|-----|--------|
| 160011 | 赤十字センター                    | 宮崎市 | 検診                                    | 3   | 常勤・非常勤 |
| 160013 | (医)三晴会 金丸脳神経外科病院           | 宮崎市 | 脳外, 整, 放, 麻, 内                        | 10  | 常勤・非常勤 |
| 160017 | (医)プレストピア プレストピア宮崎病院       | 宮崎市 | 乳外, 放, 内, 麻                           | 3   | 常勤     |
| 160020 | (財)弘潤会 野崎病院                | 宮崎市 | 精, 内                                  | 2   | 常勤     |
| 160031 | (社医)同心会 古賀総合病院             | 宮崎市 | 呼, 神内, 眼, 総診, 呼外, 臨病,<br>乳外, 整外, 麻酔   | 11  | 常勤     |
| 160033 | (医)如月会 若草病院                | 宮崎市 | 精                                     | 2   | 常勤     |
| 170046 | (医)社団善仁会 市民の森病院            | 宮崎市 | 消内, 内分泌内, 呼内,<br>リウマチ, 神経内, 健診        | 6   | 常勤・非常勤 |
| 170048 | (医)慶明会 けいめい記念病院            | 国富町 | 内, 放, 在宅医療                            | 3   | 常勤     |
| 180082 | 国立病院機構宮崎東病院                | 宮崎市 | 内, 神内, 整, 消内                          | 5   | 常勤     |
| 190087 | 宮崎市郡医師会病院                  | 宮崎市 | 内(緩和ケア), 消内, 呼内,<br>総診                | 8   | 常勤     |
| 190094 | (医)耕和会 迫田病院                | 宮崎市 | 総内, 内視鏡                               | 6   | 常勤・非常勤 |
| 190095 | (医)慶明会 宮崎中央眼科病院            | 宮崎市 | 眼                                     | 1   | 常勤     |
| 200104 | (医)社団善仁会 宮崎善仁会病院           | 宮崎市 | 内, 外, 救急, 呼外, 婦人, 整,<br>麻             | 7   | 常勤     |
| 200105 | (医)誠友会 南部病院                | 宮崎市 | 内, 外, 放                               | 3   | 常勤     |
| 210110 | (医)幸秀会 大江整形外科病院            | 宮崎市 | 整                                     | 1   | 常勤     |
| 210118 | 慈英病院                       | 宮崎市 | 内, 整, リハビリ                            | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230128 | (医)真愛会 高宮病院                | 宮崎市 | 内, 精                                  | 2   | 常勤     |
| 230132 | (医)康友会 青島クリニック             | 宮崎市 | 内                                     | 1   | 常勤     |
| 230134 | (医)慈光会 宮崎若久病院              | 宮崎市 | 精                                     | 1   | 常勤     |
| 230139 | 介護老人保健施設サンフローラみやざき         | 国富町 | 内, 外                                  | 2   | 常勤     |
| 230143 | (医)社団孝尋会 上田脳神経外科           | 宮崎市 | 脳外, 内                                 | 2   | 常勤     |
| 230144 | 宮崎生協病院                     | 宮崎市 | 総内, 呼内, 消化器内, 健診                      | 8   | 常勤・非常勤 |
| 230146 | (財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院 | 宮崎市 | 内, 神内, 外, 整外, 脳外,<br>リハ, 麻酔, 救急, 緩和ケア | 10  | 常勤     |
| 230148 | (医)コムロ美容外科                 | 宮崎市 | 美外, 形成外, 外, 麻酔                        | 8   | 常勤・非常勤 |
| 230161 | (医)健心会 滝口内科病院              | 宮崎市 | 内                                     | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230164 | 宮崎県保健所                     | 宮崎市 | 公衆衛生                                  | 3   | 常勤     |
| 230165 | 野崎病院健診センター                 | 宮崎市 | 健診                                    | 1   | 非常勤    |
| 230171 | (医)いなほ会 日高病院               | 宮崎市 | 内                                     | 1   | 非常勤    |
| 230174 | (医)常聖会 巴外科内科               | 宮崎市 | 内                                     | 1   | 非常勤    |
| 230175 | 社会福祉法人 キャンパスの会             | 宮崎市 | 内, 小, 整                               | 1   | 常勤     |
| 230177 | (医)社団尚成会 近間病院              | 宮崎市 | 内, 消内, 消外, 放(いずれか)                    | 1   | 常勤・非常勤 |
| 230178 | 介護老人保健施設 むつみ苑              | 宮崎市 | 内                                     | 1   | 常勤     |
| 230180 | (一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院     | 宮崎市 | 内, 糖内, 呼内, 血内                         | 4   | 常勤     |
| 160008 | (医)正立会 黒松病院                | 都城市 | 泌                                     | 1   | 非常勤    |
| 160010 | (徳医)敬和会 戸嶋病院               | 都城市 | 内, 消内, 整, 神内                          | 7   | 常勤・非常勤 |
| 160018 | (医)宏仁会 メディカルシティ東部病院        | 都城市 | 内, 救急, 放射, 脳外, 外,<br>眼, 透内, 皮膚        | 8   | 常勤     |
| 170057 | (医)清陵会 隅病院                 | 都城市 | 内, 外, 整                               | 3   | 常勤     |
| 180064 | 国立病院機構都城医療センター             | 都城市 | 内, 呼内, 総診                             | 4   | 常勤     |
| 180081 | (医)恵心会 永田病院                | 都城市 | 精                                     | 1   | 常勤     |
| 190092 | 都城市郡医師会病院                  | 都城市 | 内, 呼内                                 | 6   | 常勤     |
| 210114 | 藤元病院                       | 都城市 | 精, 内                                  | 3   | 常勤     |
| 230127 | (医)倫生会 三州病院                | 都城市 | 外, 内, 整                               | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230133 | 介護老人保健施設すこやか苑              | 都城市 | 不問                                    | 1   | 常勤     |

| 登録番号   | 施設名                    | 所在地   | 募集診療科                          | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|------------------------|-------|--------------------------------|-----|--------|
| 230137 | 医) 宏仁会 海老原内科           | 都 城 市 | 内                              | 1   | 常勤     |
| 230142 | 医) 魁成会 宮永病院            | 都 城 市 | 内, リハビリ                        | 2   | 常勤     |
| 230153 | 都城健康サービスセンター           | 都 城 市 | 内                              | 1   | 非常勤    |
| 230157 | 医) 一誠会 都城新生病院          | 都 城 市 | 精, 内                           | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230162 | 藤元総合病院                 | 都 城 市 | 内, 透, 循内, 救急, 放射,<br>病理, 呼内, 精 | 16  | 常勤     |
| 230172 | 医) 静雄会 藤元上町病院          | 都 城 市 | 内                              | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230176 | 一社) 藤元メディカルシステムグリーンホーム | 三 股 町 | 内                              | 1   | 常勤     |
| 230179 | 医) 与州会 柳田クリニック         | 都 城 市 | 外                              | 1   | 非常勤    |
| 230181 | 介護老人保健施設 はまゆう          | 三 股 町 | 内                              | 1   | 常勤     |
| 160012 | 医) 伸和会 共立病院            | 延 岡 市 | 外, 整, 放, 内                     | 6   | 常勤     |
| 160021 | 医) 建悠会 吉田病院            | 延 岡 市 | 精                              | 3   | 常勤・非常勤 |
| 160034 | 特医) 健寿会 黒木病院           | 延 岡 市 | 外, 内, 緩和ケア                     | 6   | 常勤・非常勤 |
| 190086 | 早田病院                   | 延 岡 市 | 内                              | 1   | 常勤     |
| 200100 | 医) 育生会 井上病院            | 延 岡 市 | 産婦, 内                          | 2   | 常勤     |
| 200102 | 延岡市医師会病院               | 延 岡 市 | 消内, 消外, 内                      | 5   | 常勤     |
| 210109 | 延岡市夜間急病センター            | 延 岡 市 | 内, 小                           | 2   | 非常勤    |
| 230151 | 介護老人保健施設エクセルライフ        | 延 岡 市 | 内                              | 1   | 常勤     |
| 230156 | 医) 中心会 野村病院            | 延 岡 市 | 内, 外                           | 2   | 常勤     |
| 230163 | 堺胃腸科内科クリニック            | 延 岡 市 | 内                              | 1   | 非常勤    |
| 160039 | 医) 誠和会 和田病院            | 日 向 市 | 外, 内, 整, 神内                    | 6   | 常勤     |
| 210111 | 宮崎県済生会 日向病院            | 門 川 町 | 内                              | 3   | 常勤     |
| 230147 | 美郷町国民健康保険西郷病院          | 美 郷 町 | 内, 整                           | 2   | 常勤     |
| 230152 | 美郷町国民健康保険南郷診療所         | 美 郷 町 | 内                              | 1   | 常勤     |
| 230160 | 日向市立東郷病院               | 日 向 市 | 内, 整                           | 2   | 常勤     |
| 160006 | 都農町国保病院                | 都 農 町 | 内, 放, 外                        | 3   | 常勤     |
| 160023 | 医) 宏仁会 海老原総合病院         | 高 鍋 町 | 整, 内, 総診, 麻, 眼, 健診,<br>循, 脳    | 10  | 常勤・非常勤 |
| 230170 | 介護老人保健施設なでしこ園          | 高 鍋 町 | 内                              | 1   | 常勤     |
| 160024 | 医) 隆徳会 鶴田病院            | 西 都 市 | 内, 外                           | 2   | 常勤     |
| 150002 | 医) 慶明会 おび中央病院          | 日 南 市 | 内, 外, 整                        | 4   | 常勤・非常勤 |
| 150003 | 医) 同仁会 谷口病院            | 日 南 市 | 内                              | 1   | 非常勤    |
| 160022 | 医) 愛鍼会 山元病院            | 日 南 市 | 内                              | 2   | 常勤     |
| 160037 | 医) 十善会 県南病院            | 串 間 市 | 精, 内(いずれか)                     | 1   | 常勤     |
| 170047 | 日南市立中部病院               | 日 南 市 | 内, 外, 整, リハビリ, 在宅医療            | 5   | 常勤     |
| 180071 | 串間市民病院                 | 串 間 市 | 内, 外                           | 2   | 常勤     |
| 230138 | 小玉共立外科                 | 日 南 市 | 不問                             | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230149 | 介護老人保健施設おびの里           | 日 南 市 | 内                              | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230166 | 医) 秀英会 英病院             | 串 間 市 | 内                              | 1   | 常勤     |
| 230168 | 医) 月陽会 きよひで内科クリニック     | 日 南 市 | 内                              | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230182 | 串間市市木診療所               | 串 間 市 | 総診, 内(いずれか)                    | 1   | 常勤     |
| 160019 | 医) 相愛会 桑原記念病院          | 小 林 市 | 内, 皮膚                          | 4   | 常勤・非常勤 |
| 170043 | 医) 和芳会 小林中央眼科          | 小 林 市 | 眼                              | 2   | 常勤・非常勤 |
| 180067 | 小林市立病院                 | 小 林 市 | 救急, 総診, 放                      | 5   | 常勤     |
| 180076 | 医) 友愛会 園田病院            | 小 林 市 | 外, 循内, 整, 脳外                   | 9   | 常勤・非常勤 |
| 190090 | 特医) 浩然会 内村病院           | 小 林 市 | 精, 内                           | 3   | 常勤     |
| 190091 | 医) 友愛会 野尻中央病院          | 小 林 市 | 整, 内                           | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230155 | 医) 三和会 池田病院            | 小 林 市 | 脳外, 内, 放射, 外, リハビリ             | 6   | 常勤・非常勤 |
| 230167 | 介護老人保健施設さわやかセンター       | 小 林 市 | 内                              | 1   | 非常勤    |
| 230169 | 医) 連理会 和田クリニック         | 小 林 市 | 内                              | 2   | 常勤     |
| 230173 | 医) 高千穂会 大森内科           | 小 林 市 | 内                              | 2   | 常勤・非常勤 |
| 170049 | 五ヶ瀬町国民健康保険病院           | 五ヶ瀬町  | 内, 外                           | 2   | 常勤     |
| 180070 | 高千穂町国保病院               | 高千穂町  | 内, 透                           | 3   | 常勤     |
| 190088 | 日之影町国保病院               | 日之影町  | 内, 整                           | 1   | 常勤     |

## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成28年10月14日現在

|                 |                                                                                                                                                  |                                      |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 譲渡物件         | ①宮崎市阿波岐ヶ原町前田 2633番，2634番<br>土地のみ：2022.17㎡(593.57坪)                                                                                               | 所有者：児湯医師会員<br>(医) 崧雲会 林クリニック         |
|                 | ②西都市中央町2丁目6番地<br>土地：2,280.83㎡(691.16坪)<br>建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建<br>1階 674.74㎡ }<br>2階 547.79㎡ } 1,400.48㎡(424.38坪)<br>3階 177.95㎡ }<br>※別途駐車場あり(20台) | 所有者：西都市西児湯医師会員<br>函師医院跡              |
| 2. 譲渡又は<br>賃貸物件 | ①小林市南西方49番地1<br>土地：1,991.34㎡(603.43坪)<br>建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建<br>1階 471.41㎡ }<br>2階 638.35㎡ } 1,109.76㎡(336.29坪)<br>※駐車場あり(30台)                    | 所有者：西諸医師会員<br>(医) 社団 産婦人科<br>生駒クリニック |
|                 | ②日向市鶴町2丁目9番15号<br>土地：792㎡(240坪)<br>建物：RC造 鉄骨造<br>1階 237.49㎡ }<br>2階 338.25㎡ } 913.99㎡(276.96坪)<br>3階 338.25㎡ }<br>※別途駐車場あり(10台)                  | 所有者：日向市東臼杵郡医師会員<br>三ヶ尻整形外科跡          |

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

#### お問合せ先 ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)  
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179  
E-mail: isikyouto@miyazaki.med.or.jp

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

### 宮崎県医師会広報委員会

E-Mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、

裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX: 0985-27-6550

き  
り  
と  
り  
せ  
ん

お名前：

ご所属：

T E L :

F A X :

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成28年10月25日

| 11 |   | 月                                                                                                      |      |                                                                                                                                                                  |                  |
|----|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 1  | 火 | 13:00 (日医)日医設立記念医学大会<br>18:00 治験審査委員会<br>19:00 第22回常任理事協議会                                             | 16 水 | 13:30 県障害者施策推進協議会<br>14:00 首都直下地震を想定した衛星利用実証実験(防災訓練)(TV会議)                                                                                                       |                  |
| 2  | 水 | 13:00 厚労省療養費検討専門委員会<br>19:00 日医社保指導者講習会復講<br>(TV会議)<br>19:00 九州プライマリ・ケア功労賞検討会議                         | 17 木 | 9:20 九州・沖縄地区医療安全に関するワークショップ<br>15:00 (日医)日医予防接種・感染症危機管理対策委員会<br>18:30 医協会計監査                                                                                     |                  |
| 3  | 木 | (文化の日)<br>8:30 県医親善ゴルフ大会<br>9:00 滋賀県在宅医療セミナー<br>10:00 医師クランク育成・スキルアップ研修会                               | 18 金 | 16:00 九医連常任委員会<br>17:00 九医連臨時委員総会                                                                                                                                | ↑                |
| 4  | 金 | 14:00 (日医)日医勤務医委員会<br>15:00 (日医)日医救急災害医療対策委員会<br>18:30 宮崎銀行との懇親会<br>19:00 認知症サポート医フォローアップ研修会(TV会議)     | 19 土 | 10:00 九医連委員・九州各県役員合同協議会<br>13:00 九州医師会総会・医学会                                                                                                                     | 国                |
| 5  | 土 | 14:00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会<br>16:00 県整形外科医会研修会<br>16:30 全国医師協同組合連合会通常総会                                 | 20 日 | 9:00 九医学分科会・記念行事<br>県災害医療コーディネーター研修<br>10:00 医師クランク育成・スキルアップ研修会                                                                                                  | 保<br>審<br>査      |
| 6  | 日 | 14:00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会<br>16:00 県整形外科医会研修会<br>16:30 全国医師協同組合連合会通常総会                                 | 21 月 | 19:00 広報委員会<br>19:00 介護保険委員会                                                                                                                                     | ↓                |
| 7  | 月 | 13:30 県防災会議国土強靱化部会<br>19:00 健康教育委員会                                                                    | 22 火 | 18:30 福岡・佐賀両県医師会長との協議懇談会                                                                                                                                         | ↓                |
| 8  | 火 | 13:30 県地方独立行政法人評価委員会<br>18:30 第8回全理事協議会<br>19:20 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会                                | 23 水 | (勤労感謝の日)<br>10:00 医師クランク育成・スキルアップ研修会                                                                                                                             |                  |
| 9  | 水 | 15:00 九医連感染症対策協議会<br>16:00 九医連常任委員会<br>18:00 世界医師会one health国際会議                                       | 24 木 | 13:30 宮大経営協議会・学長選考会議<br>15:00 (日医)日医医療IT委員会<br>19:00 医協打合せ                                                                                                       | ↑                |
| 10 | 木 | 9:00 世界医師会one health国際会議<br>13:30 県保険者協議会<br>14:00 県自殺対策推進協議会<br>19:00 地域医療構想委員会<br>19:30 県産婦人科医会常任理事会 | 25   | 8:20 県産婦人科医会ALSO研修会<br>10:00 全国医師会勤務医部会連絡協議会<br>13:30 県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会<br>15:00 九州学校検診協議会専門委員会<br>16:30 宮崎県歯科医師会創立100周年記念式典・祝賀会<br>17:00 九州各県医師会学校保健担当理事者会 | 社<br>保<br>審<br>査 |
| 11 | 金 | 8:00 世界医師会one health国際会議<br>19:00 県外科医会秋期講演会                                                           | 26 土 | 8:00 県産婦人科医会ALSO研修会                                                                                                                                              | ↑                |
| 12 | 土 | 12:45 日本産婦人科医会学術集会<br>14:30 産業医研修会(TV会議)<br>16:00 病院部会・医療法人部会合同研修会                                     | 27 日 | 14:00 宮大医学部医の倫理委員会<br>18:00 河野知事と県経済団体協議会との懇談会                                                                                                                   | ↓                |
| 13 | 日 | 8:00 日本産婦人科医会学術集会<br>13:30 世界糖尿病デー市民公開講座                                                               | 28 月 | 19:00 医療従事者向け認知症対応力向上研修会(TV会議)                                                                                                                                   | ↓                |
| 14 | 月 | 19:00 医療安全対策セミナー(TV会議)<br>19:00 広報委員会                                                                  | 29 火 | 18:00 九州地方社会保険医療協議会<br>宮崎部会<br>医協理事會<br>18:30 第9回全理事協議会<br>終了後 医協理事・運営委員合同協議会<br>19:20 各郡市医師会長協議会                                                                | ↓                |
| 15 | 火 | 15:00 (日医)都道府県医師会長協議会<br>19:00 第23回常任理事協議会                                                             | 30 水 | 15:00 労災診療指導委員会                                                                                                                                                  | ↓                |

※都合により、変更になることがあります。  
行事予定は県医師会のホームページからもご覧いただけます。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成28年10月25日

| 12 |   | 月                                                  |      |                                                             |                             |
|----|---|----------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 1  | 木 | 13:30 (日医)都道府県医師会医事紛争<br>担当理事連絡協議会                 | 14 水 | 16:00 支払基金幹事会<br>18:00 県がん対策審議会                             |                             |
|    |   | 19:00 生活習慣病検診従事者研修会<br>(肺・乳・胃・大腸がん検診研修<br>会)(TV会議) | 15 木 | 19:00 感染症危機管理研修会(TV会議)                                      |                             |
| 2  | 金 | 14:00 (日医)大学医学部・医学会女性<br>医師支援担当者連絡会                | 16 金 |                                                             |                             |
|    |   | 19:00 県医中間監事監査                                     | 17 土 | 9:00 指導医のための教育ワーク<br>ショップ<br>14:00 女性医師支援センター事業<br>九州ブロック会議 |                             |
| 3  | 土 |                                                    |      | 国<br>社<br>保<br>審<br>査                                       |                             |
| 4  | 日 | 9:01 宮崎銀行ゴルフコンペ                                    | 18 日 |                                                             | 8:00 指導医のための教育ワーク<br>ショップ   |
| 5  | 月 | 19:00 生活習慣病検診従事者研修会<br>(肺・乳・胃・大腸がん検診研修<br>会)(TV会議) | 19 月 |                                                             |                             |
|    |   | 19:00 広報委員会                                        | 20 火 |                                                             | 19:00 第10回全理事協議会            |
| 6  | 火 | 18:00 治験審査委員会                                      | 21 水 |                                                             | 15:00 労災診療指導委員会             |
|    |   | 19:00 第24回常任理事協議会                                  | 22 木 |                                                             |                             |
| 7  | 水 | 15:00 (日医)日医医療秘書認定試験委<br>員会                        | 23 金 |                                                             | (天皇誕生日)                     |
| 8  | 木 | 19:00 女性医師委員会                                      | 24 土 |                                                             |                             |
| 9  | 金 |                                                    | 25 日 |                                                             |                             |
|    |   | 15:00 生活習慣病検診従事者研修会<br>(肺・乳・胃・大腸がん検診研修<br>会)(TV会議) | 26 月 |                                                             | 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮<br>崎部会 |
| 10 | 土 | 18:00 県産婦人科医会全理事会                                  | 27 火 | 19:00 第26回常任理事協議会                                           |                             |
|    |   |                                                    | 28 水 |                                                             |                             |
| 11 | 日 |                                                    | 29 木 | (年末休業)                                                      |                             |
|    |   |                                                    | 30 金 | (年末休業)                                                      |                             |
| 12 | 月 |                                                    | 31 土 | (年末休業)                                                      |                             |
|    |   |                                                    |      |                                                             |                             |
| 13 | 火 | 13:00 「自信をもって取り組める医薬品<br>の教育」研修会開会式                |      |                                                             |                             |
|    |   | 19:00 第25回常任理事協議会                                  |      |                                                             |                             |

※都合により、変更になることがあります。  
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日 本 医 師 会 生 涯 教 育 講 座 認 定 学 会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会（胃・大腸・肺・乳）

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

| 名称・日時・場所                                                    | 演 題                                                                       | CC<br>(単位)<br>がん検診                                                  | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                           |
|-------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>11月2日(水)<br>19:00～21:00<br>県医師会館        | 企業における受動喫煙防止対策<br>産業保健相談員・宮崎県立看護大学教授<br>江藤 敏治<br><br>生涯研修の専門研修会：2単位       | 9<br>(0.5)<br><br>11<br>(0.5)<br><br>12<br>(0.5)<br><br>82<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                                      |
| 延岡医学会学術講<br>演会<br>11月2日(水)<br>19:00～20:30<br>ホテルメリージュ<br>延岡 | 喘息治療の実際：非典型喘息のチェックと類似疾患の<br>鑑別を含めて<br>熊本大学生命科学研究部呼吸器内科学分野教授<br>興梠 博次      | 45<br>(0.5)<br><br>79<br>(0.5)                                      | ◇主催<br>延岡医学会<br>◇共催<br>延岡内科医会<br>アストラゼネカ(株)<br>アステラス製薬(株)<br>(連絡先)<br>延岡市医師会<br>☎0982-21-1300 |
| 第18回宮崎「感染<br>と免疫」研究会<br>11月2日(水)<br>19:15～20:45<br>宮崎観光ホテル  | 症例検討会：クラリスロマイシンで加療中の原発性線<br>毛機能不全症の一例<br>宮崎大学医学部免疫感染病態学分野助教<br>宮内 俊一<br>他 | 46<br>(0.5)                                                         | ◇主催<br>※宮崎「感染と免疫」研究会<br>☎0985-85-7284<br>◇共催<br>大正富山医薬品(株)                                    |
| 参加費：500円                                                    | 分子生物学的手法を用いた呼吸器感染症の原因菌探索<br>産業医科大学医学部呼吸器内科学教授<br>矢寺 和博                    | 8<br>(1.0)                                                          |                                                                                               |

| 名称・日時・場所                                                                                     | 演 題                                                                        | CC<br>(単位)<br>がん検診         | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 日向市東臼杵郡医師会学術講演会<br>11月2日(水)<br>19:00～20:30<br>ホテルベルフォー<br>ト日向                                | 当院での経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)の<br>経験<br>宮崎市郡医師会病院循環器内科医長 古堅 真                   | 12<br>(0.5)                | ◇主催<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎0982-52-0222<br>◇共催<br>日向市東臼杵郡内科医会<br>第一三共催 |
|                                                                                              | DOACは心房細動に必要か?<br>宮崎市郡医師会病院循環器内科長 足利 敬一                                    | 43<br>(0.5)                |                                                                    |
| 平成28年度日本医師会社保指導者講習会復講習会<br>11月2日(水)<br>19:00～21:00<br>県医師会館                                  | アレルギー疾患のすべて<br>古賀総合病院内科 松岡 均<br>県立宮崎病院小児科 中谷 圭吾<br>古賀総合病院皮膚科 津守 伸一郎        | 16<br>(0.5)<br>26<br>(1.0) | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                                    |
|                                                                                              |                                                                            | 79<br>(0.5)                |                                                                    |
| 第2回認知症サポート医フォローアップ研修会(TV会議)<br>11月4日(金)<br>19:00～21:00<br>県医師会館(TV会議場：都城・延岡・日向・児湯・西都・西諸・西臼杵) | 認知症のBPSDへの対応<br>ーかかりつけ医のためのBPSDに対する向精神薬ガイドライン(第2版)の紹介ー<br>けんなん病院副院長 藤元 ますみ | 29<br>(0.5)                | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>◇共催<br>宮崎県認知症疾患医療センター           |
|                                                                                              | 道路交通法改正前に対策をたてなくてはならない問題<br>について<br>野崎病院認知症疾患医療センター長 宇田川 充隆                | 29<br>(0.5)                |                                                                    |
|                                                                                              | 意味性認知症の経過中に見られた行動障害<br>協和病院認知症疾患医療センター長 二宮 嘉正                              | 29<br>(0.5)                |                                                                    |
|                                                                                              | 総合討論<br>宮崎県医師会常任理事 石川 智信                                                   | 29<br>(0.5)                |                                                                    |

| 名称・日時・場所                                                              | 演 題                                                                                        | CC<br>(単位)<br>がん検診                      | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第5回実地医家のための心エコー図勉強会</b><br>11月4日(金)<br>19:00～20:30<br>野村循環器内科クリニック | <b>僧房弁逆流の心エコー図</b><br>宮崎市郡医師会病院検査科長<br>心臓病センター心血管画像診断室長 渡邊 望                               | 7<br>(0.5)<br>9<br>(0.5)<br>12<br>(0.5) | ◇主催<br>実地医家のための心エコー図勉強会<br>◇共催<br>興和創薬(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119      |
| <b>都城市北諸県郡医師会学術講演会</b><br>11月4日(金)<br>19:00～20:30<br>都城ロイヤルホテル        | <b>難治呼吸器疾患の診断と治療</b><br><b>—IPFとCOPDを中心として—(仮)</b><br>宮崎大学医学部内科学講座<br>神経呼吸内分泌代謝学分野助教 松元 信弘 | 19<br>(0.5)<br>45<br>(1.0)              | ◇主催<br>※都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711<br>◇共催<br>日本ベーリンガーインゲルハイム(株)                      |
| <b>延岡医学会学術講演会</b><br>11月4日(金)<br>19:00～20:00<br>ホテルメリージュ延岡            | <b>大規模臨床試験から考えるこれからの高血圧治療</b><br>東京大学医学部附属病院<br>臨床研究支援センター教授 山崎 力                          | 74<br>(0.5)<br>82<br>(0.5)              | ◇主催<br>延岡医学会<br>◇共催<br>武田薬品工業(株)<br>◇後援<br>延岡内科医会<br>(連絡先)<br>延岡市医師会<br>☎0982-21-1300 |
| <b>南那珂医師会生涯教育医学会</b><br>11月4日(金)<br>19:00～20:10<br>南那珂医師会館            | <b>当院におけるてんかん治療の現状</b><br>西都児湯医療センター副院長 瀨砂 亮一                                              | 35<br>(1.0)                             | ◇主催<br>※南那珂医師会<br>☎0987-23-3411<br>◇共催<br>大塚製薬(株)<br>ユーシービージャパン(株)                    |
| <b>宮崎市郡内科医会学術講演会</b><br>11月4日(金)<br>19:30～20:30<br>宮崎市郡医師会館           | <b>大規模地震災害時の医療について—超急性期から慢性期までのシームレスな医療を展開するために—</b><br>宮崎大学医学部附属病院<br>救命救急センター教授 落合 秀信    | 14<br>(1.0)                             | ◇主催<br>宮崎市郡内科医会<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会<br>☎0985-53-3434                                  |

| 名称・日時・場所                                                         | 演 題                                                                                        | CC<br>(単位<br>がん検)                                | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                     |
|------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>江南医療連携の会<br/>特別講演会</b><br>11月5日(土)<br>15:30～17:30<br>宮崎江南病院   | <b>宮崎県内における江南病院形成外科の役割</b><br>宮崎江南病院形成外科医員 土居 華子                                           | 12<br>(0.5)                                      | ◇主催<br>江南医療連携の会<br>(連絡先)<br>宮崎江南病院地域医療連携室<br>☎0985-52-4004                              |
|                                                                  | <b>手の疾患における形成外科の役割</b><br><b>―手は口ほどにものを言う―</b><br>長崎大学医歯薬学総合研究科展開医療科学講座<br>形成再建外科学教授 田中 克己 | 57<br>(1.0)                                      |                                                                                         |
| <b>“皮膚の日”講演会</b><br>11月6日(日)<br>14:00～15:30<br>宮日会館              | <b>いろいろなダニによるいろいろな病気</b><br>青木皮膚科 出盛 允啓                                                    | 9<br>(1.0)<br><br>11<br>(0.5)                    | ◇主催<br>宮崎県皮膚科医会<br>◇共催<br>日本臨床皮膚科医会<br>◇後援<br>宮崎県医師会<br>(連絡先)<br>青木皮膚科<br>☎0985-23-2011 |
| <b>都城市北諸県郡医<br/>師会学術講演会</b><br>11月7日(月)<br>19:00～20:30<br>ホテル中山荘 | <b>糖尿病薬物治療の進歩</b><br>鹿児島大学医歯学総合研究科<br>糖尿病内分泌内科学教授 西尾 善彦                                    | 2<br>(0.5)<br><br>23<br>(0.5)<br><br>76<br>(0.5) | ◇主催<br>※都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711<br>◇共催<br>小野薬品工業(株)<br>アストラゼネカ(株)                   |
| <b>西臼杵郡地区学術<br/>講演会</b><br>11月8日(火)<br>19:00～20:35<br>ホテル高千穂     | <b>透析導入を遅らせるための腎性貧血治療(仮)</b><br>県立延岡病院腎臓内科医長 戸井田 達典                                        | 82<br>(0.5)                                      | ◇主催<br>※西臼杵郡医師会<br>☎0982-73-2010<br>◇共催<br>協和発酵キリン(株)                                   |
|                                                                  | <b>透析導入を遅らせるための糖尿病治療(仮)</b><br>仁医会病院長 阿部 克成                                                | 73<br>(0.5)                                      |                                                                                         |
|                                                                  |                                                                                            | 76<br>(0.5)                                      |                                                                                         |

| 名称・日時・場所                                                                          | 演 題                                                                                                   | CC<br>(単位)<br>がん検診                                                 | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宮崎糖尿病治療学<br>術講演会<br>11月8日(火)<br>19:00～20:30<br>宮崎観光ホテル                            | 糖尿病性腎症におけるリラゲルチドへの期待<br>－重症化予防を目指して－<br>臼杵市医師会立コスモス病院内科部長<br>近藤 誠哉                                    | 76<br>(1.0)                                                        | ◇主催<br>宮崎県糖尿病懇話会<br>◇共催<br>※ノボノルディスクファーマ㈱<br>☎0985-20-1891                                        |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>11月9日(水)<br>19:00～21:00<br>県医師会館                              | この一年間にみられた産業保健の動向<br>－厚労省・報道発表資料と通達から－<br>産業保健相談員<br>西部労働衛生コンサルタント事務所代表<br>矢崎 武<br><br>生涯研修の更新研修会：2単位 | 3<br>(0.5)<br><br>7<br>(0.5)<br><br>8<br>(0.5)<br><br>9<br>(0.5)   | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                                          |
| 日向市東臼杵郡医<br>師会学術講演会<br>11月9日(水)<br>19:30～21:00<br>ホテルベルフォー<br>ト日向<br><br>参加費：500円 | 結核診療の現状<br>－医療関係者のための結核診断と感染対策について－<br>宮崎東病院呼吸器内科部長<br>伊井 敏彦                                          | 12<br>(0.5)<br><br>13<br>(0.5)<br><br>79<br>(0.5)                  | ◇主催<br>ひむか感染症研究会<br>◇共催<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎0982-52-0222<br>日向市東臼杵郡内科医会<br>日向市東臼杵郡薬剤師会<br>大日本住友製薬㈱ |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>11月10日(木)<br>19:00～21:00<br>延岡市医師会病院                          | 職場における糖尿病対策<br>産業保健相談員・都城市郡医師会病院副院長<br>中津留 邦展<br><br>生涯研修の専門研修会：2単位                                   | 8<br>(0.5)<br><br>9<br>(0.5)<br><br>11<br>(0.5)<br><br>76<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                                          |

| 名称・日時・場所                                                                        | 演 題                                                                                     | CC<br>(単位)<br>がん機              | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                              |
|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第8回宮崎乾癬研究会</b><br>11月10日(木)<br>19:30～21:00<br>宮崎観光ホテル<br><br>参加費:500円        | <b>TNF阻害剤の投与が必要な患者と増量の意義</b><br>帝京大学医学部皮膚科学講座准教授 多田 弥生                                  | 26<br>(0.5)<br><br>61<br>(0.5) | ◇主催<br>宮崎乾癬研究会<br>◇共催<br>※田辺三菱製薬㈱<br>☎0985-32-9205                                               |
| <b>第50回都城画像診断研究会学術講演会</b><br>11月10日(木)<br>19:00～20:30<br>ホテル中山荘<br><br>参加費:500円 | <b>胆・膵疾患のEUS</b><br>藤元総合病院放射線科部長 梅村 好郎                                                  | 11<br>(0.5)                    | ◇主催<br>都城画像診断研究会<br>◇共催<br>バイエル薬品㈱<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711                       |
|                                                                                 | <b>胆膵疾患の画像診断－CT・MRIを中心に－</b><br>宮崎大学医学部病態解析医学講座<br>放射線医学分野講師 古小路 英二                     | 0<br>(0.5)<br><br>11<br>(0.5)  |                                                                                                  |
| <b>第26回宮崎県肺癌研究会</b><br>11月11日(金)<br>19:00～20:40<br>KITEN<br><br>参加費:500円        | <b>肺癌の画像診断と予後－新TNM分類に関連して－</b><br>順天堂大学医学部附属順天堂医院<br>呼吸器外科教授 鈴木 健司                      | 9<br>(0.5)<br><br>45<br>(0.5)  | ◇主催<br>宮崎県肺癌研究会<br>◇共催<br>※大鵬薬品工業㈱<br>☎0985-27-4527<br>◇後援<br>宮崎県医師会                             |
| <b>延岡医学会学術講演会</b><br>11月11日(金)<br>19:00～20:30<br>ホテルメリージュ<br>延岡                 | <b>静脈血栓塞栓症の診断と治療</b><br><b>－リアルワールドでのDOACの使用経験－</b><br>久留米大学医学部外科学講座<br>心臓血管外科准教授 廣松 伸一 | 44<br>(0.5)<br><br>78<br>(0.5) | ◇主催<br>延岡医学会<br>◇共催<br>延岡市西臼杵郡薬剤師会<br>第一三共㈱<br>◇後援<br>延岡内科医会<br>(連絡先)<br>延岡市医師会<br>☎0982-21-1300 |

| 名称・日時・場所                                                                     | 演 題                                                                                                       | CC<br>(単位)<br>がん検診                               | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                             |
|------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| <b>都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会</b><br>11月11日(金)<br>19:00～20:30<br>都城ロイヤルホテル          | <b>Drug effectを考慮した新たな循環器治療<br/>           ー臓器保護をいかに行うかー</b><br>日本大学医学部外科学系<br>心臓血管・呼吸器・総合外科学分野講師<br>瀬在 明 | 1<br>(0.5)<br><br>73<br>(0.5)<br><br>74<br>(0.5) | ◇主催<br>都城市北諸県郡医師会内科医会<br>◇共催<br>第一三共(株)<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711 |
| <b>第23回ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー</b><br>11月12日(土)<br>15:25～19:00<br>シーガイアコンベンションセンター | <b>骨粗鬆症と骨代謝</b><br>慶應義塾大学医学部整形外科特任准教授<br>宮本 健史                                                            | 77<br>(0.5)<br><br>82<br>(0.5)                   | ◇主催<br>ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー<br>◇共催<br>※中外製薬(株)<br>☎0985-20-8118                    |
| 参加費：1,000円                                                                   | <b>膝前十字靭帯損傷に対する治療戦略</b><br>神戸大学医学研究科外科系講座<br>整形外科学教授<br>黒田 良祐                                             | 61<br>(0.5)<br><br>62<br>(0.5)                   |                                                                                 |
|                                                                              | <b>日常よく使う手外科手術の現況とトピックス</b><br>笠岡第一病院長<br>橋詰 博行                                                           | 56<br>(0.5)<br><br>57<br>(0.5)                   |                                                                                 |

| 名称・日時・場所                                                                            | 演 題                                                                                          | CC<br>(単位)<br>がん検診                                     | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>11月12日(土)<br>14:30～18:30<br>県医師会館                       | <b>電磁波の健康リスクと市民のリスク認知</b><br>電気安全環境研究所電磁界情報センター所長<br>大久保 千代次                                 | 7<br>(0.5)<br>9<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>12<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                     |
|                                                                                     | <b>化学物質による健康障害</b><br>東京女子医科大学医学部<br>衛生学公衆衛生学(一)講座教授・講座主任<br>松岡 雅人                           | 6<br>(0.5)<br>9<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>13<br>(0.5) |                                                     |
| <b>第36回宮崎感染症<br/>研究会</b><br>11月12日(土)<br>16:30～19:00<br>宮崎観光ホテル<br><br>参加費 : 1,000円 | <b>肺炎・インフルエンザ診療の最近の動向</b><br><b>－予防や耐性菌対策の考え方も含めて－</b><br>東北医科薬科大学病院<br>感染症内科・感染制御部病院教授 関 雅文 | 8<br>(1.0)                                             | ◇主催<br>宮崎感染症研究会<br>◇共催<br>※第一三共(株)<br>☎0985-23-5710 |
|                                                                                     | <b>薬剤標的としてのミトコンドリア</b><br><b>－寄生虫からがん細胞まで－</b><br>長崎大学熱帯医学・グローバルヘルス研究科<br>教授・研究科長 北 潔        | 17<br>(1.0)                                            |                                                     |

| 名称・日時・場所                                                                        | 演 題                                                                           | CC<br>(単位)<br>がん検              | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| <b>プライマリーケア<br/>医のための不眠症<br/>治療セミナー</b><br>11月15日(火)<br>18:45～20:30<br>MRT-micc | <b>不眠症治療の現状と課題(仮)</b><br>谷口病院<br>比江島 誠人                                       | 20<br>(0.5)                    | ◇主催<br>宮崎県内科医会<br>◇共催<br>※MSD(株)<br>☎0985-28-9496                               |
|                                                                                 | <b>認知症の睡眠障害<br/>ーオレキシン受容体拮抗薬の有用性ー</b><br>道ノ尾病院副院長<br>芹田 巧                     | 29<br>(1.0)                    | ◇後援<br>宮崎県医師会                                                                   |
| <b>第18回児湯内科医<br/>学会学術講演会</b><br>11月15日(火)<br>19:00～20:15<br>ホテル四季亭              | <b>いろいろなカラダの痛みの原因とその各々の対処方法</b><br>三重大学医学系研究科臨床医学系講座<br>家庭医療学分野教授<br>竹村 洋典    | 60<br>(0.5)<br><br>70<br>(0.5) | ◇主催<br>児湯内科医会<br>◇共催<br>塩野義製薬(株)<br>(連絡先)<br>児湯医師会<br>☎0983-22-1641             |
| <b>佐土原地区糖尿病<br/>治療学術講演会</b><br>11月16日(水)<br>19:00～20:10<br>シーガイアコンベン<br>ションセンター | <b>2型糖尿病に対するCombination Therapy</b><br>潤和会記念病院糖尿病・代謝内科部長<br>水田 雅也             | 76<br>(1.0)                    | ◇主催<br>佐土原地区医師会<br>◇共催<br>※日本イーライリリー(株)<br>☎070-2286-1413<br>日本ベーリンガーインゲルハイム(株) |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>11月16日(水)<br>19:00～21:00<br>県医師会館                   | <b>事業場に歓迎される職場巡視方法とは</b><br>産業保健相談員・宮崎県立看護大学教授<br>江藤 敏治<br><br>生涯研修の専門研修会：2単位 | 1<br>(2.0)                     | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                        |

| 名称・日時・場所                                                                                 | 演 題                                                                                                                             | CC<br>(単位)<br>がん機                       | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                 |
|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 延岡医学会学術講演会<br>11月16日(水)<br>19:00～20:30<br>延岡市医師会病院                                       | 感染症予防, アレルギー対策, 発達障害児支援が元気な子どもを育む街を構築する<br>大分大学医学部<br>地域医療・小児科分野担当教授 是松 聖悟                                                      | 5<br>(0.5)<br>8<br>(0.5)<br>72<br>(0.5) | ◇主催<br>※延岡市医師会<br>☎0982-21-1300                                                     |
| 第3回宮崎臨床整形外科セミナー<br>(第52回ひむか運動器セミナー)<br>11月18日(金)<br>19:00～20:30<br>県医師会館<br><br>参加費:500円 | ロコモティブシンドロームと骨粗鬆症<br>田辺整形外科医院長 田辺 秀樹                                                                                            | 77<br>(0.5)<br>82<br>(0.5)              | ◇主催<br>宮崎県臨床整形外科医会<br>◇共催<br>ひむか運動器セミナー<br>※旭化成ファーマ(株)<br>☎0985-28-2736             |
| 延岡医学会学術講演会<br>11月18日(金)<br>19:00～20:30<br>ホテルメリージュ<br>延岡                                 | 心房細動に対するマネージメント<br>ー抗不整脈剤からカテーテルアブレーションまでー<br>宮崎市郡医師会病院循環器内科医長 星山 禎<br><br>当院での経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)の経験<br>宮崎市郡医師会病院循環器内科医長 古堅 真 | 42<br>(0.5)<br>12<br>(0.5)              | ◇主催<br>延岡医学会<br>◇共催<br>第一三共(株)<br>◇後援<br>延岡内科医会<br>(連絡先)<br>延岡市医師会<br>☎0982-21-1300 |
| 西都市西児湯内科医会学術講演会<br>11月18日(金)<br>19:00～20:10<br>ホテルプリムローズ西都                               | 難治呼吸器疾患の診断と治療<br>ーIPFとCOPDを中心としてー(仮)<br>宮崎大学医学部内科学講座<br>神経呼吸内分泌代謝学分野助教 松元 信弘                                                    | 19<br>(0.5)<br>45<br>(0.5)              | ◇主催<br>西都市西児湯内科医会<br>◇共催<br>※西都市西児湯医師会<br>☎0983-43-1687<br>日本ベーリンガーインゲルハイム(株)       |

| 名称・日時・場所                                                                 | 演 題                                                                        | CC<br>(単位)<br>が<br>検       | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                             |
|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 宮崎県精神科診療<br>所協会学術講演会<br>11月19日(土)<br>18:45～20:00<br>宮崎観光ホテル              | アルツハイマー病の治療とケアを再考する<br>首都大学東京人間健康科学研究科教授<br>繁田 雅弘                          | 29<br>(1.0)                | ◇主催<br>宮崎県精神科診療所協会<br>◇共催<br>※小野薬品工業(株)<br>☎0985-61-8123                        |
| 第109回宮崎市郡<br>医師会病院心臓病<br>研究会<br>11月22日(火)<br>18:50～20:30<br>宮崎観光ホテル      | 冠動脈疾患患者における大動脈弁硬化(Aortic valve<br>sclerosis)の臨床的意義<br>宮崎市郡医師会病院循環器内科 安里 哲矢 | 9<br>(0.5)                 | ◇主催<br>宮崎市郡医師会病院心臓病研究会<br>◇共催<br>興和創薬(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119 |
|                                                                          | 心不全治療の最新のトピックス<br>大阪大学医学系研究科循環器内科学教授<br>坂田 泰史                              | 9<br>(1.0)                 |                                                                                 |
| 都城市北諸県郡医<br>師会外科医会学術<br>講演会<br>11月22日(火)<br>19:10～20:40<br>都城ロイヤル<br>ホテル | 当科で行っている熱傷治療<br>宮崎大学医学部感覚運動医学講座<br>皮膚科学分野教授<br>天野 正宏                       | 0<br>(0.5)<br>56<br>(1.0)  | ◇主催<br>都城市北諸県郡医師会外科医会<br>◇共催<br>科研製薬(株)<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711 |
| 宮崎木曜会年未学<br>術講演会<br>11月24日(木)<br>19:30～20:30<br>MRT-micc                 | 大腸CT(CTコロノグラフィ)の現状と展望<br>九州大学医学研究院臨床放射線科学分野助教<br>鶴丸 大介                     | 53<br>(0.5)<br>54<br>(0.5) | ◇主催<br>宮崎木曜会<br>◇共催<br>※EAファーマ(株)<br>☎0985-35-2430<br>エーザイ(株)                   |

| 名称・日時・場所                                                                                                   | 演 題                                                                                                                                                                        | CC<br>(単位)<br>がん機 | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第54回日本神経眼<br/>科学会総会</b><br>11月25日(金)<br>9:00～19:30<br>11月26日(土)<br>9:00～19:30<br>宮崎市民プラザ<br>参加費:18,000円 | <b>回転として眼球運動を考えよう！Listingの法則とは？</b><br>(1日目 12:00～13:00)<br>手稻溪仁会病院眼窩・神経眼科センター長<br>鈴木 康夫                                                                                   | 36<br>(1.0)       | ◇主催<br>宮崎大学医学部眼科学教室<br>(連絡先)<br>第54回日本神経眼科学会総会事務局<br>(宮崎大学医学部眼科学教室)<br>☎0985-85-2806 |
|                                                                                                            | <b>外斜視の眼位検査について</b><br>(1日目 15:15～16:15)<br>大阪医科大学眼科学教室准教授<br>菅澤 淳                                                                                                         | 36<br>(1.0)       |                                                                                      |
|                                                                                                            | <b>脳幹・小脳病変で生じる眼球運動異常</b><br>(2日目 12:00～13:00)<br>横浜市立脳卒中・神経脊椎センター神経内科部長<br>城倉 健                                                                                            | 36<br>(1.0)       |                                                                                      |
|                                                                                                            | <b>見ていれば、見えてくるもの</b><br><b>ー日本神経眼科学会とともに40年ー</b><br>(2日目 14:20～15:20)<br>井上眼科病院名誉院長<br>日本神経眼科学会理事長<br>若倉 雅登                                                                | 36<br>(1.0)       |                                                                                      |
|                                                                                                            | <b>Papilledema and Increased Intracranial Pressure</b><br>(2日目 15:20～16:20)<br>Professor of Ophthalmology and Neurology<br>University of Michigan<br>Jonathan D. Trobe, MD | 36<br>(1.0)       |                                                                                      |
|                                                                                                            | <b>小児の神経眼科</b><br>(2日目 16:40～17:40)<br>愛知淑徳大学視覚科学教授<br>柏井 聡                                                                                                                | 36<br>(1.0)       |                                                                                      |

| 名称・日時・場所                                                                                  | 演 題                                                                                                                                | CC<br>(単位)<br>がん検診                                                  | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>11月25日(金)<br>13:30～15:30<br>都城圏域地場産業<br>振興センター                | <b>メンタルヘルス不調労働者の事例検討による考察</b><br>産業保健相談員・都城新生病院 前原 正法<br><br>生涯研修の現地研修会：2単位                                                        | 5<br>(0.5)<br><br>11<br>(0.5)<br><br>69<br>(0.5)<br><br>70<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                                                  |
| <b>第15回宮崎県睡眠<br/>呼吸障害研究会</b><br>11月25日(金)<br>19:00～20:30<br>ガーデンベルズ<br>宮崎<br><br>参加費：500円 | <b>当院でのPSG検査の現状について</b><br>潤和会記念病院検査科 山下 三統<br><br>-----<br><b>循環器疾患における睡眠呼吸障害の重要性</b><br>順天堂大学医学研究科循環器内科学<br>心血管睡眠呼吸医学講座准教授 葛西 隆敏 | 74<br>(0.5)<br><br>80<br>(0.5)<br><br>82<br>(0.5)                   | ◇主催<br>宮崎県睡眠呼吸障害研究会<br>◇共催<br>※帝人在宅医療(株)<br>☎0985-25-6613                                                 |
| <b>都城地区整形外科<br/>医会学術講演会</b><br>11月25日(金)<br>19:00～20:00<br>都城ロイヤル<br>ホテル                  | <b>高齢化社会を迎えた運動器の慢性疼痛治療</b><br>東京大学医学部附属病院<br>緩和ケア診療部長 住谷 晶彦                                                                        | 60<br>(1.0)                                                         | ◇主催<br>都城地区整形外科医会<br>◇共催<br>宮崎県整形外科医会<br>日本イーライリリー(株)<br>塩野義製薬(株)<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711 |

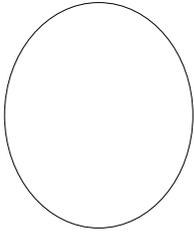
| 名称・日時・場所                                                                                                                                | 演 題                                                                                            | CC<br>(単位<br>が1検診)             | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第54回日本神経眼<br/>科学会総会</b><br>11月26日(土)<br>9:00～19:30<br>宮崎市民プラザ<br><br>参加費:18,000円                                                     | <b>脳幹・小脳病変で生じる眼球運動異常</b><br>横浜市立脳卒中・神経脊椎センター神経内科部長<br>城倉 健                                     | 36<br>(1.0)                    | ◇主催<br>宮崎大学医学部眼科学教室<br>(連絡先)<br>第54回日本神経眼科学会総会事務局<br>(宮崎大学医学部眼科学教室)<br>☎0985-85-2806 |
| <b>第10回はまゆう整<br/>形外科セミナー</b><br>11月26日(土)<br>17:30～18:30<br>宮崎観光ホテル                                                                     | <b>TKA入門</b><br>橘病院院長<br>柏木 輝行                                                                 | 61<br>(0.5)<br><br>62<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎大学医学部整形外科学教室同門会<br>☎0985-85-0986                                           |
| <b>平成28年度医療従<br/>事者向け認知症対<br/>応力向上研修会(T<br/>V会議)</b><br>11月28日(月)<br>19:00～20:30<br>県医師会館(TV会<br>議場:都城・日<br>向・児湯・西都・<br>南那珂・西諸・西<br>臼杵) | <b>医療従事者向け認知症対応力向上研修</b><br>野崎病院認知症疾患医療センター長<br>宇田川 充隆                                         | 13<br>(0.5)<br><br>29<br>(1.0) | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>◇共催<br>宮崎県                                        |
| <b>西諸医師会・西諸<br/>内科医会合同学術<br/>講演会</b><br>11月28日(月)<br>19:00～20:30<br>ガーデンベルズ<br>小林                                                       | <b>心房細動治療イノベーション:QOL改善と寝たきり<br/>防止を目指して</b><br>済生会熊本病院心臓血管センター<br>循環器内科不整脈先端治療部門最高技術顧問<br>奥村 謙 | 1<br>(1.0)<br><br>78<br>(0.5)  | ◇主催<br>※西諸医師会<br>☎0984-23-2113<br>◇共催<br>西諸内科医会<br>第一三共(株)                           |

| 名称・日時・場所                                                                   | 演 題                                                                                  | CC<br>(単位)<br>がん検             | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                         |
|----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>大悟病院認知症疾患医療センターかかりつけ医研修会</b><br>11月29日(火)<br>19:00～20:50<br>都城市北諸県郡医師会館 | <b>認知症ケア・対応</b><br>介護老人保健施設こんにちわセンター<br>矢野 成昭                                        | 29<br>(0.5)                   | ◇主催<br>※大悟病院認知症疾患医療センター<br>☎0986-52-5800<br>◇共催<br>都城市北諸県郡医師会                               |
|                                                                            | <b>被害妄想のある方を関係機関・地域と連携し支援した事例</b><br>山田高崎地区地域包括支援センター所長<br>大浦 栄子                     | 13<br>(0.5)                   |                                                                                             |
|                                                                            | <b>大悟病院の連携の実情</b><br>大悟病院認知症疾患医療センター<br>加藤 和男                                        | 12<br>(0.5)                   |                                                                                             |
| <b>第73回宮崎整形外科懇話会</b><br>12月3日(土)<br>18:00～19:00<br>県医師会館<br><br>参加費：1,000円 | <b>肩の痛みを診る治す</b><br>愛知医科大学整形外科特任教授 岩堀 裕介                                             | 15<br>(1.0)                   | ◇主催<br>宮崎整形外科懇話会<br>◇共催<br>宮崎県整形外科医会<br>大正富山医薬品(株)<br>(連絡先)<br>宮崎大学医学部整形外科<br>☎0985-85-0986 |
| <b>第110回宮崎市郡医師会病院心臓病研究会</b><br>12月5日(月)<br>18:50～20:30<br>宮崎観光ホテル          | <b>重症下肢虚血に対する血行再建の最前線</b><br>宮崎市郡医師会病院循環器内科医長 仲間 達也                                  | 9<br>(0.5)                    | ◇主催<br>宮崎市郡医師会心臓病研究会<br>◇共催<br>富士製薬工業(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119             |
|                                                                            | <b>肥大型心筋症の臨床Up-to-Date</b><br><b>—他の肥大心との鑑別を含めて—</b><br>高知大学医学部老年病・循環器内科学教授<br>北岡 裕章 | 7<br>(0.5)<br><br>15<br>(0.5) |                                                                                             |

| 名称・日時・場所                                                  | 演 題                                                                                               | CC<br>(単位)<br>がん検                                       | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                          |
|-----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 延岡医師漢方研究会<br>12月8日(木)<br>19:00～20:30<br>延岡市医師会病院          | 消化器病学のオリエント<br>－PPIに依存しないGERD, FD対策－<br>井野辺病院消化器内科部長 那須 眞示                                        | 51<br>(0.5)<br>52<br>(0.5)<br>83<br>(0.5)               | ◇主催<br>延岡医師漢方研究会<br>延岡市西白杵郡薬剤師会<br>(株)ツムラ<br>◇後援<br>※延岡市医師会<br>☎0982-21-1300 |
| 宮崎県医師会産業医研修会<br>12月13日(火)<br>19:00～21:00<br>延岡市職業訓練支援センター | この一年間にみられた産業保健の動向<br>－厚労省・報道発表資料と通達から－<br>産業保健相談員<br>西部労働衛生コンサルタント事務所代表<br>矢崎 武<br>生涯研修の更新研修会：2単位 | 3<br>(0.5)<br>7<br>(0.5)<br>8<br>(0.5)<br>9<br>(0.5)    | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                     |
| 宮崎県医師会産業医研修会<br>12月15日(木)<br>14:00～16:00<br>県医師会館         | メンタルヘルス不調労働者の事例検討による考察<br>産業保健相談員・都城新生病院 前原 正法<br>生涯研修の現地研修会：2単位                                  | 5<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>69<br>(0.5)<br>70<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                     |
| 宮崎県医師会産業医研修会<br>12月16日(金)<br>19:00～21:00<br>県医師会館         | メンタルヘルス不全－病気療養期間に行うこと(Ⅰ)－<br>産業保健相談員・西都病院 植田 勇人<br>生涯研修の専門研修会：2単位                                 | 1<br>(0.5)<br>5<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>70<br>(0.5)  | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                     |

| 名称・日時・場所                                                                     | 演 題                                                                                                                 | CC<br>(単位)<br>がん検                                                    | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                      |
|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| <b>第53回ひむか運動器セミナー</b><br>12月20日(火)<br>19:00～20:30<br>宮崎観光ホテル<br><br>参加費：500円 | <b>腕神経叢損傷の診断と治療</b><br><b>－基礎からロボット支援手術まで－</b><br>労働者健康安全機構横浜労災病院副院長<br>三上 容司                                       | 57<br>(0.5)<br><br>63<br>(0.5)                                       | ◇主催<br>ひむか運動器セミナー<br>◇共催<br>※アステラス製薬(株)<br>☎0985-61-1537 |
| <b>宮崎県医師会産業医研修会</b><br>12月21日(水)<br>19:00～21:00<br>県医師会館                     | <b>作業環境関連疾患(腰痛・VDT障害)の予防と悪化防止</b><br>産業保健相談員・宮崎県立看護大学教授<br>江藤 敏治<br><br>生涯研修の専門研修会：2単位                              | 11<br>(0.5)<br><br>12<br>(0.5)<br><br>37<br>(0.5)<br><br>60<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会 |
| <b>宮崎県医師会産業医研修会</b><br>1月12日(木)<br>19:00～21:00<br>都城市北諸県郡医師会館                | <b>この一年間にみられた産業保健の動向</b><br><b>－厚労省・報道発表資料と通達から－</b><br>産業保健相談員<br>西部労働衛生コンサルタント事務所代表<br>矢崎 武<br><br>生涯研修の更新研修会：2単位 | 3<br>(0.5)<br><br>7<br>(0.5)<br><br>8<br>(0.5)<br><br>9<br>(0.5)     | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会 |
| <b>宮崎県内科医学会学術講演会</b><br>1月19日(木)<br>18:45～20:30<br>宮崎観光ホテル                   | <b>インクレチン関連薬の腎保護作用(仮)</b><br>岡山大学病院新医療研究開発センター教授<br>四方 賢一                                                           | 76<br>(1.0)                                                          | ◇主催<br>宮崎県内科医学会<br>◇共催<br>※小野薬品工業(株)<br>☎0985-61-8123    |

## 診療メモ



## 正しい歯磨きについて

宮崎県歯科医師会 地域保健担当 <sup>にしき</sup>錦 <sup>い</sup>井 <sup>ひで</sup>英 <sup>つぐ</sup>資

## はじめに

歯磨きに関しては、ほとんどの方が1年じゅう行っている習慣ですが、なかなかうまく磨けている人は少ないかもしれません。最近、特に歯周病の進行に伴い、糖尿病、動脈硬化などの血管系の病気、肺炎などの呼吸器系疾患が増えるという統計も出ており、全身の健康と関係があることが分かってきています。

歯磨きの効果としては、まずは歯周病の予防、治療の効果があります。一方むし歯に対する効果は、フッ化物と比べて劣るといわれています。そのため、歯を長持ちさせるためには、歯磨きだけでなく、フッ化物の利用も大切です。現在日本では、フッ化物入りの歯磨き剤やフッ化物洗口液がありますので、使用してもらうと効果があります。

人により、歯並びが様々で、また手の器用さも千差万別ですので、以下に書いた通りにしてもなかなかうまくいかないときもあると思います。時には歯科医院にて歯磨きの指導を受けたり、PMTC（専門家による機械的な歯の清掃）を受けることにより、口の中をより良い状態にするのも必要です。

以下、歯磨きの大切なポイントをいくつか書かせてもらいます。

## 歯磨きの基本

## (1)歯ブラシの持ち方

鉛筆を持つように握る持ち方で、毛先が広がらないくらいを目安に優しく磨いてください。

## (2)歯ブラシの動かし方

歯ブラシの毛先を歯の面に直角に軽くあ

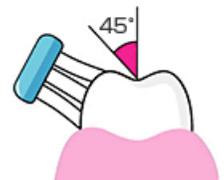
て、往復運動によって歯垢(プラーク)を落とします。それぞれ1か所につき10～20回程度動かしてください。きっちり1か所が終われば隣の歯へ移動してください。



## (3)歯の表側

歯ブラシを横にして歯面に対し直角に毛先をあてます。

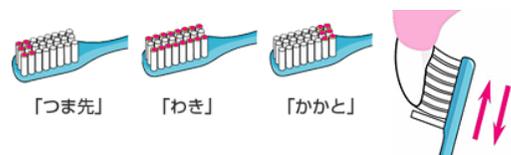
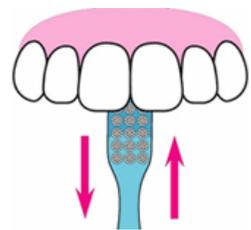
歯と歯の間、歯と歯ぐきの境目に毛先をあて、小刻みに軽い力で横に動かします。このときは、歯の軸に対して斜め45度にあてると磨きやすいです。



## (4)歯の裏側

歯の軸に対して斜め45度にあて、表側同様に横に小刻みに動かします。

前歯の裏側は、歯ブラシを縦にして、歯ブラシの「つま先」や「かかと」を使って上下に動かします。



## (5)順序を決めて磨きましょう

磨きやすいところばかりごしごし磨いていませんか？磨きにくいところはいつも磨けて

いないのではないのでしょうか。

磨き残しをなくすために、順序を決めて磨くようにしましょう。

#### (6) 歯と歯の間に注意

歯と歯の間は虫歯や歯ぐきの炎症が起こりやすいところです。歯ブラシのみのブラッシングでは、歯と歯の間の汚れ(プラーク)は約50%しか落とせません。

歯ブラシの前にフロス(糸ようじ)や歯間ブラシの使用をお勧めします。

#### ○フロス(糸ようじ) …誰でもお使いいただけます

のこぎりのように動かし、歯と歯の間を通りかかした後、両側にそれぞれ糸を沿わせ、上下に動かします。



#### ○歯間ブラシ…歯と歯の間が広く、使う必要のある方のみ

歯ぐきを傷つけないように、上の歯の場合は歯間ブラシの先をやや



下向きに、下の歯の場合は先をやや上向きに挿入します。そして前後にゆっくり数回動かします。大きすぎるサイズを使用すると歯ぐきを傷つけたり、歯と歯の間を広げたりする原因になります。また小さすぎるとプラークを効率よく除去できません。サイズについては必ず歯科医か歯科衛生士の指示に従ってください。

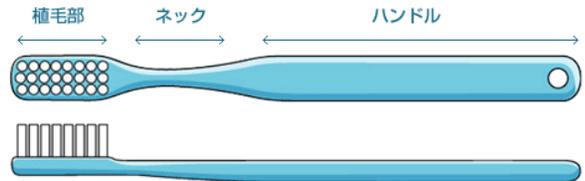
#### (7) ブラッシング時間

以上のようなやりかたですると、約10～15分ぐらいかかります。なかなか時間を見つけるのが難しい場合は、「お風呂につかりながら」や「テレビを見ながら」など、ながら磨きをお勧めします。

#### (8) 歯ブラシの選び方

ストレートな柄でシンプルなものの方が持ちやすく、細かく磨きやすいのでお勧めです。

よい歯ブラシとは、毛の硬さはふつう、歯ブラシのヘッドは小さめ、毛先はまっすぐ、柄もまっすぐで、首の部分は細くなっているもの、またハンドルは鉛筆持ちしやすい長さ・太さのものが良いでしょう。また、通常の使用で約1か月を目安に交換してください。



#### (9) プロのお掃除(PMTC : professional mechanical tooth cleaning)

PMTCとは、機械を使って徹底的にきれいにする方法のことです。いくら歯磨きが上手になっても、自分では100%歯垢を落とすことはなかなかできません。定期的に歯科医院でお口の中のクリーニングを受けましょう。平均的には3か月に1度位がよいでしょう。

#### (10) 電動ブラシについて

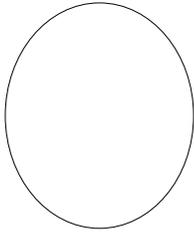
最近では、性能のよい音波歯ブラシなどの電動ブラシも出てきています。歯ブラシに比べると高価ですが、比較的短時間で歯垢除去効果は高いようです。ただし、使い方が悪いと、歯肉を痛めたり、磨き残しができますし、歯磨き剤も、研磨剤や発泡剤の入っていないものを使うなどの注意事項があります。

歯科医院で一度正しい電動歯ブラシの使い方を相談されてから使用されるのをお勧めします。

まとめ：人によって口の中の状態や歯磨きのクセが違うため、歯垢を磨き残ししやすい場所も違います。時には歯科医院で、自分の口の状態にあった歯磨き方法を指導してもらおうとよいでしょう。

歯磨きは、毎日のオーラルケアの基本で、歯垢を残さず落とすことが大切です。自分に合った磨き方を覚え、「食べたらずる」を習慣にして、健康な歯や歯ぐきを保ちましょう。

## 会員投稿



# 高額薬剤についての考察

宮崎市 大西医院 大西 雄二

### はじめに

医療費は2015年度41.4兆円で前年度3.8%の伸び、薬剤費は10兆円以上と4分の1を占め9.4%とさらに伸び率は高い。1年間使用すると患者1人で3,500万円に上るとされる「オブジーボ」が、昨年12月に患者数の多い肺がんへの保険適用が認められたことで、保険財政への影響を危惧する議論が起こった。「高額薬剤亡国論」は現実となるのか。

### 薬価制度

薬価は原価計算方式では製造や販売に掛かるコスト、営業利益を積み上げて決定。類似薬効方式では既存薬の薬価を基礎として価格を設定する。この仕組みでは、効果は高いが価格も極めて高い薬の登場に限界がある。皆保険では、医師は薬剤を治療効果の観点のみから選択し、自由に処方でき、高騰化を招く。海外の先駆的取組みに遅れること約20年、ようやく2012年4月に薬の費用対効果を巡る議論がスタートした。**なぜ最新の高額薬剤が経済問題を顕在化させるか**

遺伝子組み換え技術を利用して作る生物学的製剤が相次いで承認されている。開発コストに応じて薬価が青天井に高くなる。画期的薬剤は、年間数10万レベルだった患者1人当たりの薬剤費を、一気に数100万円レベルに押し上げる。

適応が拡大して患者が増えても、すぐに薬価を見直す仕組みは存在しない。新薬の適応拡大、用法容量の拡大に高騰化の落とし穴がある。内外価格差ではオブジーボの国内薬価は欧米の2.5～5倍である。

### C型慢性肝炎の例

医療費を押し上げたのが高額肝炎薬である。

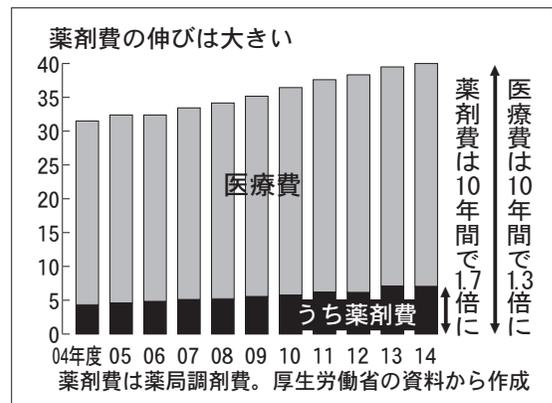


図 朝日新聞記事 2016年7月28日(図: 使用許可済み)

C型慢性肝炎に焦点を合わせて見る。HCVに感染している人は150～200万人、年間2万が肝がんで亡くなる。肝がんの約8割はC型慢性肝炎であり進展を阻止しなければならない。

2015年に、超大型新薬が登場する。ソホスビルとハーボニーである。薬価は1錠当たり約6万円と8万円と高額だった。3カ月の治療で高い著効率(ほぼ100%)を達成したため類似薬効方式でベースとなった価格に画期的加算100%が付き、外国との価格差の調整によってさらに価格が上がった。3カ月の服用で薬剤費は500万～700万に達した。

2015年の国内医薬品売上ランキングで、ハーボニーは発売7カ月で2,693億円、2位はソバルデイで1,508億円。両剤だけで4,200億円と巨大売上となった。肝炎抗ウイルス薬剤料は2014年度の約3.5倍になった。

### 高額化の理由と背景

日本におけるC型慢性肝炎の蔓延は、1988年以前の集団予防接種や1992年以前の輸血に原因の一端がある。HCVが広がったのは社会全体

の責任もあり、しかも拡散時期が早く、高齢化が先に進んだ日本は世界で最も早く肝がんの発症が始まった。

新規経口薬は臨床試験でそれまでの標準治療に比べ見違える効果がみられた。2012年以降、中医協で医薬品の費用対効果を評価しようとする動きが始まっていたが、制度変更を待つ前に治療がスタートした。

### C型慢性肝炎治療の歴史とその経済的側面

インターフェロン治療が始まり2008年公的助成制度が設けられた。治療施設の選定はあるが制限するものではない。またHCV健診で陽性者が掘り起こされた。

様々な薬剤の組み合わせで著効率は上がっていったが、注射薬と経口薬の併用で6カ月～1年かかる。特に副作用の問題で中断例も多く、完遂できて約8～9割の有効率である。そのため70歳を超える高齢者に対しての使用は慎重であった。新規経口薬のこれほどの売り上げの増加は70歳代、80歳代が一挙に治療に参入してきたことも一因である。とすると肝疾患関連死とそれ以外の疾患死による場合のどの年齢程度までが許容されるかが問題となるであろう。ただ、高齢者ほど有病率が高く、進行速度が速いため費用対効果は良好で費用削減的であるという報告もある。著効が得られた患者の増加で、薬剤の使用量は減っていく。米国では患者が減少した結果、売上高は前年比で半分に低下した。

### 治療と倫理

疾患が医療行為に伴うものであれば、医療者は全力を傾注し治癒に繋げ補償すべきである。

一方、誰にでもなりうる「生活習慣病」において様々な働き掛けに応えず不健康な生活を続けた結果、生活習慣病になった人と、避けられない事情で病気になった人が、全く同じ負担でいいのかという議論もあろう。ましてやC型慢性肝炎の場合、一部の感染の原因に薬物汚染(多くは覚醒剤)そして刺青がある。一部の違法行為のつけを高額の医療費で国が払うことにならないか。

### 対策

日本医師会は中医協で薬剤費の適正化が急務で「適応拡大時には改定を待たずに薬価を引き下げるべき」と提唱した。政府も「革新的医薬品等の使用の最適化推進」指針で、高額薬を使用できる病院や医師、対称患者の要件を学会などと検討して定め、指針から外れた使い方をした場合な公的保険を適用できない仕組みにして、医療費の伸びを抑えようとしている。高額薬剤の薬価を1年で見直す特例措置が考えられている。

### 診療及び保険審査に係る問題

高額薬剤を使用すればどんな医療機関でもその支払いが負担でないはずはない。保険請求には慎重が上にも慎重さが要求される。ところが、審査に携わってきた経験からすると、主に教育病院や基幹病院で診療する医師のこの問題への意識が希薄と思われてならない。高額薬剤が保険制度や医療財政全体に及ぼす影響にまで思考を拡げてほしい。適応傷病名は厳格に守らなければならない。入口の病名で適応疾患でなければ査定は免れない。保険者は見逃さない。

専門家であるほど適用を拡げたいという指向があり、用法・用量においても保険診療のシバリを逸脱してしまう。どの分野の専門家にも見られる陥穽である。

### おわりに

C型慢性肝炎はほぼ10年程度で疾患の激減という形で終息し、薬剤費の問題はなくなるであろう。

一部の生物製剤は使用し続けなければならないものがある。抗がん剤や生物製剤をいつまで続けるか、患者がどのような状態になったら高額薬剤治療の「やめどき」の検討が必要になる。その知見や、客観的な指標はない。

薬価の設定と同様に、費用対効果(辛い言葉ではある)の視点が導入されよう。診療ガイドラインには、高い費用対効果が実証された薬剤が優先されよう。さらに同時に行う様々な診療行為の費用と効果が計量化され、個々の医療行為や医師を評価する手段として使われるようになるかもしれない。

## 宮大医学部学生のページ

## 〔宮崎大学学園祭〕第12回清花祭～清花爛漫～

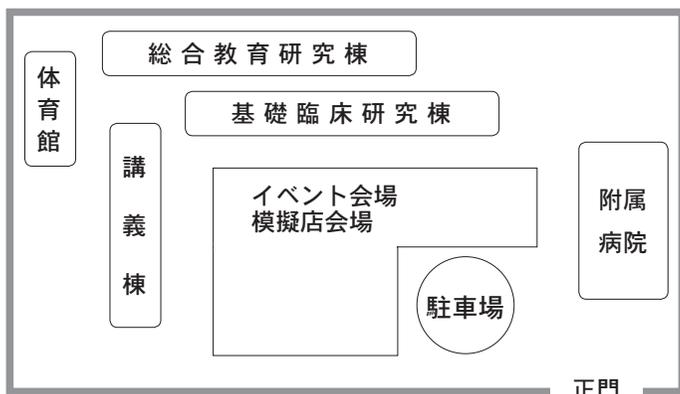
11月19日(土)・20日(日)開催

＜清武キャンパスのイベントを一部ご紹介します＞

雨天の場合、イベント企画は全て体育館ステージで行われます。

| イベント名<br>(場 所)                   | 時 間         | 内 容                                      |
|----------------------------------|-------------|------------------------------------------|
| 11月19日(土)                        |             |                                          |
| ミスキャン<br>(屋外イベントステージ)            | 10:30～12:30 | 様々なゲームを勝ち抜いた清武キャンパス NO. 1 美女を決めるコンテストです。 |
| アカペラ<br>(体育館)                    | 13:00～13:30 | 調和のとれた歌声を披露します。                          |
| 管打楽器<br>(体育館)                    | 13:30～14:00 | 学生による心に響くオーケストラ演奏です。                     |
| 室内楽<br>(体育館)                     | 14:00～14:20 | 美しい音で魅了する演奏です。                           |
| すずかけ太鼓<br>(体育館)                  | 14:20～15:00 | 勇壮で力強く、心震える太鼓の演奏です。                      |
| K I Z U N A<br>(屋外イベントステージ)      | 15:00～17:00 | 学生がチームとなりゲームに取り組み、自分たちの絆を一層深めてもらう企画です。   |
| 学祭L I V E<br>(軽音楽部部室)            | 19:00～22:00 | 軽音楽部や有志、学外の方などによるバンド演奏です。                |
| 11月20日(日)                        |             |                                          |
| コンテスト<br>(屋外イベントステージ)            | 11:00～12:30 | 最も美しく最も勇ましい男の子を決定するコンテストです。              |
| 子ども企画<br>(体育館)                   | 12:30～14:00 | 地域の子どもたちを招待してミニ運動会を開催します。                |
| DOC.(医学部ダンスサークル)<br>(屋外イベントステージ) | 12:30～13:00 | 新設されたダンスサークルによるパフォーマンスです。                |

## ＜清武キャンパスマップ＞



☆近年イベントステージ、および模擬店は総合教育研究棟裏の職員駐車場でおこなわれていましたが、昨年からは場所を講義棟前の広場に移動しました。講義棟で行われている医学展からも足を運びやすくなっています。是非合わせてお越しください。

☆模擬店の営業時間は

19日(土) 10:00～17:00

20日(日) 10:00～17:00

となっております。

## 清武キャンパス医学展

《11月 19, 20日に行われる清武キャンパス医学展の一部をご紹介します》

### 【年齢企画】

あなたは自分の“本当の”年齢を知っていますか？年齢企画では「脳、血管、肌、体力」の年齢を本格的な機器を用いて測ることができ、会場では健康に関する展示も行っていきます。今後の生活習慣次第で若返ることもできる「体の年齢」。

ぜひこの機会に健康について学んでみませんか。

### 【気持ち企画】

本企画は患者さん、看護師、医師など医療従事者の『気持ち』を募集し、集まった作品を一冊の冊子にまとめ、作品集として無料配布し、一部の展示を行っています。患者さんや医療従事者の気持ちにスポットライトを当てることで、普段気付くことができなかつたお互いの「伝えなかつたのに伝えられない思い」に近づく機会となればと思っております。ぜひお気軽にお越しください。

### 【なってみよう企画】

実際に医療現場で使われる機器を、手にとって体感していただけるコーナーが、なってみよう企画です。医師・看護師になりきって、写真撮影もできますよ！どうぞお越しください！

### 【ひまわりキャンプ】

宮崎ひまわりキャンプは、小児がんを経験した子どもたちが交流し合い、病気や日常生活について話し合えるようさまざまな支援を行う団体です。本企画では、小児がんについてやひまわりキャンプの説明、先月に行われた第3回ひまわりキャンプの様子の展示、バルーンアートのプレゼントを行っています！ぜひお気軽にお越し下さい。

### 【チャリティー企画】

チャリティー企画では宮崎市中のご家庭からいただいた商品と地域に根差した企業様からのご奉仕品をバザーで販売し、利益を全額寄付しています。

◎他にも、様々な企画が用意されています。

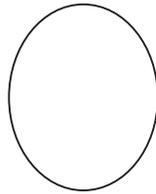
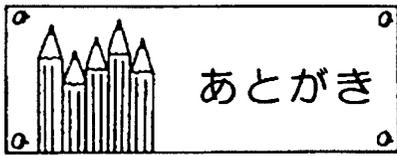
清花祭の詳しい情報については、<http://miyadaikiyoka.net> をご覧ください。

## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会にお問い合わせください。また、MMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会学術広報課(TEL 0985-22-5118)までご連絡ください。

| 送付日   | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9月7日  | ・医療法施行細則(平成18年宮崎県規則第50号)の一部を改正する規則について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 9月8日  | ・平成28年台風10号による被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて<br>・助成金の申請等の勧誘について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 9月9日  | ・日本医師会作成「改定診療報酬点数表参考資料」正誤表(その1)の送付について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 9月12日 | ・平成28年台風10号に関する診療報酬等の請求の取扱いについて<br>・平成28年度診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準の取扱いについて<br>・「妥結率に係る報告書」に係る周知について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 9月13日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「病原微生物検出情報」の送付について</li> <li>・「定期の予防接種等による副反応の報告等の取扱いについて」の一部改正について</li> <li>・「国民年金・厚生年金保険 精神の障害に係る等級判定ガイドライン」等の策定及び実施について</li> <li>・ジカウイルス感染症に関する注意喚起の継続について</li> <li>・麻しん及び風しんの定期接種(第2期)対象者に対する積極的な勧奨等について</li> <li>・厚生労働省「平成28年度石綿関連疾患診断技術普及事業」におけるWebサイト用広報資料の送付について</li> <li>・ジカウイルス感染症に関する注意喚起について</li> <li>・クリミア・コンゴ出血熱に係る注意喚起について</li> <li>・社会福祉施設等における非常災害対策及び入所者の安全の確保について</li> <li>・地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律(高齢者の居住の安定確保に関する法律の一部改正)等の施行について</li> <li>・平成28年度認知症ケア研修会～認知症短期集中リハビリテーション研修(医師対象)～(西日本会場)のご案内</li> <li>・健康日本21推進全国連絡協議会平成28年度第1回分科会の開催について</li> <li>・麻しんと診断した場合の迅速な届出について</li> <li>・平成28年度地方財政措置における教職員のストレスチェック関係費用の新設について</li> <li>・麻しん風しんの第2期の予防接種における未接種者に対する積極的な勧奨等について</li> <li>・平成28年度感染症流行予測調査における日本脳炎感染源調査結果について</li> <li>・検案又は死亡時画像の読影を行った医師に対する解剖等の結果の提供について</li> </ul> |
| 9月14日 | ・「医療勤務環境改善マネジメントシステム普及促進セミナー」パンフレット送付について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 9月15日 | ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 9月16日 | ・日本准看護師連絡協議会に関するお願い(「学生会員」の新設、第1回講演会の開催等について)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

| 送付日   | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9月23日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・美容医療サービス等の自由診療におけるインフォームド・コンセントの取扱い等に関する質疑応答集(Q&amp;A)の差し替えについて</li> <li>・宮崎県肝炎治療費助成事業実施要領の一部改正について</li> <li>・働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト「こころの耳」及び電話相談事業に関する広報について</li> <li>・麻しんの広域的発生に伴う乾燥弱毒性麻しん風しん混合ワクチンの供給に係る対応について</li> <li>・ジカウイルス感染症患者(輸入症例)の発生について</li> <li>・がん患者の就労支援等に関する講演会の開催について</li> <li>・台湾CDCから連絡のあったジカウイルス感染症の発生について</li> <li>・介護保険施設等における利用者の安全確保及び非常災害時の体制整備の強化・徹底に関する周知について</li> <li>・介護保険法施行令の一部を改正する政令の公布について</li> <li>・免疫グロブリン製剤の医療保険上の取扱いについて</li> <li>・使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正等について</li> <li>・公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて</li> <li>・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて</li> </ul> |
| 9月26日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第87回日本衛生学会学術総会のご案内と演題募集について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 9月27日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度病床機能報告制度の実施について</li> <li>・平成28年台風10号に関する介護報酬等の請求書の提出期限について</li> <li>・麻しんの広域的発生に伴う乾燥弱毒性麻しん風しん混合ワクチンの供給に係る対応について</li> <li>・平成28年台風10号に伴う予防接種の取扱いについて</li> <li>・麻しんの広域的発生に伴う医療機関等での対応について</li> <li>・出生後早期のB型肝炎ワクチン接種の取扱いについて</li> <li>・黄熱の予防接種実施機関の指定の解除について</li> <li>・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その7)」の送付について</li> <li>・「使用上の注意」の改訂について</li> <li>・医療機器及び再生医療等製品の不具合等報告の症例の公表及び活用について</li> <li>・材料価格基準の一部改正等について</li> </ul>                                                                                                                                                                                           |
| 9月30日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪日外国人旅行者受入れ医療機関の募集について</li> <li>・B型肝炎ワクチンに関するQ&amp;Aの掲載について</li> <li>・平成28年度結核予防週間の実施について</li> <li>・ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状に係る追跡調査の実施について</li> <li>・平成28年度感染症流行予測調査における日本脳炎感染源調査結果について</li> <li>・ジカウイルス感染症に関する情報提供について</li> <li>・個人輸入した無承認無許可医薬品による健康被害(疑い)の発生について</li> <li>・「デング熱・チクングニア熱等蚊媒介感染症の対応・対策の手引き 地方公共団体向け」及び「ジカウイルス感染症のリスクアセスメント」の改訂について</li> <li>・厚生労働省主催「平成28年度新型インフルエンザの診療と対策に関する研修」の開催について</li> <li>・「予防接種後健康状況調査実施要領」の一部改正について</li> <li>・東日本大震災に伴う保険診療の特例措置の期間延長等について</li> </ul>                                                                                                               |



るカープで終わりたいと帰ってきました。そして、黒田選手の引退。200勝達成と優勝というタイミングは彼の野球人生の中で大きな節目であったことは間違いないと思います。メジャーから20億円とも言われる年俸よりもカープで最後を迎えたいという生き方を選んだことを男気と評されることもあります。彼にとって今までに十分な評価を受けていたからこそできた選択でもあります。

今年2桁勝利、先発ローテーションを守ってきたエース級の彼は、さらに評価を受けることもできたはずですが、プロ野球選手をやめることを決めました。タカラジェンヌがピークでやめるのは、本人が次のチャンスに繋げることと、後進に道を開くことが理由だそうです。黒田選手も人生のすべてが野球ではないはず。「引き際の美学」とはよく言いますが、やめることは悪いことではなく、新しい何かを生み出すためには必要なものなのでしょう。

私ももう1回お酒をやめて、お金と健康を生み出そうかと思っています？

(野村)

\* \* \*

先月、職員旅行で山口県に行ってきました。萩から下関へ向かう途中、海まで続く、曲がりくねった細い山道を抜けると、そこは元乃隅稲成神社でした。神社から下方の海まで続く123本の鳥居は絶景で、CNNが選んだ「日本の最も美しい場所31選」やトリップアドバイザーが発表した「行ってよかった寺社仏閣ランキングTop30」の11位にランクインしています。また、稲荷神社は全国で3万社以上ありますが、「稲成」神社は2社のみとのこと。きっちり御朱印をいただきました。(沖田)

\* \* \*

先日の台風、夜に大荒れして通過しました。朝いつも通りに出勤すると院内に水がたまっていました。床に置いていたコンピューターの本体が濡れて電源がつかなくなりました。急遽午前を休診にして、水のかき出しに。道具もなく、初めてのことで勝手もわからず。半日かかりましたが、午後からは不便ながら診療開始できました。豪雨災害や台風の大規模化など、今後も気になります。想定範囲を広げて対策を練り直すことにしました。(西田)

\* \* \*

今年もマラソンシーズンが始まりました。10月に入ってから筑後川マラソン、綾照葉樹林マラソンと参加しましたが、筑後川マラソンは大雨のためコースがあらこちらで冠水し、綾照葉樹林マラソンは前日から雨が続いてたいへん寒く、どちらも雨にたたられてしまいました。自分が雨男と思ったことはなかったのですが今シーズンは雨の大会が続いています。せめて12月の青島太平洋マラソンは晴天のもとですがすがしく走りたいものです。(中村)

\* \* \*

広島県人の私にとって、広島カープの優勝は、スポーツに疎い私も久しぶりに興奮するものでした。特に、リーグ優勝をした時、黒田選手と新井選手がマウンドの上で抱き合いながら泣いていたシーンには、私ももらい泣きをしてしまいましたね。彼ら二人は一度カープを離れた選手です。それぞれ置かれた状況は違えども彼らの去り際はカープへの愛が溢れた姿であり、その二人が、最後の野球人生を愛す

秋の過ごし方は色々ありますが、個人的に今年の秋は「ダイエットの秋」にしたいと思っています。大学病院で久しぶりに高校の同期にあった際、開口一番「押川君、太った？」と言われたのが原因です。胸に刺さるものがありました。週3回のランニングと隙間時間を利用したドローイング(お腹を凹ませた状態を30秒キープする)、野菜多めの食事、夕食の減量を心がけていますが、すでに食欲の秋に負けそうです。先輩方、良い方法があればご教授のほどよろしくお願ひいたします。(押川)

\* \* \*

最近朝夕の冷え込みが厳しくなり、先日ついに熱を出してしまいました。一人暮らしを始めて4年目になりますが、やはりこのような時は誰かそばにいてほしいと思っています。昔から体調を崩しやすい方だったので、強い体を作ろうと頑張っているのですが、なかなかうまくいかないものです。これから学園祭に向けての準備も本格化するため、また体調を崩して周りに迷惑をかけることのないよう自己管理に努めたいと思います。(馬場)

\* \* \*

県医師会の女性医師保育支援サービスが2年目を迎え、子育て中の女性医師30名、保育サポーター20名の登録となりました。サービスを利用した医師からの「とても助かっています」との声に安堵するとともに、これまでサービスを利用する機会のなかった医師からの「サービスに登録したことで、安心して働くことができます」との声にはとても嬉しく思いました。女性医師たちが安心して働けるように支えてくださっているサポーターの皆様心から感謝です。(荒木)

\* \* \*

## 今月のトピックス

### 日州医談 医療機関に退蔵されている水銀血圧計等の回収事業について

水銀に関する水俣条約の発効に伴い水銀を使った医療機器は2020年に製造が原則として禁止となります。現在、医療機関の退蔵水銀の廃棄は産業廃棄物として処理されていますが、かなりの費用がかかっています。2020年以降はその処理がますます難しくなり費用も高騰すると予想されています。宮崎における退蔵水銀の回収事業について、立元祐保常任理事による解説です。

6 ページ

### 「新春随想」原稿依頼

毎年好評をいただいている「新春随想」を募集しております。題材はなんでも結構です。80年以上つづく日州醫事の1ページに作品を載せてみませんか。平成28年12月10日(土)が締切りです。

9 ページ

### 診療メモ 正しい歯磨きについて

80歳になっても20本以上自分の歯を保とうという8020運動が平成元年より推進されています。20本以上の歯があれば、ほとんどの食事が不自由なく食べることができると言われていますが、歯を失う原因で最も多い歯周病は糖尿病や心血管疾患、呼吸器系疾患など全身への影響も報告されています。私は先日1本抜歯されました。歯周病予防の基本は毎日の歯磨き。正しい歯磨きについて、宮崎県歯科医師会の錦井英資先生に説明していただきました。

72ページ

## 日 州 医 事 第807号(平成28年11月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行  
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550  
<http://www.miyazakimed.or.jp/> E-mail:office@miyazakimed.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 沖田 和久・副委員長 西田 隆昭, 岡本健太郎

委 員 中村 豪, 野村 勝政, 押川 隆, 馬場 萌子

山崎 俊輔, 稲倉 琢也, 上山 貴子, 佐井 佳世, 柴野 雅資

担当副会長 富田 雄二・担当理事 荒木 早苗, 佐々木 究

事務局 学術広報課 立山 幸恵, 牧野 諭

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)